

FFG調査月報

あなたのいちばんに。
FFG 福岡ファイナンシャルグループ
MONTHLY SURVEY
2013年9月 VOL.63

地域と共生する FFG

世界自然遺産20年目を迎える島 屋久島
世界自然遺産登録に向け歩みを進める 奄美群島

9

Top Interview

トップに聞く!

永山 在紀 氏 南国殖産 株式会社 代表取締役社長
堂園 晴彦 氏 医療法人 堂園メディカルハウス 理事長
島内 和行 氏 ボングルメ 株式会社 代表取締役社長



桜島(さくらじま1,117m) 世界的にも有名な活火山で錦江湾にそそり立つ山容が美しい



Season's Greeting

支店からの
便り 福岡銀行
鹿児島支店

今回は、福岡銀行 鹿児島支店からの
夏の便りです。





福岡銀行、熊本銀行両行の鹿児島支店から程近い錦江湾(奥に見える山が桜島)では、毎年、地元の小学校(清水小学校、松原小学校)4~6年生による「錦江湾横断遠泳」が行われています。この遠泳は大正時代に始まり、昭和時代の中断・再開を経て、今日まで続く伝統ある行事です。

児童たちは、まだ水の冷たい5月に始まる連日の厳しい練習を乗り越え、桜島小池海岸から薩摩半島の磯海水浴場まで4.2km余りの長距離を2時間程かけて泳ぎ切ります。今年も、ゴールに辿り着いた児童たちは満面の笑みで手を取り合い、ゴールの喜びを分かち合っていました。



仰イデ天一慚ズ。

西郷隆盛



geppou
最新情報を携帯からも
チェック！

内村鑑三は、札幌農学校在学中にキリスト教に帰依し、若くしてアメリカに学んだ明治の知性である。近代日本の夜明け。日本・アジアを軽侮する欧米人に、だからこそ日本人のすぐれた精神性と文化の精髓を伝えたいという切実な思いから『代表的日本人』の筆をとった。強い使命感に加えて英文で書かれた点で新渡戸稲造の『武士道』、岡倉天心の『茶の本』と共通する。内村が『代表的日本人』として二宮尊徳、上杉鷹山ら五人を取り上げて業績と遺徳を紹介する同書で巻頭に配して頌辞を惜しまなかったのが西郷隆盛である。

天を敬い、自他を隔てなく愛する天の道理のように人を愛したい――薩摩の人が「せごどん」と敬愛する「敬天愛人」のその人。それぞれの事情を背負った倒幕諸藩を束ねて明治維新を実現させた功労者であることは言うまでもない。自ら切り拓いた世に背を向け、自ら命の種を蒔いた政府に叛く西南戦争に殉じて二十年も経っていなかった。互いのキズが深くうずいていたであろう世情にあつて「維新は西郷の革命だったと称してよい」と、「誰も一人で一国の改造などできない」と断わってはいが、内村はそこまで書いた。



西郷南洲書「敬天愛人」(南洲神社蔵)



西郷隆盛銅像(1937年(昭和12年) 安藤照氏制作 台座を含め高さ約8m)

維新の同志、大久保利通も木戸孝允も

三條実美も岩倉具視も、たとえば、経済改

革、内政、外交などの資質を含めて多くの

点で西郷に勝ったことを内村は認めてい

る。それでも、これらの人材を欠いたとし

ても「上首尾ではないにせよ維新は成っ

た」と推量したうえで、「必要だったのは全

てを始動させる原動力であり、〈天〉の法

に基づいて運動の方向を定める西郷の精

神であった」と、革命を牽引する動力、求心

力としてこの人がいなければ、時代は転回

しなかったと洞察した。

西郷は好んで山中を歩いた。深閑とし

た逍遙の木々のもとで時として降り来る

天の声と心を通わせたに違いないという

確信、キリスト教に通じる「敬天愛人」の

哲学に対する共感があって内村のこのよ

うな評価は導かれたのであろう。「それ」を

為す天命……一介の下級藩士が英明の藩

主・島津斉彬に見出されて幕末の表舞台

に登場したのも、戊辰戦争に勝利して勝

海舟と対峙した江戸城無血開城のハイラ

イトに至るまでの間にそれぞれ二度にわ

たった自死の企てと流罪、生と死のはざま

に立ちながらそのたびに生還できたのも、

天の配剤だったということであろう。

征韓論をめぐる対立から薩摩に帰り、

ご一新で行き場を失った旧藩士たちの不

満と情念を引き受けて西南戦争に行き着

いた。すべてを流れに身を任せたように見

える晩年も天命だったのだろうか。西郷隆

盛という巨人を評して一つの像を結ぼう

など凡夫の能力を遥かに超える。その自

覚から明治の知性を借りて筆をすすめた

が、内村は、あえて反逆者となった西郷の

この時期の評価を「歴史が解明できるのは

百年先だろう」と書いて後世に委ねた。

日朝間の外交トラブルを背景に欧米諸

国による圧迫の代償として朝鮮半島進出

を企図し、士族の不満のはけ口に利用し

ようとするとされる征韓論。西郷はその

主唱者だったという通説を受け入れてし

まえば、新生日本を取り巻く困難にひた

すら立ち向かった先人に礼を失する。

少なくとも西郷は「征韓論」などという

乱暴な言葉で自説を唱えたことはない。

むしろ、板垣退助らの出兵論に反対し自

ら使節になって平和的、道義的な交渉によ

る国交の正常化を唱えた。西郷の下野は、

一度は意見を入れて使節としての西郷派

遣を閣議決定しておきながら画策して葬

り去ったことへの怒りであった。内村が

言った百年後の今日、それでもなお西郷の

思索の深淵と行動は深い霧の中である。



西郷隆盛肖像 エドアルト・キヨッソーネ画(明治16年制作 頭部は従弟の大山巖、目元は三弟従道に似せて描いた)



所在地：西郷南洲顕彰館／南洲墓地…鹿児島市上竜尾町2-1
西郷隆盛銅像…鹿児島市城山町4-36



南洲墓地(左：桐野利秋、中央：西郷隆盛、右：篠原国幹)



1



8



14



20



2



28



34



54

- 2 九州を知る！ マンスリーコラム ㊟
仰イデ天ニ慚ズ。 西郷隆盛

トップに聞く！

T**o****p****I****n****t****e****r****v****i****e****w**

- 8 先取的な企業風土を礎に
地元九州とともに発展し、
100年永続企業を目指す。

南国殖産 株式会社 永山 在紀 氏



- 14 新しい医療文化、絆再生の試みを
薩摩の地から世界へ発信。

医療法人 堂園メディカルハウス 堂園 晴彦 氏



- 20 地球スケールで海の幸を求め、
お客様に“ご満足”を提供したい。

ボングルメ 株式会社 島内 和行 氏



- 27 FFGニュース

- 28 地域と共生するFFG
世界自然遺産20年目を迎える島 屋久島
世界自然遺産登録に向け歩みを進める 奄美群島

- 34 海外駐在員による海外リポート特集

- 35 海外トピックス

- 36 海外リポート

- 46 海外進出最前線

- 48 海外展示会情報

- 54 DATA in 九州
今月の注目データ
経済動向・経済指標



今月の表紙

鹿児島県鹿児島市

桜島

[さくらじま]



鹿児島のシンボル桜島は、北岳、中岳、南岳の三峰からなる火山です。1914年の大正大噴火で1ヵ月にわたり大量の溶岩が流出し、それまで「島」だった桜島は大隈半島と陸続きになりました。今年8月18日、4年ぶりに起きた大規模な噴火による噴煙は、上空5,000mに達しました。



模擬紙幣を使った指導の様子

FFGは今後、地域の皆様のお役に立てる活動に積極的に取り組んで参ります。

「ジョブシャドウ」とは、高校生が実際に会社を訪れ、従業員の「影」のように密着し、仕事の様子を観察することです。「働く」ことについて、FFGが「ジョブシャドウ」の様子です。今年度はFFG3行で、福岡・熊本・長崎県の9校、82名の高校生を受け入れ、ジョブシャドウを行いました。

「ジョブシャドウ」とは、高校生が実際に会社を訪れ、従業員の「影」のように密着し、仕事の様子を観察することです。「働く」ことについて、FFGが「ジョブシャドウ」の様子です。今年度はFFG3行で、福岡・熊本・長崎県の9校、82名の高校生を受け入れ、ジョブシャドウを行いました。

参加した高校生は、「働くことがどういうことなのかイメージができた」、「将来の夢や進路について考えるきっかけになった」等の感想を持ったようです。また、担当した行員からは、「第三者にじっくりと観察されることで仕事に対する姿勢を見直す機会になった」と前向きな意見が数多く上がり、行員にとっても大変貴重な機会となりました。

今月の一枚 「ジョブシャドウ」

【バックナンバーのお知らせ】「FFG 調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。
<http://www.fukuoka-fg.com/>



トップに聞く!

先取的な企業風土を礎に
地元九州とともに発展し、
100年永続企業を目指す。

南国殖産株式会社

代表取締役社長

ありのり

永山 在紀氏

取引店 / 福岡銀行 鹿児島支店





▲左から永山社長、谷頭取

**地元の皆様のお役に立ちたい
という想いをもとに発展**

我が社は、第二次世界大戦中の1945年(昭和20年)3月、上野喜左衛門きざえもんにより「南国兵器株式会社」として設立されました。喜左衛門は、終戦後の同年10月に「南国殖産株式会社」へと社名を変更し、「地元の産物を中央に出し、地元で必要な資材を中央から集め、皆様のお役に立ちたい」と、会社の方向性を商社へと導きました。

その後、セメントや砥油類・酒類の販売等、徐々に業容を拡大し、現在では4つの事業を核とする総合商社として、鹿児島を中心とした九州を拠点に事業を展開しています。

4つの事業とは、ガソリンスタンド展開を主軸とする「エネルギー事業」、携帯電話の販売代理店等を展開する「情報通信事業」、建築・土木資材の設計・施工・販売を行う「建設資材事業」、エレベーターや太陽光発電設備等の生活・



南国センタービル



情報通信事業本部

▲ドコモショップ加世田店(鹿児島県南さつま市)



エネルギー事業本部

▲ニュー東開サービスステーション(鹿児島県鹿児島市)



▲TSUTAYA佐世保梅田店



▲天然ガスエコステーション(福岡県荊田町)

産業ライフラインの設計・施工・販売を行う「機械設備事業」です。「南国グループ」は、南国殖産を中心に子会社・関係会社40社で形成され、連結売上高2,100億円、従業員2,700名(臨時雇用含む)を擁する企業集団として成長を続けており、いずれの会社も常に時代の変化を促え、攻めの展開で着実に成果をあげることが出来ています。

**創業時から続く
先取的な企業風土**

我が社には、起業家精神(新しい事業分野に積極的にチャレンジする精神)に富む創業者、上野喜左衛門の志が脈々と受け継がれており、先進的な成長分野に取り組む企業風土が醸成されています。

私も主要事業に注力する一方で様々な事業を模索し、次世代ビジネスとなる新規事業に取り組んできました。

南国殖産 株式会社

その一つが、JR鹿児島中央駅前の「都市再開発事業」です。2009年(平成21年)に、鹿児島の表玄関にふさわしい先進オフィスビル「南国センタービル」が竣工しました。また12年(平成24年)には、バスターミナル、各種店舗、オフィス、ホテル等が入居する地上14階建ての複合施設「鹿児島中央ターミナルビル」が完成しました。このビルには企業の大規模コールセンターの開設が決定しており、来年には、数百人規模の雇用が生み出される予定です。現在は、中央駅前一番街商店街の再開発に着手しているところです。

「再生可能エネルギー」も注力している事業で、太陽光発電パネルの販売・施工は約10年前に開始しました。12年(平成24年)3月には、同年7月にスタートした再生可能エネルギーの固定価格買取制度に先駆けて、大規模太陽光発電事業を行う「九州おひさま発電株式会社」を立ち上げまし



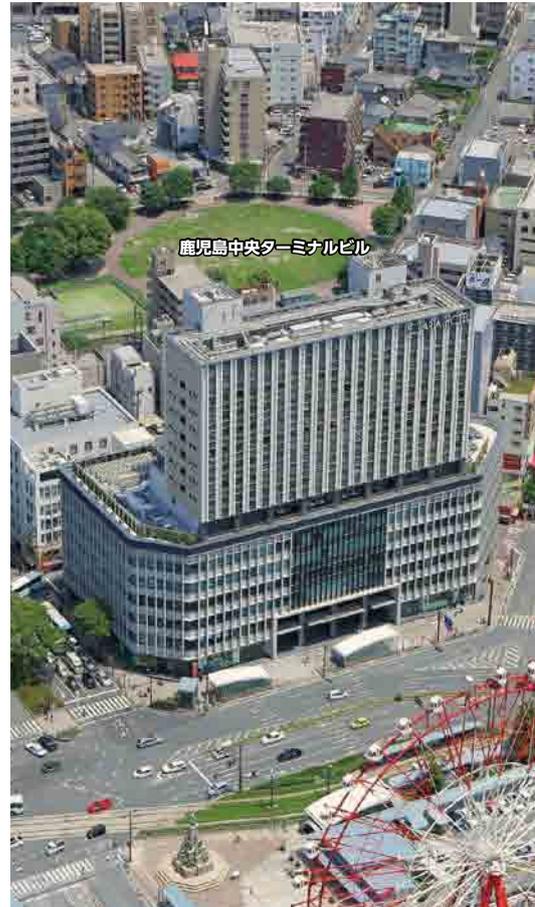
機械設備事業本部

▲南国センタービルエレベーター



建設資材事業本部

▲南国センタービル建設風景



鹿児島中央ターミナルビル

▲鹿児島中央ターミナルビル(中央左)と南国センタービル(中央右)



九州おひさま発電

▲寄田発電所(鹿児島県薩摩川内市)



▲太平洋セメント代理店

た。現在、鹿児島県内3カ所でメガソーラー発電所が稼働している他、鹿児島・熊本・宮崎等九州各地で、2015年までの3カ年に約40カ所、100MWの大規模発電所を建設する予定です。また、小水力発電分野にも参入し、同年1月に「九州発電株式会社」に資本参加しました。こちらは、霧島、肝属きもつの2カ所に発電所を建設中で、今後約40カ所に小水力発電施設を建設する計画です。

これらに加え、新ビジネスの芽も育てています。例えば、鹿児島県の安心・安全な農産物を全国に広める為、「南国ファーム株式会社」を設立しました。成功の為に必要条件である「ビジネスとしての農業経験を持つプロスタッフ」と「確かな販売先」を確保しており、今後の注力事業です。医療・介護分野においては、病院との合併で高齢者専用賃貸住宅を運営しています。

これらの事業のほとんどは、各セ

クシヨンから吸い上げた情報をもとに、「ミドルアップ・ミドルダウン」という我が社の強みを維持しながらトップダウンで進めています。つまり、社員が集めた情報が社長である私のところまで上がってくる風通しの良さと、意思決定の迅速さが我が社の強みと言えます。

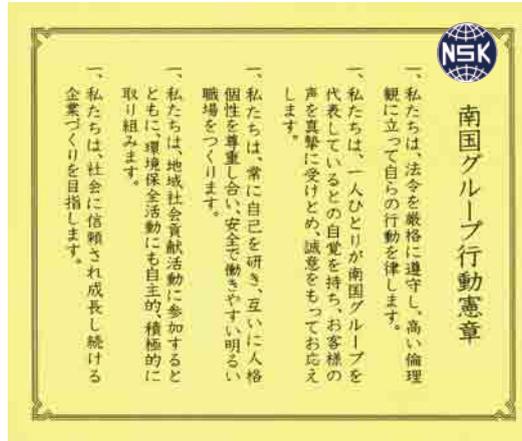
グループ経営基本理念を胸に

我がグループでは、「社会貢献」「人こそ財産」「社会的責任」を経営基本理念としています。

九州新幹線の全線開通を地域活性化につなげる為、昨年、JR鹿児島中央駅前に「かごつまふるさと屋台村」をオープンしました。この屋台村は、鹿児島ブランドの黒豚や焼酎を味わえる拠点であるとともに、鹿児島県産品の情報発信地となっています。また、若手企業家育成も屋台村創設の目的の一つである為、家賃は格安に設定しています。100対100の大規模



▲永山社長



▲南国グループ行動憲章



▲賑わう「かごつまふるさと屋台村」



▲創業社長 上野喜左衛門



▲1950年当時の新聞広告



▲1957年オープン当時の阿久根給油所

お見合いパーティー「村コン」や「ご当地鍋グランプリ」といったイベントも奏功し、開村1年で来村者50万人を突破しました。夕方は多くの方が訪れ、新名所としての知名度も高まっており、「地域社会への貢献」につながっているのではないかと思います。

我が社は地域の総合商社であり、オリジナルの商品はありません。従って、「人こそ財産」という考えのもと、「人財」で他社との差別化を図っています。その為、人材育成に特に注力しており、入社前通信教育をはじめ、新入社員研修・評価研修・職階別研修・職種別研修等、多彩な研修制度によって社員の能力を高め、社員の能力の伸長には昇進や報奨等で応えています。

そして、お取引先や地域社会の皆様から信頼を寄せて頂ける企業である為、企業としての「社会的責任」(企業活動の過程において、法令及び社会的規範を遵守すること、高い倫理観・道徳観に立って自

南国殖産 株式会社

らの行動を律すること」を果たす
 ことが必要だと考えています。

これらの経営基本理念を身に付
 け、実践する為、「南国グループ行
 動憲章」を策定し、朝礼時に全事
 業所の全社員で唱和しています。

**地域社会に貢献することで、
 100年永続企業へ**

我が社は、おかげさまで
 2015年(平成27年)に設立70
 周年を迎えます。

我がグループは、鹿児島を中心
 とした九州に根差した企業集団で
 あり、九州の発展なくして我がグ
 ループの発展はありません。今後
 も地元の発展に尽力し、地域社
 会・お客様・お取引先・株主様等に
 信頼され、成長し続けることが
 「南国グループ」の存在理由だと
 考えています。これまで受け継が
 れてきた企業文化・風土を大切に
 守り、100年永続する企業集団
 を目指し、精進していく所存です。



▲後列左端 今村取締役、後列左から6番目より平原取締役、上野常務、永山社長、谷頭取、西村支店長(福岡銀行)

◎インタビューを終えて



福岡銀行
 取締役頭取 谷 正明

4つの主力事業を基盤に、九州を代表する総合商社として、確固たる地位を築いておられます。

本日の対談では、永山社長の「地元に対する深い愛情」を感じました。

最近、鹿児島中央駅前の再開発から、ユニークな「かごまふるさと屋台村」の開村まで様々な事業に取り組み、全てが地域社会の発展につながっています。

これからも地域社会への貢献を続けられ、貴グループが益々発展されることを祈念致します。



トップに聞く!

新しい医療文化、絆再生の試みを 薩摩の地から世界へ発信。



医療法人堂園メディカルハウス
理事長

堂園 晴彦氏

取引店／熊本銀行 鹿児島支店



「堂園メディカルハウス」という名前についてですが、

「病院」ではなく「ハウス」とした部分に、先生の哲学・思想が感じられますね。



堂園理事長 祖父の代から地域医療を
しています。1991年

(平成3年)に父の跡(堂園産婦人科)を私が継ぎました。そして96年(平成8年)に総合内科、がん総合診療科等を備えた有床診療所を設立しました。設立は文



▲左から堂園理事長、林頭取

化の日(11月3日)で、「医療は文化である」という私の思いを込めています。「メディカルハウス」という名前にも2つの意味を込めています。1つは「病院の中に家庭の雰囲気」という理念、もう1つはドイツで優れた芸術家を輩出した「バウハウス」のように、優れたホスピス医療従事者を送り出したいという願いです。

私が患者さんと接するとき大切にしていることに、持論である「患者観客論」というものがあります。これは、医療機関(建物)が舞台で、医師や看護師が「演者」、患者さんが「観客」であるという独自の考え方です。舞台では、演目の途中で演者が変わってしまうと観客は感情移入することが出来ず、満足しません。これと同じで、患者さんに満足して貰える医療を提供する為には、出来るだけ同じスタッフが患者さんを看続けることが重要だということです。

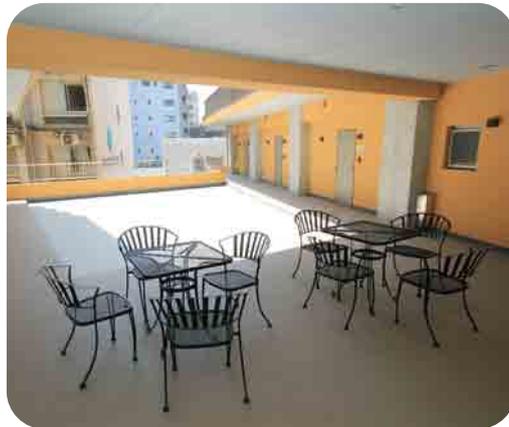
鹿児島市の街の中心で
長屋を現代風に再現した
“NAGAYA TOWER”



▲広々とした予約制の共用風呂(4・5階の2ヵ所)



▲V字型に設計され、住人同士が顔を合わせやすいよう
ドアが向かい合っている



▲共用のテラス(3階)花壇を設置し、住人が手入れに参加する予定



▲住人が集う共用リビング(2階)

私は「手のぬくもりとおもてなしのシャワー」という理念を掲げて患者さんをケアしてきました。医療の場では、患者さんが主体です。父の産婦人科を継いだ後、91年(平成3年)に在宅ホスピス(終末期の緩和ケアを行う施設)を開始しました。これは国立がんセン

「患者さんが観客」とはユニークですね。そのような考えの下で、先生が心がけていることや感じることありますか。

「患者さんが観客」とはユニークですね。そのような考えの下で、先生が心がけていることや感じることありますか。

ただし患者さんとの距離感は重要です。ノンフィクション作家の柳田邦夫氏が提唱する「2.5人称の視点」に基づく医療(患者本人(1人称)や家族(2人称)に寄り添いつつ、専門家(3人称)としての冷静な目を備えた医療)を理想としています。当ハウスは、適度な距離感(2.5人称)を保ちながら、細やかなサービスを提供する為の適正な規模だと思っています。

現場が大事という言葉は、私にとっても教訓になりますね。先生は人材育成にも注力されているようですが、「NPO法人 風に立つライオン」のお話をお聞かせください。

また、私が患者さんと直接触れ合う中で、社会を見渡してみても感じたことがあります。それは、トップと現場スタッフが離れすぎているということです。トップが現場をよく知り、現場で楽しむことが組織の成功に繋がると考えています。ですから私は、患者さんとよく会って話すことを心がけています。

ターでの勤務経験を活かして、「最期の時は自宅で過ごしたい」という患者さんの願いに応えたものです。96年(平成8年)に当ハウスを作ったのも、和室の病室があるのも患者さんの希望に応えたものです。

医療法人 堂園メディカルハウス



▲NAGAYA TOWER見学の様子



▲NAGAYA TOWER屋上から、甲突川(左手)と桜島(右奥)を望む



▲コミュニティカフェ(1階) 地域住民の利用も可能



▲バルコニーにも間仕切りを設けず、交流の場に



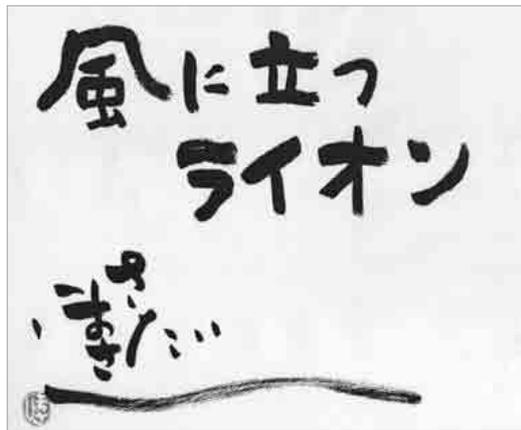
▲大通り(ナボリ通り)から見たNAGAYA TOWER

「風に立つライオン」は、良き医療人の育成の為に2002年(平成14年)に設立しました。ここでは毎年、インドのマザー・テレサのホスピス施設に医学生等を派遣し、ボランティア活動を行っています。この法人名は、アフリカで医療に従事した日本人医師を題材にした、歌手のさだまさし氏の曲「風に立つライオン」から、同氏の許可を得てお借りしたものです。同氏は最近、「風に立つライオン」という小説も出版されています。活動の目的は、ケアするということがどういふことを最貧困の場所で肌で感じ、命に寄り添う「最愛医療」を感じて貰うことです。参加者は医学生がメインですが、中年世代をはじめ、60代の人等、様々な年代の一般の方も参加されています。

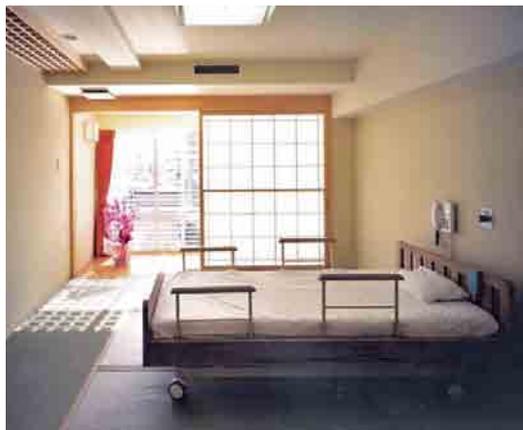
例えば日本の中年世代はものすごく「心が渴いている」気がします。この活動に様々な人が参加し、人生を見直したり、心の渇きを癒したりするきっかけになるとすれば、マザー・テレサの施設は自分を見つめ直し、磨く場所と言えるかもしれませんね。日本にそんな場所はなかなかありません。出来れば、当ハウスもそういう場に近づくことが出来ればと思っています。

本年4月に、NAGAYA TOWER(ナガヤタワー)という今までにない賃貸住宅がオープンしましたね。どのようなコンセプトなのでしょうか。

昔と比べると、今の時代は「社会的孤立」や「精神的孤独」の中にいる人が増えている気がします。老老介護が多い現状を見ても、それが分かると思います。そこで、血のつながりにとらわれない人間同士の絆を大切にしたい、新しい共同体が必要と考えたわけなんです。今までのように、老人は老人施設、障がい者は障がい者施設、



▲NPO法人 風に立つライオンの題字(さだまさし氏揮毫)



▲メディカルハウスの病室は全個室で、和室も準備されている



▲NAGAYA TOWERの理念「微笑みを交わす人がいれば 人生は幸せ。」



▲学園理事長



▲メディカルハウス内のヘルシーレストラン(2階)洋服や雑貨を扱うショップも併設している



▲NAGAYA TOWERでは住人向けに趣味サークル等も開催

末期のがん患者はホスピスと、同じ境遇の人ばかりを集めるのではなく、古き良き時代の「長屋」のように、いろんな人が一つの建物にいて、相互に助け合う環境を作りたいと思い、NAGAYA TOWER PROJECTを立ち上げました。ですからNAGAYA TOWERでは、あえて自室で生活が完結しないようにする一方、豊富な共用スペースを設けて交流を促す仕組みを作っています。

ちなみに、ここに勤務している社会福祉士は、大学生の時にマザー・テレサの施設でボランティアを行っていました。私のNAGAYA TOWERへの思いに強く共感してくれ、関西の大学を卒業後、すぐに就職してくれたのです。

「長屋」のように、住民みんなが知り合いで助けあう住まいですね。こうした理想を追求し、形に

するまでには苦労もあったと思います。

苦労した点はNAGAYA TOWERを作るといふ思いを持ち続けることでした。「医療なのか福祉なのかはつきりしない」「成功するはずがない」と言う方が多くいました。しかし、うまくいくと信じて、愚直に前に進む者が良い結果を手に行き届くと確信していた為、結果が出るまでの過程はほとんど気になりませんでした。

まさに信念ですね。最後に、今後の展望をお聞かせください。

私の理想とする「医療文化」を世界に広めていきたいという思いで、今の仕事を頑張っていると思っています。ただし、当ハウスは私の理念「手のぬくもりとおもてなしのシャワー」を実現するのに適切な規模だと考えている為、今の

医療法人 堂園メディカルハウス



▲左から堂園理事長、林頭取、坂本支店長(熊本銀行)



▲インドでのボランティアの様子



▲堂園理事長が執筆された絵本「水平線の向こうから」



NAGAYA TOWER

▲NAGAYA TOWERのロゴマーク(下から桜島、霧島、錦江湾を表し、三角は屋根、線は繋がりを表している)

人を見つめ、人に寄り添ってきた堂園先生らしい発想ですね。私どもとしても、貴重なご意見として賜りたいと思います。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

規模を維持したいですね。「最大」ではなく「最高」を目指します。それから、これは私から金融機関の方々へのお願いですが、興業銀行、農業銀行のように、ぜひ医療福祉銀行を作って欲しいと思います。診断書に基づいて、がんの末期患者に低金利で、しかも担保や保証人を必要としないで、お金を貸し出すようなシステムができれば素晴らしい。最初に実施したところは「世界初」として、ネームバリューも高まると思います。

◎インタビューを終えて



熊本銀行 取締役頭取 林 謙治

「手のぬくもりとおもてなしのシャワー」という理念を掲げ、目の前の患者様と真摯に向き合った医療を行ってこられた一方で、NPO法人での活動を通して「良き医療人」の育成も積極的に行っておられます。医療に対するひたむきな取り組みが、地域の皆様からの厚い信頼を寄せられる源泉となっていると確信致しました。

今後も、ぬくもりを感じられる医療を発展させ、地域の皆様にとって無くてならない「メディカルハウス」としてご発展されることを祈念致します。



トップに聞く!

地球スケールで海の幸を求め、
お客様に〴〵満足〴〵を提供したい。

冷凍倉庫業からスタートし、
業界屈指の寿司ネタ加工業者へ

我が社は、東シナ海産の天然の
「あなご」をはじめ、「つぶ貝」「と
り貝」「赤貝」「えび」「いか」「た
こ」等の寿司ネタ加工食品を販売
しています。大手外食寿司チェー
ンを中心に国内外に販路を持ち、
特に「あなご」と「つぶ貝」は全国
トップシェアを誇っています。

我が社は、1967年(昭和42



ボングルメ株式会社
代表取締役社長

島内 和行氏

取引店／親和銀行 小倉支店
福岡銀行 北九州営業部

ボングルメ 株式会社

年)に設立した株式会社三幸興産が前身になります。「これからの食品業界は、冷凍食品が主流になる」との予測から、73年(昭和48年)、冷凍倉庫業(5,000トン)を開始し、社名も株式会社三幸冷凍に変更しました。今となつては食卓にあまり上らなくなったクジラで、冷凍倉庫がいつぱいになるような時代でした。

大阪万博が開催された70年(昭和45年)になると、海外の的外食チェーンが日本に上陸し、日本の外食産業の幕開けとなりました。ある時、寿司チェーンの創始者である山木益次氏から、「誰でも握れるあなご寿司は出来ないものか」と相談されました。あなご寿司は味付けが難しく、商品開発にはかなりの時間を要しましたが、試行錯誤の末、韓国から輸入した冷凍あなごを国内の工場で加工することで、納得のいくあなごを



▲左から島内社長、小幡頭取

作ることができ、ようやく商品化に漕ぎ着けました。それまで高級品であったお寿司を安価に提供出来るようになったことが、我が社のターニングポイントとなり、業容は順調に拡大し始めました。89年(平成元年)には、関連会社との合併と業務拡大に伴い、社名をポングルメ株式会社に変更しました。

その後も、回転寿司店やファミリレストラン等の外食市場は拡大し、お取引先が次第に増加しました。その結果、国内工場だけでは加工が追いつかなくなり、94年(平成6年)に中国山東省にある3つの工場と提携しました。当時は、中国への食品工場進出はまだ珍しい時代でした。あなごはうなぎのように養殖が出来ない為、東シナ海で取れる「天然」の真あなごを使用しています。それならば、漁場に近く、経費の安い中国

で加工すれば、採算性が向上すると考え、中国進出を決定しました。中国での加工量が順調に増加したこともあり、2004年(平成16年)には、全ての加工工程を中国工場で行うようになりました。

また、ロシアやタイ、ベトナムから「つぶ貝」「えび」「いか」等の魚介類の輸入を開始し、あなご商品以外でも、多様化する顧客ニーズに因應る為に、商品ラインナップを充実させています。

3つのBを基本理念に
素晴らしい美味しさを
お届けしたい

我が社の基本理念は、3つのBで表されます。

「Believe(信頼すること、されること)」

「Brain(知力を高め未来を志向)

」



蒸しあなご



煮あなご



東シナ海産の天然あなご



焼あなご



天ぷらあなご

する(こと)」

「Benediction(感謝の気持ちを持ち続けること)」の3つです。

この3つのBを基本理念にし、日々変化するお客様のニーズに对应できるように、商品開発に取り組んでいます。

また社名のボングルメは、フランス語のBon(素晴らしい)とGourmet(美食)を組み合わせたもので、「常に素晴らしい美味しさをお届けしたい」と願う、私達の変わることのない姿勢を表現しています。

最新設備の中国工場で

加工される

300種類のあなご商品と

国が認定する保税倉庫

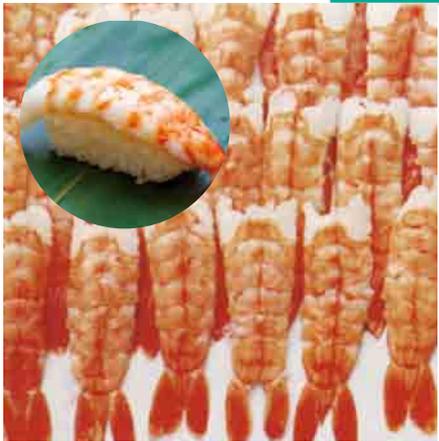
提携している中国の3工場は、日本式の厳密な品質・衛生管理システムに基づいた近代的工場

(ISO・HACCP「※」認定工場)で、新鮮で高品質な寿司ネタを作ることが出来ます。

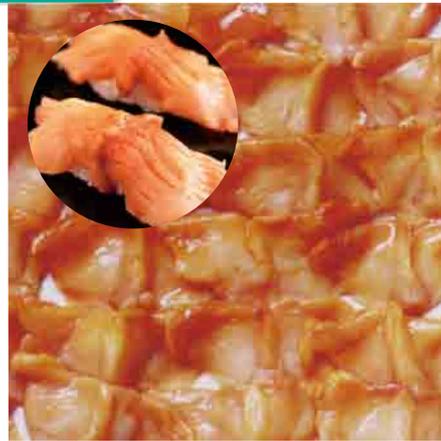
また、現地従業員の技術は素晴らしい、グラム単位であなごを切り分ける技は、本場日本の寿司職人顔負けのレベルです。

あなごには、調理法だけでも「焼き」「蒸し」「炙り」「煮込み」等があります。更に、一切れの「大きさ」や「厚さ」の他、関東の濃い味・関西の薄味といった「味付け」等、お客様からの様々なオーダーに対応している為、我が社ではあなごだけでも300種類を超える商品を提供しています。中でも、味付けには我が社が長年培ってきたノウハウが詰まっており、「煮つめたれ」は国内自社工場で生産しています。現在では、回転寿司等で提供されるあなご寿司の大半に、我が社のあなごが用いられるまでになりました。

寿司ネタ



▲えび



▲赤貝



▲つぶ貝



▲たこ



▲あなごの味を決める当社特製煮つめたれ

また、国が認定する「保税倉庫」(外国から輸入された貨物を、税関の輸入許可が出る前の状態で、関税を留保したまま置いておける倉庫)を保有していることも我が社の強みです。設立当初からこの保税倉庫を活かし、輸入食品の保管業務を長年続けてきました。その結果、我が社の真摯な取り組みが評価され、日本はもちろん、中国・青島ちんたおの税関や検疫所からも信頼は厚く、冷凍餃子事件や尖閣諸島問題で日中関係がギクシャクした際にも、何の問題もなく輸入手続きが出来たのは、長年の実績と信頼関係のおかげだと思っています。

※ 食品の原料受入から製造・出荷までの全ての工程において、危害の発生(異物混入や食中毒等)を防止する為の重要ポイントを継続的に監視・記録する衛生管理手法

オーダーメイドでの迅速対応を強化し更なる海外展開を促進

近年、暮らしのハイクオリティ時代を迎え、食生活もより豊かになり、お寿司は、今や世界の共通語となりました。海外の寿司店舗においても日本同様に食材の高品質・多様化が要求されるようになりました。一方で価格や衛生面での対応を迫られるという厳しさもあります。このような時代にあつて、我が社は「21世紀の食文化づくり」を経営ビジョンとして掲げ、



▲島内社長



▲本社工場見学風景(煮つめ工程)



▲本社



▲あなごの焼き工程(中国提携工場)



▲提携工場(ベトナム)



▲提携工場(中国)



あなごをはじめ、タイやベトナム等の提携工場で加工される「えび」「いか」「たこ」、またロシアからの「つぶ貝」等、安心・安全な商品を提供して参ります。

今後は、未来の食品業界を展望し、国内はもとより海外からも地球スケールで海の幸を求め、ポングルメだからこそ出来る最高の寿司ネタで、お客様に「ご満足」を提供したいと決意を新たにしています。



▲前列左から4番目より、安藤営業部長、山田専務、島内社長、小幡頭取、是澤支店長（親和銀行）、大庭商品部長

◎インタビューを終えて

近年、食のニーズは多様化し、価格や衛生面での対応など、業界に求められることは厳しさを増しています。あなご加工食品市場において、貴社が全国トップシェアを誇っておられるのは、あなご商品のみで300種以上を揃えるほど、お客様の要望を真摯に応え続けてこられた結果であると拝察致します。また、うなぎと違って、あなごは全て天然ものだということには、大変驚きました。

これからも、地球スケールで探究された美味しい食材を多くのお客様の食卓に届けて頂き、笑顔が広がる食生活づくりに貢献されることで、益々ご発展されることを期待しております。



親和銀行
取締役頭取 小幡 修

8, 13 南国殖産 株式会社

南国殖産

- 設立: 1945年
- 所在地: 鹿児島県鹿児島市
- 資本金: 5億円
- 従業員: 2,700名(連結/2013年3月末現在)
- 事業内容: 総合商社(エネルギー事業部門/
情報通信事業部門/建設資材事業部門/機械設備事業部門)
- 事業拠点: 鹿児島県鹿児島市(本社)、福岡市博多区、
鹿児島県霧島市、鹿児島県鹿屋市、鹿児島県薩摩川内市、
宮崎県宮崎市、熊本県熊本市、長崎県長崎市、東京都千代田区(支社)
- 取引店: 福岡銀行 鹿児島支店 099-253-1991



南国殖産株式会社

14, 19 医療法人 堂園メディカルハウス

堂園メディカルハウス

- 設立: 1996年
- 所在地: 鹿児島県鹿児島市
- 資本金: 1,200万円
- 従業員: 41名(合計約100名)
- ソーシャルコンツェルンD:
株式会社THEM、社会福祉法人 塔ノ原福祉会(錦ヶ丘保育園)、
学校法人 吉井学園(錦ヶ丘幼稚園)、特定非営利活動法人 風に立つライオン
- 事業内容: 有床診療所(総合内科・婦人科・がん総合診療科・東洋医学科およびホスピスケア、アレルギーや自己免疫病(アトピー)治療等)、NAGAYA TOWER運営、保育園・幼稚園の運営、良き医療人の育成・インドボランティア派遣
- 取引店: 熊本銀行 鹿児島支店 099-259-6111



医療法人 堂園メディカルハウス

20, 25 ボングルメ 株式会社

ボングルメ

- 設立: 1967年
- 所在地: 福岡県北九州市
- 資本金: 1億3,872万円
- 従業員: 53名
- 事業内容: 「あなご」「つづ貝」「とり貝」「赤貝」「えび」「いか」「たこ」等の
寿司ネタ加工食品の販売、冷凍倉庫業
- 事業拠点: 北九州市小倉北区(本社、倉庫)、東京都台東区(営業所)
- 取引店: 親和銀行 小倉支店 093-521-1481



ボングルメ株式会社

「FFGものづくり商談会」を開催しました。

FFGは、製造関連企業を対象に「FFGものづくり商談会」を8月1日(木)に開催しました。今回は、その商談会の模様をご紹介します。

FFGは、福岡銀行本店ビル10階において、「FFGものづくり商談会」を開催しました。

これまでは食品関連企業向けの商談会を定期的に行ってきましたが、今回は食品関連企業以外の製造・加工企業(ものづくり企業)の販路拡大を支援する為、初めて「ものづくり企業」のみを対象とした商談会を開催しました。

本商談会では、全国各地の製造業者(発注企業)18社とFFG3行のお取引先(受注企業)63社により、約170件の商談が行われました。参加企業の皆様は新たな顧客獲得に向け、自社が誇る技術力等を熱心にPRされていきました。商談会後のアンケートでは、「普段営業回り出来ないお客様とも繋がりが出来た」「新規取引開始に向けて有益な情報を聞いた」等の感想を頂きました。

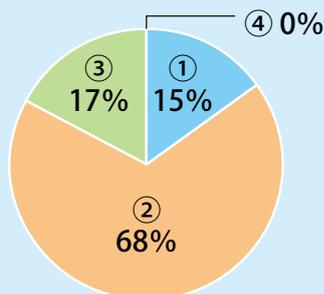
今後も、FFGは地元経済の発展・振興に貢献するため、各種商談会やビジネスマッチング、セミナー等のサービスの拡充に努めて参ります。



商談会終了後のアンケート調査 (受注企業62社が回答)

1. 今回の商談会の満足度はいかがでしたか。

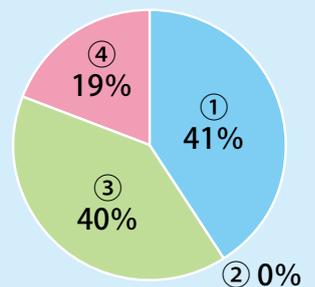
- ① 大変満足した
- ② 満足した
- ③ 普通
- ④ やや不満



2. 商談の成果についてお教え下さい。

商談の成果について番号選択でご回答ください。

- ① 成約の可能性のある商談が出来た
(見積依頼があった、工場見学の依頼があった等)
- ② 商談がまとまった・成約した
- ③ 特に成果は無かった
- ④ その他



地域と
共生する
FFG

世界自然遺産 20年目を迎える島屋久島 世界自然遺産登録に向け 歩みを進める奄美群島

鹿児島県環境林務部自然保護課

1993年(平成5年)に屋久島が日本で初めて
世界自然遺産に登録されてから、今年で20年。
この節目の年に、奄美群島の世界自然遺産登録へ向けた
取り組みは新しいステージへと踏み出しました。



金作原(奄美大島) 亜熱帯照葉樹の原生林

百合ヶ浜(与論島)

はじめに

鹿児島県は、総面積約9,189km²に上る県土が、南北600kmにわたって広がっており、幅広い気候帯を背景としたさまざまな生態系が存在しています。

日本で最初の世界自然遺産に登録された屋久島。そして新たな候補地となっている奄美群島。県土の27%を占める離島は、島ごとに独自に進化した多くの生物が生息する等、彩り豊かで個性的な自然を有しています。

奄美群島の世界自然遺産登録が実現すれば、鹿児島県は複数の世界自然遺産を有する日本唯一の県となります。

屋久島

●日本初の世界遺産に

1993年(平成5年)12月、屋久島は白神山(青森県、秋田県)とともに、我が国で初めての世界自然遺産に登録されました。

樹齢数千年の屋久杉をはじめとする独特の景観や、亜熱帯から冷温帯に及ぶ植生(ある場所に生息している植物の集団)の垂直分布等、貴重な自然環境・自然資源が評価されました。

●世界遺産登録の効果

屋久島が世界遺産になって20年。世界遺産登録は、屋久島に様々な恩恵をもたらしました。

世界遺産登録時20万人だった1年間の入島者は、30万人台にまで増加し、その増加分のほとんどが観光客と推測されます。登山者も、この10年あまりで5万人から10万人に倍増し、縄文杉登山に限れば、約3倍に増加しました。

観光客の増加は、宿泊や運輸といった観光産業の発展と就労機会の確保に繋がり、全国の離島で大きく人

口が減少する中、屋久島はこの20年間人口を維持するなど、大きな恩恵を受けています。

●屋久島の魅力

屋久島は、周囲132kmのほぼ円形の島で、島の大半は、九州最高峰の宮之浦岳(1,936m)をはじめとする山岳部で占められていることから、「洋上アルプス」と呼ばれています。

①神秘的な森

海岸から奥岳(島中心部に位置する高峰の総称)に至る約2,000mの標高差の中に、亜熱帯から冷温帯までの生態系を有し、多様な動植物を見ることができ、屋久島は、まさに、南北3,000kmの日本列島の自然を凝縮した島だと言えます。

また、樹齢1,000年以上の杉を「屋久杉」と呼んでおり、標高700mから1,400m位までに自生しています。中でも有名な「縄文杉」は、一説には樹齢7,000年を超えるとも言われ、屋久島で現在確認されている最大の屋久杉

です。「縄文杉」までは往復10時間の行程ながら、その圧倒的な迫力と神秘的な雰囲気魅了され、訪れる人があとを絶ちません。

清流と美しい苔が印象的な原生林「白谷雲水峡」も人気のスポットです。映画「もののけ姫」の森のモデルとなったことで、一躍有名になりました。

②水の循環

屋久島には、「1カ月に35日雨が降る」と言われるほど多くの雨が降ります。高い山々に吹く湿った海風が山肌に沿って駆け上がり、上空で冷やされることで雨雲になり、雲から降った雨は森に水を蓄え、滝を駆け下り、川を流れ、また黒潮の海へと帰っていきます。

豪快に流れ落ちる「千尋の滝」や「大川の滝」、豊かな水をたたえる「安房川」などもまた、屋久島の魅力のひとつとなっています。

島の西端の入り江に広がる美しい海岸「永田いなか浜」は、北太平洋最大のアカウミガメの産卵地としても知られています。

●今後の取り組み

世界自然遺産登録により、山岳部への登山者が急増したことで、植生荒廃やトイレのし尿処理等、新たな課題も生まれています。

屋久島では、山岳部の環境保全の為、一口500円の「山岳部保全募金」の協力を登山者に対して呼びかけていますが、まだまだ不足している状況です。美しい屋久島の自然を守り続けていく為に、募金率向上に向けた仕組みづくり等を検討しているところです。

●20周年記念イベント

今年の11月23日(土)には、屋久島で世界自然遺産登録20周年記念イベントを予定しています。

20年という節目の年を迎え、今後の屋久島の環境保全のあり方を問う直す機会となります。

詳しい日程等は、今後、鹿児島県のホームページ等でお知らせする予定です。是非、ご参加ください。



▲屋久島西部地域



▲永田いなか浜 (写真提供:屋久島自然保護官事務所)



▲白谷雲水峡



世界自然遺産地域
21.2%



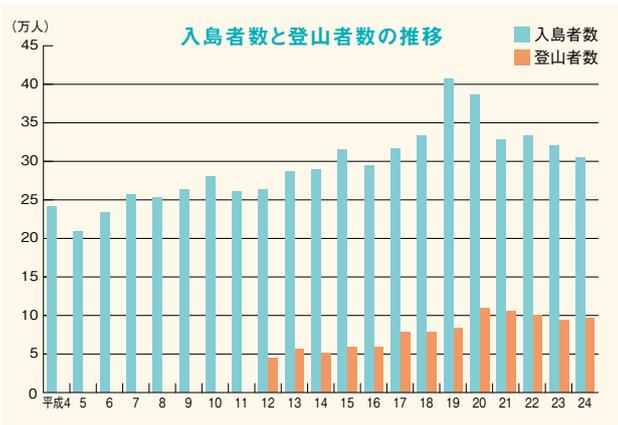
▲大川の滝



▲花之江河 (©K.P.V.B)



▲宮之浦岳 (©K.P.V.B)



奄美群島

●これまでの経緯

トカラ列島と沖縄諸島に挟まれた、奄美大島をはじめとする島々からなる奄美群島。

2003年(平成15年)、環境省と林野庁による「世界自然遺産候補地に関する検討会」において、奄美群島を含む琉球諸島が世界自然遺産の登録基準を満たす可能性が高い地域として、「知床」、「小笠原諸島」とともに選定されました。

選定された3候補地のうち、「知床」は2005年(平成17年)、「小笠原諸島」は2011年(平成23年)に既に世界自然遺産として登録されています。

国は「奄美・琉球」が特定の地域にしかない固有種・希少種の生息・生育地になっていること等を評価し、今年1月末に世界遺産暫定一覧表(国が今後推薦を考えている物件の一覧表)への記載を決定し、同年2月、ユネスコに関係文書を提出しました。

今後、国立公園の指定など保護措置の導入や希少野生生物の保護対策の強化を経て、正式に世界自然遺産として推薦していくこととなります。

●奄美群島の魅力

①世界的な価値

奄美・琉球は、大陸と陸続きになつたり、離れたりを繰り返して、多くの島が散らばる現在の姿になりました。世界の亜熱帯地域に比べると例外的に雨が多いこの地域には、豊かな亜熱帯照葉樹林が広がり、亜熱帯と温帯両方の生物が数多く生息しています。

このような地理的特性や気候等により、太古の昔、大陸から渡ってきた生物がそれぞれの島々で独自の進化を遂げており、この地域にしかない固有種や希少種の重要な生息地・生育地となっています。

また、渡り鳥や回遊するクジラ類等の移動の中継地、海鳥の重要な繁殖地、ウミガメ類の産卵地として地球上を広く移動する生物の重要な生活圏ともなっています。



▲オットンガエル
・奄美大島と加計呂麻島に生息
(写真提供:奄美自然保護官事務所)



▲オビトカゲモドキ
・徳之島に生息
・県希少野生動物及び天然記念物



▲ルリカケス
・奄美大島、加計呂麻島、請島に生息
・鹿児島県の県鳥に指定



▲アマミノクロウサギ
・奄美大島と徳之島に生息
・国の特別天然記念物

(写真提供:常田 守氏)

②「シマの宝」を「世界の宝」へ

美しい珊瑚礁や鮮やかな熱帯魚に彩られた青い海、白い砂浜。島唄や大島紬、黒糖焼酎に代表される個性的な伝統・文化等、奄美群島ならではの魅力はほかにも数多くあります。

貴重な動植物の生態系を守りながら、今後も奄美群島が魅力ある地域であり続け、その魅力を世界に発信する為に、世界自然遺産への登録が望まれます。

これまで受け継がれてきた「シマの宝」を「世界の宝」として守り続けていかなければならないのです。

終わりに

鹿児島県では、屋久島の20年の歩みや、その他の世界自然遺産地域における登録後の状況なども検証しながら、奄美群島の2016年(平成28年)6月の世界自然遺産登録を目指して、国や市町村とともに、取り組みを進めていきます。

世界自然遺産登録への道のり

ユネスコ世界遺産センターへ
ユネスコの世界遺産暫定一覧表記載の為の
関係文書を提出(平成25年2月)

国立公園に指定

ユネスコ世界遺産センターへ推薦書を提出

国際自然保護連合の現地調査

世界遺産委員会の審査

世界遺産リストへ登録(県の目標:平成28年6月)

「奄美・琉球」の世界自然遺産登録へ向けた取り組み

1 法律による保護

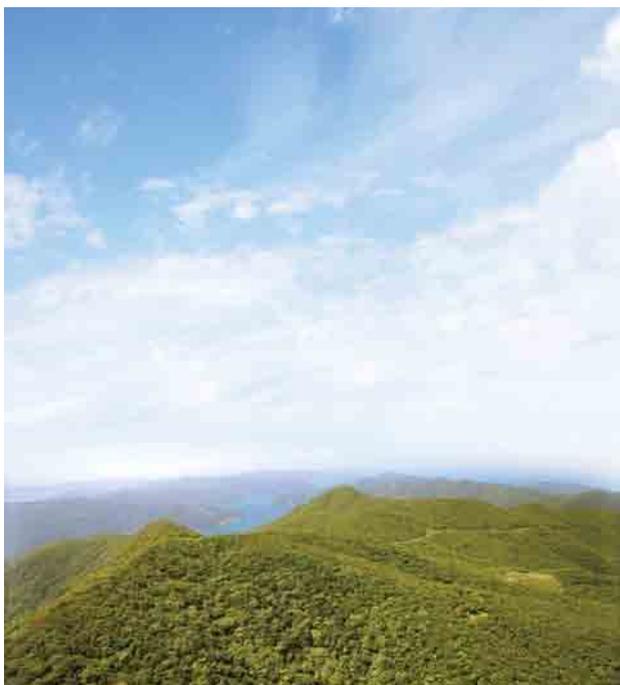
多くの固有種や希少種が生息・生育している亜熱帯照葉樹林を守るため、国立公園の指定に向けての協議・検討が進められています。

2 遺産候補地としての価値の維持

希少野生生物を保護する為に、外来種であるマングースや野生化ヤギ等の駆除対策、希少植物の盗採対策、希少野生動物の交通事故対策等を実施しています。

3 住民の理解と協力

地域住民の方々に国立公園や世界自然遺産、奄美の自然等への理解を深めていただく為、勉強会や公開セミナーの開催、パンフレットの配布等による普及啓発に努めています。



▲亜熱帯照葉樹林(湯湾岳)



▲屋鈍ビーチ(宇検村)

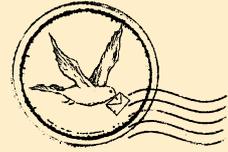


▲大島海峡(瀬戸内町)



▲マングローブ原生林(奄美市住用)

秋号



駐在員による

海外レポート特集

Overseas Report



シンガポールから



ニューヨークから



上海から



香港から

海外トピックス

大連……P35

海外進出最前線

上海……P46

海外レポート

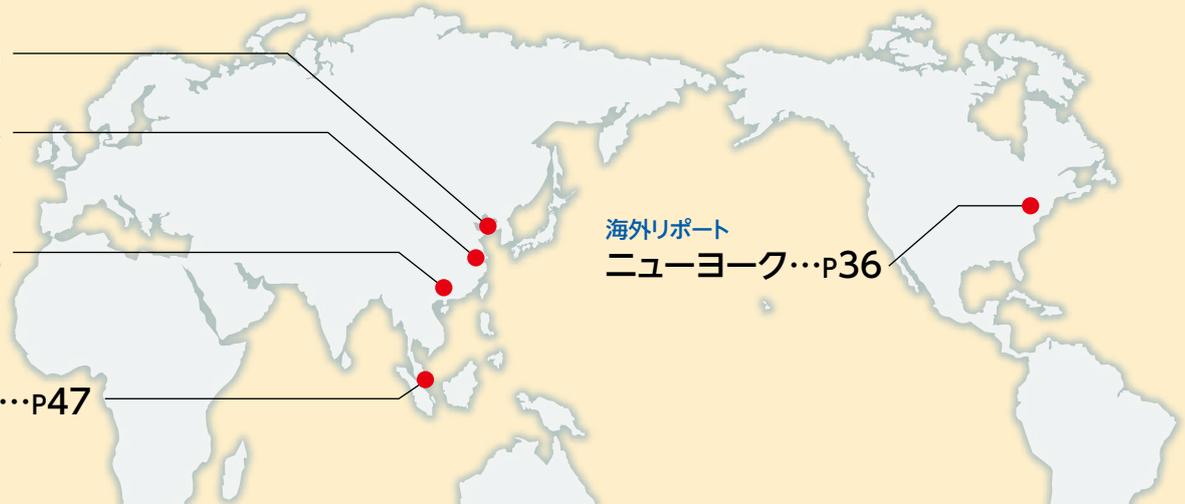
香港……P42

海外進出最前線

シンガポール…P47

海外レポート

ニューヨーク…P36





中国の流行事情

1 はじめに

中国では国民の所得が年々増加しており、モノに対する消費意欲が高まるとともに、人々の生活スタイルは多様化しています。ここ大連でも2001年に1,124元(17,984円、1元=16円で計算)であった労働者の平均月間収入が、12年には4,568元(73,088円)と4倍以上に上昇しており、週末になると百貨店や電化製品店は多くの人々で賑わっています。

今回は、大連での生活を通して目にする、中国での流行事情についてご紹介します。

2 スマホ・アプリ

日本と同様、大連でも多くの人がスマートフォン(多機能携帯電話)を利用しています。大連で一番人気のスマートフォンは米国アップル社製の「iPhone」です。最新機種は5,000元(80,000円)程度と、平均月収を超える値段で販売されていますが、若者を中心に多くの人が買い求めています。iPhoneの他、韓国サムスン製品や、中国の「北京小米科技」製の「小米」等は人気が高い様です。残念ながら、日本メーカー製のスマートフォンを利用する人はほとんど見かけません。

また、スマートフォン利用者の多くが「微信」というアプリケーションを利用して

います。微信は、中国のIT企業「テンセント」が開発したコミュニケーションツールで、日本の「LINE」(※)に似たサービスです。11年1月のサービス開始以降、爆発的に利用者数を増やし、現在は中国全土で3億人以上のユーザーがいます。ここ大連でも多くの人が利用しており、最近若者の間では、微信が最大のコミュニケーションツールとなってきました。

(※)「LINE」…スマートフォンやパソコン向けのアプリケーション。テキストによるチャット等のリアルタイムのコミュニケーションが可能。

3 日本のアニメ・化粧品

最近中国の子供達に大人気なのが「ONE PIECE」(中国名:航海王)や「NARUTO」(中国名:火影忍者)といった日本のアニメです。大連では、マクドナルドがONE PIECEとタイアップした商品を前面に押し出して販売する等、日本アニメの人気の高さを感じます。

その他、若い女性には日本の化粧品が人気です。日本の化粧品は品質が高いとのイメージが根付いている上、最近の円安により現地の化粧品との価格差が縮まってきており、人気に拍車がかかっています。

4 終わりに

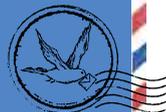
中国では、「良質」、「便利」、「安全」なモノについては価格に左右されず多くの人が買求めています。日本製品についても同様で、尖閣諸島問題後も、根強い人気があります。

当事務所では、進出サポートをはじめ、様々な現地情報の提供を行っています。最寄りの営業店を通じていつでもご相談ください。

(大連駐在員事務所 トレーニー 下村 将道)



▲マクドナルドが、ONE PIECEとタイアップしたメニューを販売



〜ニューヨークから

米国製造業の復活
〜Made in USA再び〜

1 はじめに

個人消費や住宅投資に牽引され緩やかに回復する現在の米国経済は、今後、製造業により更に押し上げられることが期待されます。20世紀の米国の繁栄を支えた製造業は安価な労働コストを求めて、製造拠点を主に中国等の新興国へ移転させてきました。その結果、19世紀末から100年以上保持し続けてきた、製造業生産額世界首位の座を2010年に中国に明け渡しました。また、1960年代後半からはGDPに占める製造業の割合は下降の一途をたどり(図1)、79年頃を境に製造業の雇用も減り続けています。(図2)

かつて鉄鋼業が盛んであった中西部は、その没落と共に地域経済が衰退し、ラスト・ベルト(Rust Belt) 錆びた地帯と呼ばれるようになりました。中西部州の1つであるインディアナ州を訪れた際に、実際そのような町を通りかかったのですが、昼間にも関わらず人通りが少なく、製造業衰退の一端を垣間見ました。

しかし、最近では米国内製造のメリットが見直され、大手製造業から中堅・中小企業まで、国内に工場を戻す動きが広がっています。このような動きは「Manufacturing Renaissance」(製造業の復興)、「Reshoring」

(再上陸)、「Onshoring」(国内発注)等と形容され、各メデアで取り上げられ注目を集めています。今回は、その背景と今後の展望についてレポートいたします。

2 復活の背景

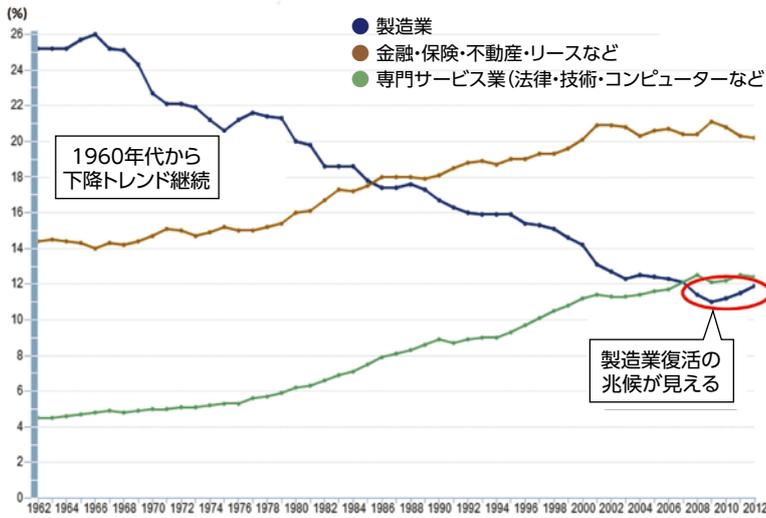
米国内製造業の復活の背景には様々な理由がありますが、大きな要因は「新興国との労働コスト格差の縮小」、「米国のシエールガス革命」の2点です。その他、政府による支援や生産効率の向上等の要因も米国内での製造を後押ししています。これらの要因について、以下でその内容を詳しく見ていきます。

■新興国との

労働コスト格差縮小

製造拠点として、中国をはじめとする新興国を選択することは、「豊富で安価な労働力」、「急拡大する巨大な国内市場」、「輸出に有利な通貨安」、「税優遇等の政府による手厚い優遇策」等を考慮すれば、これまでは自然な流れでした。しかし、2011年8月にボストン・コンサルティン グ・グループが公表した調査によれば、中国では毎年賃金が15% 20%上昇しており、コスト優位性が徐々に低下してきています。米国と世界の国々の過去10年間の製造コスト動向の比較表(図3)を見ると、労働コストは中

■ 図1 米国GDPに占める製造業の推移

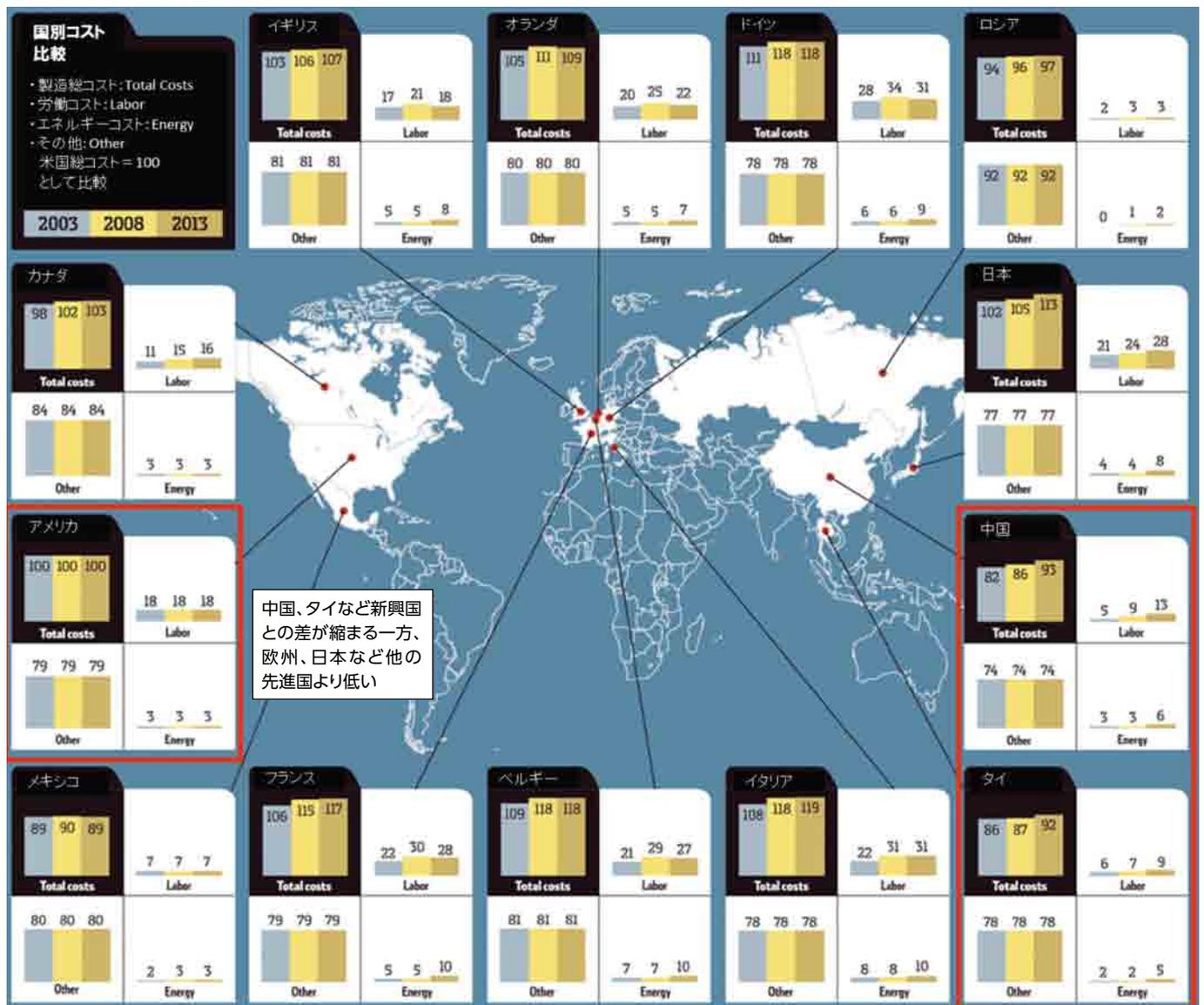


【出所:米商務省】

■ 図2 製造業の労働者数



■ 図3 製造コストの国際比較



【出所:Wall Street Journal】

国、タイよりも依然として高い水準にあるものの、その格差は縮小してきています。加えて、北米向けの製品は生産地からの輸送コスト、搬送時間も発生するため、顧客の手に届くまでの総コストを考慮すれば、数年以内にはほとんど差がなくなるのではないかとこの見方も出ています。

新興国の賃金上昇要因の他、米国の賃金低下要因も存在します。米国では、労働者が労働組合への加入を拒否することができる「労働権」の導入が広がり、これまで製造業の発展が遅れてきた南部を中心に全米で約半数の州がその権利を認めています。労働組合の中でも影響力が最も大きい全米自動車労働組合の牙城であるミシガン州で「労働権」を認めた法案が可決される等、米国労働者の労働組合離れが鮮明になりつつあります。一般的に、企業は組合に加入していない労働者の労働条件をより柔軟に設定することができ、端的に言えば賃金が低くな

る傾向にあります。これを受けて、トヨタ自動車やミシシッピ州、現代自動車(韓国)がアラバマ州、フォルクスワーゲン(ドイツ)がテネシー州に新鋭の工場を持ち、欧州航空機大手エアバスが初の米工場をアラバマ州に建設した他、米企業も労働権法を施行する州への投資を強化する動きがあります。建機最大手キャタピラーはカナダの工場を閉鎖した上でジョージア州に新工場を建設し、ボーイング首脳も新鋭機「787」の生産拠点としてサウスカロライナ州を選んだ理由として、労働権の存在を挙げています。

■ シェールガス革命

米国では、技術の進歩により、これまで採掘できなかった非在来型と言われるシェール層からの天然ガス(※)の採掘が可能となったことで、天然ガスの生産量が飛躍的に増加しました。(図4)米国内には米国消費の

100年分とも言われる豊富な埋蔵量が確認されており、米国エネルギー情報局によると、シェールガスの割合は2011年の天然ガス生産量全体の約35%ですが、40年には生産量が倍増して天然ガス生産量の約50%を占めると予測されており、供給と価格の安定化が期待されます。(図5)これにより、エネルギーコストが低下し、鉄鋼、化学等、多くのエネルギーを消費する製造業の競争力を向上させています。テキサス州、ルイジアナ州を中心とした南部は主に化学関連の投資が盛んで新規案件も多く、オハイオ州を中心とした北東部では鉄鋼関連の既存施設の拡張投資が多くなっています。

(※)非在来型天然ガス…通常の油田・ガス田以外から生産される天然ガス。

加えて、ガスタービン等の天然ガスを利用した機器やシェールガス掘削に関する機器の製造にも好材料となる上、生産した天然ガスの輸送に使うパイプライ

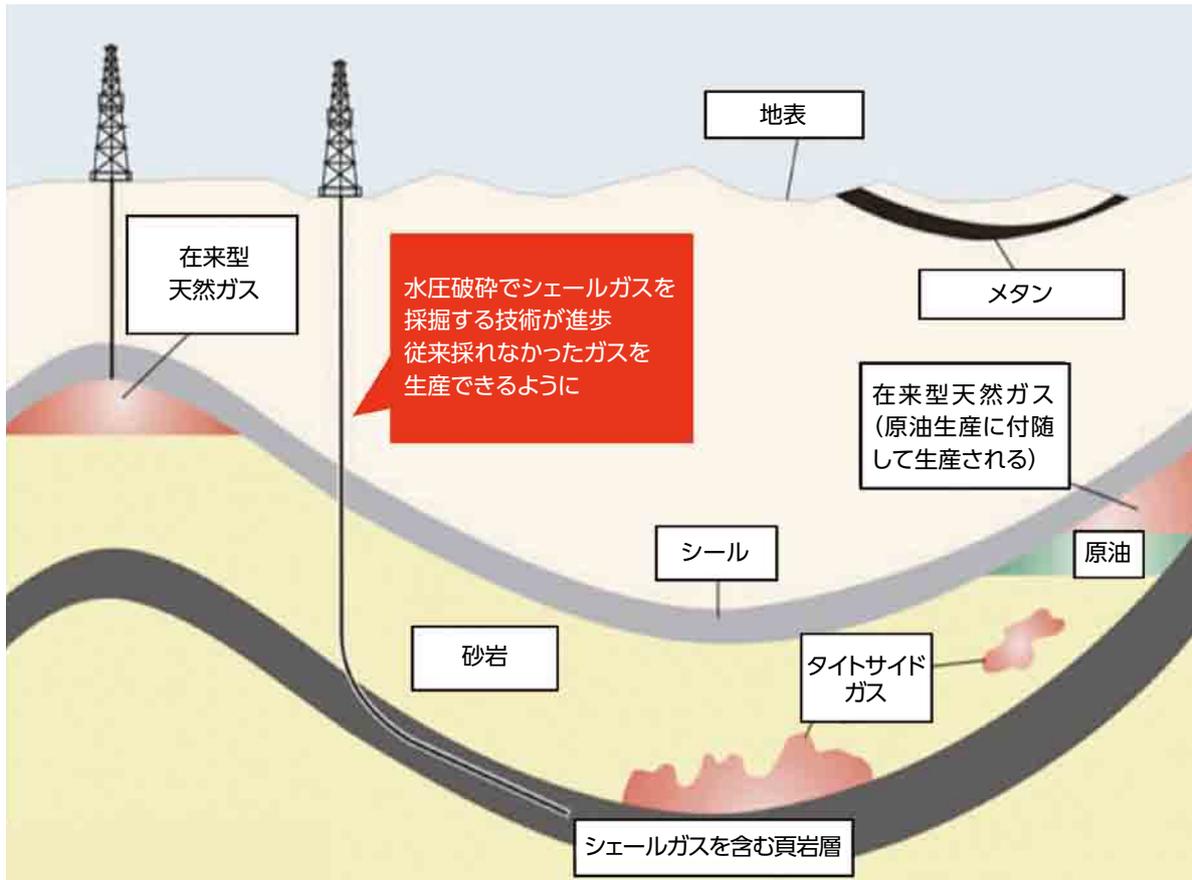
ンの鋼管、貨物輸送鉄道、液化設備、運搬船、港湾施設等、輸送に関するインフラ投資が進む等、周辺業界も大きな影響を受けています。

■ その他の要因

「賃金格差の縮小」と「シェールガス革命」が米国の製造業復活の大きな要因ですが、その他にもいくつか要因があります。

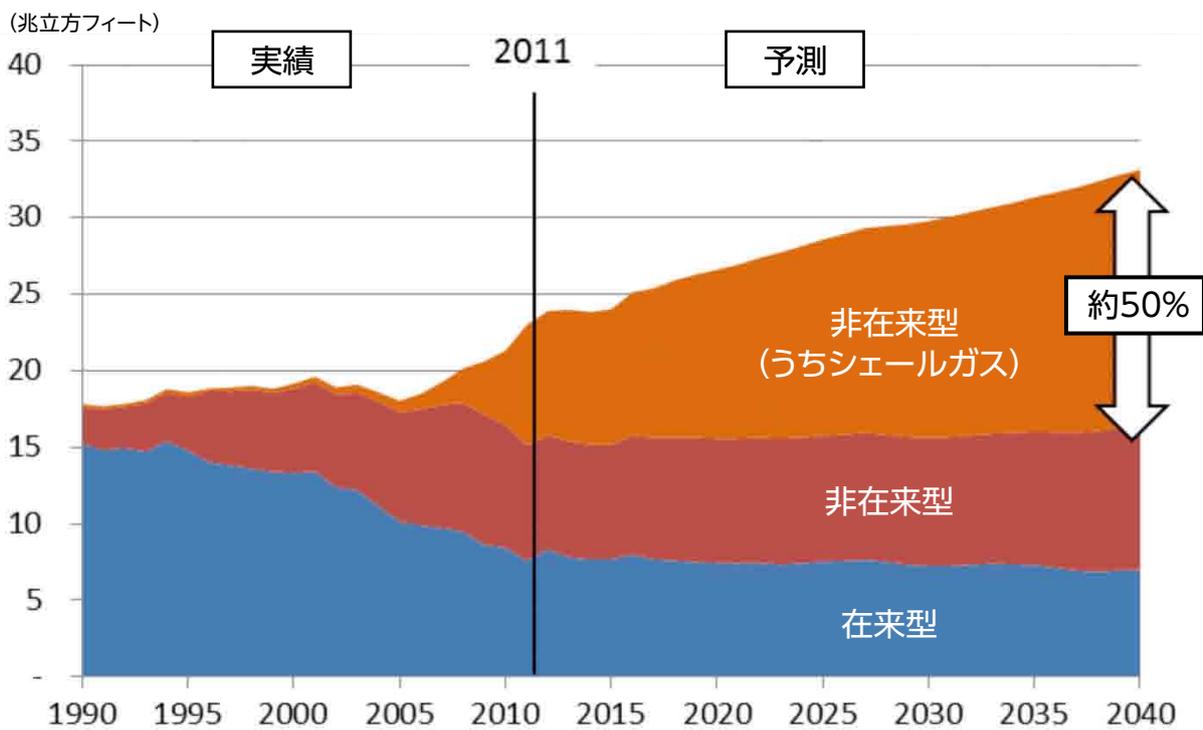
オバマ政権は1期目から製造業への支援を図り、国内で投資、雇用を行う製造業向けの優遇税制を拡充する一方で、国内工場を海外移転させる場合は課税所得控除を廃止し、米企業の海外利益に対する課税を強化する等、国内に企業が留まるのを促す政策を展開しています。2010年の一般教書演説で「今後5年間での輸出倍増」を打ち出し、2012年の大統領選挙で「2016年までに製造業で100万人の雇用を創出する」という公約を掲げているた

■ 図4 天然ガスの採掘図



【出所:米国エネルギー情報局】

■ 図5 米国の天然ガス生産量



【出所:米国エネルギー情報局】

め、企業による国内への新規投資を促すことで製造業を呼び戻し、それらの製造拠点が生み出す雇用と輸出を増加させようとしています。企業側にとっても、米国政府が取り組むFTA（自由貿易協定）やTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）等、貿易同盟の枠組みが成立すれば、輸出相手国の関税障壁が低下するため、国内で製造するメリットが出てきます。

技術革新に伴う工場の自動化が進むにつれて生産効率が向上し、わずかな熟練技能者で容易に生産ラインが運転できるようになりつつあることも、この流れを加速する要因です。最近では、プログラムを入れ替えることで別の作業に転用が効くような、柔軟性の高いロボットが導入され、従来、ロボットが不得意とされていた、複雑な状況認識を伴う自律的な作業分野でも、工場の自動化は急速に進歩を遂げています。

また、海外進出時には気づか

なかった「隠れたコスト」の存在が明らかになってきています。技術流出のリスクや知的財産権侵害のリスク、品質の低下による顧客離れ等、目に見えない部分で懸念が出てきました。開発・研究拠点と製造拠点が離れてしまったことによる弊害も「隠れたコスト」の一つと言えます。例えば、意思疎通が図りづらくなったことで、コスト削減や改良等の情報が伝わらず改善が進みにくくなってしまうたり、顧客の要望にすぐに応えることができず納期もかかるため、ビジネスチャンスを逸したりしてしまうケースが表面化してきました。ゼネラル・エレクトリック社は、こうした海外進出の反省を踏まえ、温水器の製造を中国から米国工場に戻した際に、設計の見直しで部品を25%削減、組立ラインの改善で製造時間を5分の1に短縮するなど、米国回帰によるメリットを發揮しています。

■ 表 米国企業による製造拠点回帰の主な事例

企業名	発表年月	内容
ピアレス・インダストリーズ	2009年	中国から、AVシステムの製造ラインをイリノイ州に移管
ファルーク・システムズ	2009年7月	中国と韓国から、ヘアケア用品の製造ラインをテキサス州に移管
NCR	2009年10月	中国、インド、ハンガリーから米国向けATMの製造ラインをジョージア州に移管
スリークオーディオ	2010年	中国から、高感度ヘッドホンの製造ラインをフロリダ州に移管
アウトドア・グレイトルーム・カンパニー	2010年	中国からキャンプ用の炉やテントの製造ラインの一部をミネソタ州に移管
スアレス・インダストリーズ	2011年5月	中国から、家庭用暖房機の製造ラインをオハイオ州に移管
ヤマハUSA	2011年5月	海外から、オフロード車両の製造ラインをジョージア州に移管
エレクトロラックス	2011年10月	カナダから、調理用家電の製造ラインをテネシー州に移管
キャタピラー	2011年11月	日本から、小型建機、大型ショベルの製造ラインをテキサス州に移管
フォード	2011年12月	メキシコから、中型トラックの製造ラインをオハイオ州に移管
GE	2012年2月	中国から、温水器の製造ラインをケンタッキー州に移管

【出所：JETRO】

3 企業の動き

これらの要因を踏まえて、米
国企業が国内に製造拠点を新
設したり、国内の既存設備を拡
充したりと、国内回帰の動きが
活発になってきています。(表)ま
た、外国企業も同様で、P.38で
例示した以外にも、米国製造拠
点を増強する動きを進めていま
す。ロールスロイス社(イギリス)
は2011年からバージニア州
でジェットエンジン部品を製造し
ており、2012年には工場規
模を拡大しました。シーメンス
(ドイツ)はタービンの製造拠点を
ノースカロライナ州に設立し、
中東、メキシコへの出荷を行っ
ています。日系自動車メーカーも
トヨタがケンタッキー州の工場を
増設し、北米向けレクサスの現
地生産を開始する等、この流れ
に乗っています。さらにトヨタは、
米国と韓国のFTAを利用して
韓国向けに戦略車種カムリの輸
出を進める等、北米外地域への

輸出拠点としても位置付けてい
ます。

4 最後に

これまで述べてきたような
様々な要因を受けて、主に北米
市場をターゲットにした製造業
が米国に回帰してきています。
米国は豊富な労働力を有し、先
進国でありながら人口が増加し
続けている有望な市場が存在
し、安価なエネルギーを手に入れ
ることができると、長期的成
長シナリオを描きやすい環境が
整っています。ただし、一方的に
新興国離れが続く訳ではなく、
それらの製造拠点は新興国及び
その周辺の国々の需要を満たす
ための拠点として引き続き必要
であると考えられます。

このような米国回帰の動きは
景気の循環的な回復に留まり、
構造的な変革に繋がらず持続し
ないのではないかとという見方が
あるのも事実です。また、製造拠
点が米国に戻ってきてても、単純作

業のような低コスト労働は、技術
の進歩によりロボットが取って代
わって自動化され、雇用の創出
効果は大きくは見込めないかも
しれません。米国内で必要とさ
れているのは熟練工や多能工な
どの付加価値を生み出すことが
できる労働者です。製造拠点が
海外に移転している間に失業し
た労働者の技能が低下し、技能
のギャップが生まれました。この
ギャップを埋める努力がオバマ政
権が打ち出す製造業の雇用増を
実現するための喫緊の課題と言
えます。

その他にも、「現在の重工業中
心の米国製造業の復活が、今後
その他の産業に波及していくの
か」、「最終製品を製造する工場
へ部品等を供給するサプライ
チェーンも併せて米国に戻って
くるのか」等、この動きを持続的
なものにするためにはまだまだ課題
があります。雇用を単に取り戻
すだけでなく、米国自体の魅力
を高め、次世代の雇用を支える
ことができるような持続的な基

盤を作ることが、今後の米国製
造業には不可欠だと考えます。

先進国の中ではいち早く堅調
に回復する米国経済。前向きに
進む米国の製造業が、数々の課
題を乗り越えて持続的なステー
ジに辿り着いた時に、本当の
Made in USAの復活が
始まります。

(ニューヨーク駐在員事務所

久保田 雅人)

海外 レポート

Overseas
Report



香港と中国の一体化



香港について関心をお持ち頂くきっかけになれば幸いです。

2 中国内の 中国でない場所

香港が英国から中国に返還されたのは1997年。当時、福岡銀行は「アジア四季報」という季刊誌を発行していました。「返還の足音」という1年にわたる長期特集を組み、現地の様子を描き出しています。その結びでは、次のような記述で将来への不安を強くにじませる当時の世相が表現されています。「英皇太子と元香港総督をのせた英国皇室専用船ブリタニア号は静かに香港を去った。(中略)ブリタニア号が去った香港島は、明け

方から激しい雨と雷に見舞われ雷鳴は香港の激動を予想させる」。

当時の両国が香港返還に合意する過程で、返還後も英国領時代の制度を維持しSAR (Special Administrative Region: 特別行政区)として存続することになりました。この合意は共同声明として文書化され、現在の香港の憲法にあたる基本法は、このときの声明に基づいて作られました。

このような歴史が

ある為、ごく一部の例外を除き、法律はもちろん、通貨、税金、貿易・投資制度等、あらゆる面に

1 はじめに

私は2年前の春、香港に赴任しましたが、実際に香港に来てみると、名前はよく耳にする街であるのに、実はほとんど何も知らないことに気が付きました。私
が知っていたのは、「第1次アヘン戦争の結果、清(当時)から英国に割讓せりやうされ、その後中国に返還されたこと」と、「それなりに大きな都市であること」といった程度でした。

今回は、英国から返還されて16年になる香港の現状と、今後、大きな変化が予想される、香港に隣接する中国華南地区についてレポートします。本稿が



香港と深セン間の出入境施設の入口。この先に出入境施設があり、パスポートが必要



中国人民解放軍香港部隊ビル(左)と香港政府ビル(右)。
香港における外交と軍事は中国政府が香港で担う数少ない分野

において中国本土と香港は根本的に異なっています。香港では基本法により言論やデモの自由が認められ、死刑もありません。返還後は、香港にも中国の国籍法が適用されるようになりましたが、香港永久居民(永住民)のパスポートは、中国旅券とは異なるSAR(香港特別行政区)旅券が発給されており、中国本土との国境(厳密には国境ではない)のフェンスも存続することとなりました。現在でも、同じ中

国という国の中でありながら、越境時にはパスポートが必要になるのです。

最近日本では、撤廃が難しい規制に対し、「特区」を活用して打開を目指す動きが活発になっていますが、これになぞらえると、香港はさしずめ中国の「スーパー特区」と言えそうです。

3 香港活用の意義

日本政府は、年間1,000万人の外国人観光客の来日を目指しています。一方で、香港への観光客は、年間4,800万人あまりを数え、そのうちの7割程度の約3,400万人が中国本土からの観光客です。香港の約710万人という人口規模を考えると、外国人観光客が香港にもたらす経済効果の大きさが分かります。さらに、中国本土では金融に対する規制が厳しい為、企業や個人の運用・調達ニーズが香港へ流出しています。例えば、香港での不動産投資をはじめと

する資産運用や、中国本土企業の香港での資金調達等が挙げられます。このような動きが、香港の産業の大部分を占める、観光・金融・不動産業を支えていることは想像に難くありません。また、香港の企業や人は、中国の富裕層や有力企業とのつながりが強く中国の情報が集まりやすい為、中国に向けての情報発信もしやすいという特徴を持っています。

他方、ビジネス環境に目を転じると、英国の制度を引き継いだことで中国本土と比べるとフェアで透明性が高い環境を保っており、規制も必要最小限にとどめられています。また、会社の設立や整理が簡単で、法人税や所得税等の税率も低く抑えられているという特徴もあります。さらに、中国が香港企業に特別に解放している産業分野等もある為、日本企業にとっては、香港でのビジネスチャンスを狙いつつ、香港を足がかりとして中国本土への拡大を図っていくという二段構えの戦略を立てやすい環境

となっています。その他、香港人は少なくとも中国本土の人々よりも日本人に近い価値観を持っており、しかも中国人のことも理解出来る為、香港進出の際には、従業員や協業者としてのサポートが期待出来るという側面もあります。

4 返還50年に向けて

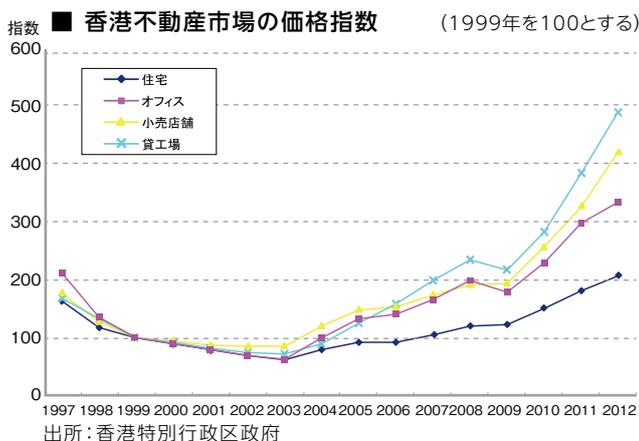
香港の基本法第1章では、返還前の資本主義制度等を「50年間変えない」と謳うたっており、この50年間は中国統合にむけた、緩衝期間のような役割を果たしています。中国経済が世界経済の中で存在感を増す中、香港と中国の経済的な結びつきは明らかに強まっています。しかし、返還から既に16年経った現在でも、「一つの国の国民」としての両者の一体化は順調には進んでいないように感じられます。

中国で反日デモが吹き荒れた昨春秋、日本人の耳目が中国本土に集まる中、香港では別の大き

なデモが発生しました。そのデモは、香港政府が小学生に「国民教育」を導入しようとしたことに反発するもので、香港政府が中国政府の意を汲んで共産党式の愛国心を植え付けようとしているのではないかと、との憶測が広がったことがきっかけとなりました。当初保証した50年間が終わる2047年前後に社会の中核を担う世代の中国本土に対するイメージを好転させる為に、このタイミングでの導入に踏み切ろうとしたのではないかとの見方がなされ、民衆の強い反発により強制的な実現は見送られました。

また、香港では毎年独立記念日の7月1日に、デモが行われることが通例となっていますが、今年は普通選挙実現や不動産高騰等をテーマとして近年にはない大規模なデモとなりました。現在の行政長官は昨年の選挙で勝利を収めた梁振英氏ですが、そもそも香港の行政長官選挙は制限選挙で、そのことに多くの市民は不満を持っています。行政長官は

1,200名の委員で構成される選挙委員会が選出することになっていますが、この委員を選ぶのは一般市民ではなく、産業界の代表や立法会議員等、極めて限られた人々から構成されます。選挙では、親中国ではない党派の委員の選出が少なくなる等、民意とは違った結果となっている為、一般市民には中国政府の意向を受けた人選を追認する為だけの選挙であると捉えられています。今後、一般市民の圧力を受け、次の行政長官選挙のある



2017年までに、普通選挙への移行を含む政治体制改革が大きな政治問題となりそうです。

他にも、毎年定例となっている天安門事件での民衆弾圧に対する反発デモ等も年々大規模化しており、香港人と中国人との間で起こる軋轢あつれきが社会問題化しています。

5 中国本土との緩衝地帯の誕生

足元では、中国本土華南地区のコスト上昇(人件費や不動産賃料の上昇、人民元高等)が続いていることや、深刻化する環境問題等により、同地域では産業の高度化へ向けて舵が切られています。その中で、中国政府の中期計画として、香港SARと香港に隣接するマカオSARの両特別行政区と中国本土とのつながりを強める巨大プロジェクトが進められています。地域間の物理的なパイプを太くする橋の建設、直通鉄道の敷設、出入境施設の強化等が決定されており、

すでに建造が進んでいるものもあります。さらに、香港に隣接する深セン市前海区、及びマカオに隣接する珠海市横琴新区等を、一般の経済特区よりもさらに規制が緩和された「特区中の特区」として開発することも決められており、制度設計および都市の造成が進行中です。

それぞれの地域で強化を図る分野の違いはありますが、例えば、香港と同水準の税率の導入や物流手続の簡易化等を進めることにより、高度な人材や産業を集積する環境を整えようとしています。現在では中国本土における経済特区は形骸化し、実質的な特区の恩恵はすでになくなっており、これら新しい特区は中国全土で注目を集めています。中国地方政府の説明によれば、前海区では主に中国本土企業による同区での法人設立が数多く申請されているそうです。また、横琴新区では同区へ移転することがすでに決まっているマカオ大学の建設が進む等、

■ 開発が予定される珠江デルタ地区



■ 第12次5ヵ年計画による広東/香港/マカオ協力重大プロジェクトとその概要

NO.	プロジェクト	概要
1	香港/珠海/マカオ大橋	海底トンネルや連絡大橋により三地域を高速道路で結ぶ
2	広州/深セン/香港客運鉄道	三地域を高速道路で結ぶ
3	香港/深セン西部高速鉄道	深セン前海地区を経由して香港国際空港と深セン宝安空港を結ぶ
4	蓮唐/香園坳出入境検査所	香港/深センの旅客・交通処理能力強化による通行効率を向上させる
5	深セン前海区の開発	交通網、出入境検査所を強化し、2020年までに高生産性サービスセンターを建造
6	広州南沙新区の開発	香港、マカオに隣接する商業サービスセンター、科学技術・教育基地によるサービス協力地区の建設
7	珠海横琴新区の開発	広東/香港/マカオ間の新たな協力モデル地区の建設

出所：中国政府



開発が着手された深セン市前海区の様子。まだ地上は更地だが、既に地下鉄の駅が完成している。

新しい街が姿を現し始めています。
香港・マカオに隣接する中国本土内に、新たに「ミニ香港」や「ミニマカオ」と呼べるような特区が出来ることになる為、香港やマカオとの補完関係が強化され、中国本土企業・外資系企業が集積することが予想されます。専門家の中には、このような状況を見て、SARと中国本土間の経済面での相互依存を先行させることにより、中国が将来SAR

6 最後に

中国政府は香港を活用する格好での産業高度化を図っており、中国本土と香港の経済的な結びつきは今後ますます強まっていくものと思われれます。一方、元来土地面積が狭く土地供給の制約

が深刻である香港にとっても、中国本土との関係強化により他国(他都市)との競争において優位性を確保することが課題となっており、現在のところ両者の利害は一致している様です。
香港・マカオとの協力関係構築を含む「珠江デルタ地区の改革発展計画」において、発展がもたらす目標数値等のマイルストーン(物事の進捗を管理する為に途中で設ける節目)が2020年に置かれています。2020年

までの今後6〜7年の間は、インフラが次々と完成する他、制度が具体的に整備されていく等、大きな変化が予想されます。
域内でヒト・モノ・カネが動きやすい環境が整えられることにより、香港に経済面でどのような変化がもたらされるのか、また、経済の結びつきの強化が、2047年に向けてどのような意味を持つのか、注目していきたいと思います。
(香港駐在員事務所 菅 大輔)

海外進出最前線

海外進出されている親和銀行佐世保支店のお取引先企業グループのご紹介です

上海編



株式会社宝広広告社

（宝広（上海）广告有限公司）

1 はじめに

株式会社宝広広告は、長崎県佐世保市に本社を構える総合広告会社です。1973年の設立以来、屋外広告を中心に、テレビCMイベントの企画やWEB製作等の幅広い事業を手掛けています。日本では長崎・福岡・東京を主要な活動エリアとしていますが、中国の複数都市やニューヨークでも事業を展開し、大きなネットワークを築いています。

今回は、株式会社宝広広告社の子会社で上海に拠点を置く「宝広（上海）广告有限公司（以下、同社）」の佐藤 眞太郎 氏にお話を伺いました。

2 海外進出から現在まで

同社の設立は1999年ですが、株式会社宝広広告社の中国進出の第一歩は、1995年の上海駐在員事務所開設による市場調査からでした。中国では、急速な経済成長を背景に、エンドユーザー向けの日本製品の需要が高まっていた時代です。広告業界も急速に発展し、日系大手広告会社も中国進出を始めていました。

中国市場の調査を経て同社を設立した後は、日系企業を中心に取引先基盤を拡大していきました。現在、同社を始めとした宝広グループの中国現地法人（6拠点）は、本社同様、総合的な広告事業を行っています。

3 中国の広告業界

中国の広告業界は日本の広告業界と比べ、メディアの方が広告会社よりも圧倒的に強いと言われています。

日本のメディアは、正規代理店を通じて間接取引を行うのに対し、中国では代理店を介せず直接取引を行うことが多いため、規模が大きいメディアとの取引では不利になることが多く、外資企業の新規参入は極めて難しい環境にあります。また、小規模案件でも日系大手

広告会社とバッティングするケースが多いことや、中国系広告会社の手数料が安価なこと等もあり、競争環境も熾烈な状況です。しかし同社は、長年の中国で培った経験とネットワークを活かし、人と人とのコミュニケーションを大切にしながら仕事を続けていくことで、その存在感を示しています。

4 東南アジアへの展開

現在、宝広グループはアジア市場において、中国大陸から香港や台湾へと徐々に活動エリアを広げていますが、近年は、タイ・マレーシア・ベトナム等、成長の見込める東南アジアへの拠点開設も視野に入れています。同グループは、中国での実績を活かした今までにない斬新なアイデアを提案することで、当地における多様な顧客ニーズに対応していく方針です。

5 最後に

同社も中国へ進出して以降、他の日系進出企業と同様に悩みや課題を抱え、解決してこられました。それゆえに、同じような悩みや課題を抱える顧客に対して親身になって考え、現場経験に基づいた解決方法を見出し、ていくというスタンスを取られています。

また、佐藤 眞太郎 氏は「ビジネスが成功するか否かは、情報量とその精度にかかっていると一言でも過言ではない。現地への駐在は不可欠。」とも仰っていました。駐在期間10年を超える佐藤 眞太郎 氏のこの「現場主義」の姿勢こそが、急速に環境が変化する上海においても同社が発展を続けておられる理由だと感じました。

（上海駐在員事務所 長 眞太郎）



▲同社が手掛けた屋外広告



▲事務所前（最前列が佐藤 眞太郎 氏）

PROFILE

現地法人：宝広（上海）广告有限公司

住所：上海市長寧区延安西路1088号 長峰中心2407-2408室

T E L : +86-21-6207-6819

F A X : +86-21-6207-6863

親会社：株式会社 宝広広告社

住所：長崎県佐世保市万津町8番1号

T E L : 0956-24-4299

F A X : 0956-24-0180

海外進出最前線

海外進出されている福岡銀行行橋支店のお取引先企業グループのご紹介です

インドネシア編



株式会社レザックス

PT. LEZAX NESIA JAYA

1 はじめに

PT. LEZAX NESIA JAYA(以下、同社)は、福岡県京都郡に本社を置く株式会社レザックスが、1999年にインドネシアのジョグジャカルタ市(以下、同市)に設立した現地法人で、ゴルフ用グローブや野球のバッティング用グローブ等を製造しています。

90年代初め、株式会社レザックスの田中社長(現会長)が同市周辺で革輸出の仲介に携わっていた時に、余った革の利用を思いつき、現地の革工場の一角でゴルフ用グローブのOEM(他社ブランド製品を製造すること)を始めたことが同社設立のきっかけです。現在では、有名ゴルフブランドのOEM商品、あるいは自社ブランドとして、年間120万枚のゴルフ用グローブや1.3万本のゴルフバック等を製造し、そのほとんどを日本へ輸出しています。

今回は、450人の現地社員を1人で束ねる、インドネシア駐在歴11年の井関社長にお話を伺いました。

2 ジョグジャカルタの魅力

同市は、ジョグジャカルタ特別州の州都で人口は43万人、首都ジャカルタ市から飛行機で約1時間の場所にあり、ポロブドゥール遺跡等2つの世界遺産を抱える国際的にも有名な観光地です。国内の他の都市と比べ治安が良く、人々の性格も穏やかで勤勉だと言われています。

また、ジャカルタ市では昨今、人件費が高騰(最低賃金約21,000円/月)していますが、同市の水準は

その半分程度と、人材の質およびコストの両面から企業にとって進出のメリットが認められ、近年、日系企業が同市への進出に関心を高めています。

3 同社の工場の様子

同社では同市内2カ所の工場において、グローブやバックに用いる革の型取りから裁断、プレス、縫製、検品、包装、出荷まで、定められた工程に従ってテンポよく作業が行われています。社員の平均年齢は30才程度で、その8割を女性が占めており、東南アジアの他の国々と同様に「若い女性」が活躍しています。また、社員の9割がイスラム教徒の為、社屋内に祈祷室(イスラム教徒の為の祈りの部屋)を設けたり、ラマダン時期(日中の断食月)には労働時間にも配慮したりする等、社員のモチベーションや働き易さを維持する為の様々な配慮や工夫を行っています。

4 日本人社長の活躍

井関社長は、現地社員とのチームワークを大切にしながらも、常にリーダーシップを発揮しておられました。そして、時には日本とは全く異なる対応や配慮が求められる異国の地で、現地での経験と知識に裏打ちされた行動力と忍耐力で様々な困難や問題を解決していく姿が大変印象的でした。

同社は、低価格かつ良質な商品を日本へ届けることで日本社会に貢献され、一方で、インドネシアの人々の暮らしを支え続けておられます。これからも貴社の

商品が、消費者にとって欠かせない商品であり続け、今後益々発展されることを祈念いたします。

(シンガポール駐在員事務所 酒口 昇)



▲インドネシアで製造されたゴルフグローブ



▲工場内で現地社員と(右端が井関社長)

PROFILE

現地法人：PT. LEZAX NESIA JAYA
住所：Noyokerten RT 04, RW 38, Sendangtirto, Berbah, Sleman Yogyakarta 55573 Indonesia
TEL：+62-274-4435170 / 171
FAX：+62-274-4435172

親会社：株式会社 レザックス
住所：福岡県京都郡みやこ町勝山黒田1650-1
TEL：0930-32-6622
FAX：0930-32-6633

貿易お役立ち情報

Useful Information

アジア展示会情報 | イベント等は主催者側の都合により変更されることもあります。

大連

場所	展示会名	期間
北京国家会議中心	2013 不動産博覧会	12月2日~12月3日
	2013 中国水博覧会及び中国国際水処理技術及び設備展覧会	12月2日~12月4日
	2013 冬季ウェディング博覧会	12月7日~12月8日
	2013 第1回北京国際時計文化ウィーク	12月12日~12月15日
	2013 北京国際最高レベル贅沢個人用品及びハイエンド製品展覧会	12月12日~12月15日
全国農業展覧館	2013 北京国際家庭医療用リハビリ器材及び福祉用品展覧会	12月13日~12月15日
	第5回中国(北京) 国際地産と鉱山技術設備展覧会	9月10日~9月12日
	2013 北京国際応急救済技術展覧会	9月16日~9月18日
	2013 北京国際ワイン、スピリッツ展覧会	9月23日~9月26日
	2013 中国国際製紙技術展覧会	9月23日~9月25日
	第5回全国優良農産品(北京) 展示即売ウィーク	10月2日~10月5日
	2013 北京観光商品博覧会	10月10日~10月13日
	第15回中国国際石炭鉱業技術交流及び設備展覧会	10月22日~10月25日
	中国(北京) 国際食用油産業博覧会	
	2013 第3回中国(上海) 国際健康食品産業博覧会	10月29日~10月31日

場所	展示会名	期間	
世界博覧広場	2013 秋季国際消費商品(大連) 博覧会	9月11日~9月15日	
	2013 全国呼吸器疾患病に関する学術会議及び展覧会	9月19日~9月21日	
	2013 中国(大連) 国際紡績商品博覧会及び国際ファッションウィーク	9月21日~9月25日	
	2013 大連秋季不動産交易会		
	第48回大連家屋交易会及び装飾内装工事展覧会	10月10日~10月14日	
	第40回大連中古不動産交易会		
	2013(第5回) 大連中日貿易投資展示商談会	10月18日~10月19日	
	第7回中国東北地区無公害食品博覧会	10月25日~10月28日	
	2013 中国国際漁業博覧会及び中国国際水産養殖展覧会	11月4日~11月6日	
	星海会展中心	2013 第7回大連輸入商品展示即売大会	8月29日~9月3日
		2013 大連国際老年産業博覧会	9月6日~9月9日
		第2回大連観光工芸品博覧会	9月11日~9月16日
		2013 中国(大連) 国際紡績商品博覧会及び国際ファッションウィーク	9月21日~9月25日
		第24回大連国際ファッション祭り服装博覧会	9月21日~9月28日
		2013 大連消費商品博覧会	9月30日~10月7日
		2013 大連秋季対外貿易輸出服装及び健康食品博覧会	10月8日~10月14日
		第15回中国国際建材及び内装関連商品展覧会	10月10日~10月14日
第14回大連国際流行家具展示即売会			
第4回大連国際農業博覧会		10月17日~10月21日	

蘇州

蘇州国際博覧センター	2013 中国蘇州国際自動車博覧会	9月18日~9月22日
	第4回蘇州国際 NC 旋盤及び金属加工展	9月23日~9月25日
	中国国際ナノ技術産業展	9月24日~9月26日
	第19回蘇州住宅産業博覧会	9月30日~10月8日
	2013 中国(蘇州) 国際茶業博覧会	10月24日~10月27日
	2012 年中国(蘇州) 国際バイオ科学技術展	10月25日~10月27日
	第11回金蜘蛛(蘇州) ファスナー交易会	10月30日~10月31日
	第6回中国紙包装工業力一段ボール印刷展覧会	11月6日~11月8日
	中国国際医薬原料、中薬、包装、設備交易会	11月13日~11月15日
	蘇州上花 2013 年冬季漁具展	12月6日~12月8日
	2013 年中国(蘇州) 農産品交易会	12月13日~12月16日

北京

中国国際展覧中心	2013 北京国際健康家電及びスマート台所電器展覧会	
	2013 第7回北京国際原子力発電工業及び電力設備展覧会	9月2日~9月4日
	2013 北京国際浄水器、空気清浄機及び消毒設備展覧会	
北京展覧館	2013 第26回中国国際メカニクス展覧会	9月7日~9月9日
	第7回中国国際自動車部品博覧会	9月13日~9月15日
	2013 中国国際情報通信展覧会	9月24日~9月28日
	2013 中国(北京) 国際海洋石油天然ガス技術展覧会	10月10日~10月12日
	2013 第10回中国(北京) 国際バイオ工業展覧会	
	中国国際光電産業博覧会及び第18回中国国際レーザー、光電子、LED 博覧会	10月16日~10月18日
	2013 第8回中国(北京) 国際タンク工業展覧会	
	第10回中国(北京) 国際冶金工業博覧会	
	2013 中国国際水環境展覧会	
	2013 第23回中国北京国際美容化粧品博覧会(秋季)	
	2013 中国工芸品、ギフト、ポイント交換商品、観光レジャー用品展覧会	10月21日~10月23日
	2013 北京国際固体廃棄物処理設備とサイクル利用技術展覧会	
	2013 中国国際生態環境技術と設備博覧会	
	2013 中国国際現代教育新技術設備展覧会	10月26日~10月28日
	2013 中国国際異種玉石展覧会	10月31日~11月4日
	2013 第3回中国国際航空食品及び用品展覧会	
	2013 第13回中国国際食品加工及び包装機械展覧会	11月13日~11月15日
	2013 北京国際システムキッチン設備及び技術展覧会	
	2013 中国ブランドカーテン、布製品博覧会	
	2013 第2回中国寝具用品、有名ブランドタオル展示交易会	11月18日~11月20日
2013 第2回北京国際生薬住居装飾及び用品展覧会		
2013 第2回中国国際調味料商品交易会		
北京展覧館	2013 北京国際都市軌道交通建設運営及び設備展覧会	11月19日~11月22日
	2013 中国国際警備技術設備博覧会	11月20日~11月22日
	2013 北京国際紡績織造、履物工業及び紡績商品、生地展覧会	
	2013 第11回北京国際ハイレベルワイン博覧会	11月25日~11月27日
	2013 第11回中国国際健康産業(北京) 博覧会	
	2013 第11回(北京) 国際有機食品と無公害食品博覧会	
	2013 第13回中国太陽光パネル展覧会	
	中国国際エネルギー貯蔵産業博覧会及び電池技術展覧会	9月5日~9月7日
	2013 中国国際複合材料工業技術展覧会	
	第24回中国国際金物博覧会及び全国金物商品交易会	9月11日~9月13日
	2013 中国国際自動車製造業博覧会	
	2013 中国国際自動車関連用品及び材料加工設備展覧会	
	2013 中国国際自動車塗装、塗料技術展覧会	9月18日~9月21日
	2013 中国国際電動自動車用電気スタンド建設展覧会	
2013 中国国際タイヤ工業展示会		
2013 中国国際自動車金型及び製造設備応用技術展覧会		
2013 第6回北京国際風能展覧会	10月16日~10月18日	
2013 第7回北京国際馬術展覧会	10月17日~10月19日	
北京展覧館	2013 北京国際老年者住居及び無障礙施設展覧会	
	2013 北京国際老年者医療及び健康介護用品展覧会	
	2013 北京国際健康養生展覧会	11月15日~11月17日
	2013 北京国際老齡産業博覧会	
	2013 北京国際異種玉石展覧会	12月20日~12月23日
	2013 中国(北京) 国際ビジネス及び観光展示会	9月2日~9月4日
	2013 第8回国際鋁業展覧会及び鉱山設備展示会	9月4日~9月6日
	2013 第12回中国国際ディーゼル及び部品展覧会	9月9日~9月11日
	2013 秋季中国ウェディング博覧会	9月14日~9月15日
	2013 第1回北京文化デジタル産業博覧会	10月2日~10月4日
北京国家会議中心	2013 秋季北京賞品高品質ブランド文化博覧会	10月10日~10月14日
	2013 中国国際自動車新エネルギー及び技術応用展覧会	10月17日~10月19日
	2013 第6回中国空気浄化技術と設備展覧会	10月22日~10月24日
	2013 第12回中国国際住宅産業博覧会	
	2013 中国国際ブランド靴及び関連商品展示会	10月23日~10月25日
	北京輸入自動車博覧会	10月30日~11月5日
	2013 中国国際教育展示会	11月2日~11月3日
	2013 中国(北京) 国際ワイン、スピリッツ展覧会	
	2013 中国(北京) 国際現代畜牧展覧会	11月13日~11月15日
	2013 中国北京国際ギフト、贈品及び家庭用品ブランド展覧会	
	2013 第16回北京国際熱処理展覧会	11月25日~11月27日
	2013 中国自動車工程及び製造技術博覧会	11月26日~11月28日

上海

上海新国際博覧中心	第13回アジア太平洋国際プラスチック・ゴム工業展覧会	9月3日~9月6日	
	中国国際皮製品展	9月4日~9月6日	
	第19回中国国際家具展覧会	9月11日~9月15日	
	2013 中国建築給排水、水処理技術展覧会		
	2013 中国国際文具及びオフィス用品展覧会	9月25日~9月27日	
	中国国際縫製設備展覧会	9月25日~9月28日	
	2013 第8回上海国際漁業博覧会	10月10日~10月12日	
	中国(上海) 国際楽器展覧会	10月10日~10月13日	
	上海国際ベビーカー及び乳幼児用品展覧会		
	中国国際玩具、幼児教育用品及び設備展覧会	10月15日~10月17日	
	中国国際ニット博覧会	10月21日~10月23日	
	中国国際紡績生地及びアークセサリー(秋冬) 博覧会	10月21日~10月24日	
	中国国際産業用紡績品及び不織布展覧会		
上海世貿商城(上海マート)	アジア国際動力伝動及びコントロール技術展 / アジア国際物流技術及び運輸システム展	10月28日~10月31日	
	第18回中国国際医薬(工業) 展覧会	10月29日~11月1日	
	第15回中国国際工業博覧会	11月5日~11月9日	
	第13回中国国際ゴム技術展		
	第82回中国電子展	11月13日~11月15日	
	2012年上海国際食品飲料及び関連設備展覧会		
	第11回中国上海国際ドア、窓及びカーテンウォール展覧会	11月19日~11月21日	
	第6回中国国際飲料工業展		
	2013 第11回上海保温材料及び省エネ技術展覧会		
	2013 第9回上海外壁装飾材料及び接着技術展覧会	11月20日~11月22日	
	第6回上海建築防水材料展覧会		
	第18回中国国際塗料、印刷インク及び接着剤展覧会		
	第26回中国国際表面処理、塗装及び塗料商品展覧会		
	中国国際金属展覧会	11月26日~11月28日	
	上海国際自動車部品、測定設備展覧会	12月10日~12月13日	
	上海国際栄養食品博覧会	9月6日~9月8日	
	第26回上海医療用当用品消耗品大会・エコージー医療設備展覧会	9月25日~9月27日	
	2013(秋季) 紡績服装展覧会	10月16日~10月18日	
	上海国際自動車改装博覧会	10月25日~10月27日	
	中国国際タイヤ博覧会	9月4日~9月6日	
上海光大会展中心	自動車検査及び品質モニター博覧会	9月10日~9月12日	
	2013 第4回上海国際冷凍冷蔵食品博覧会		
	2013 第2回上海国際調味料及び食品原料展覧会	9月15日~9月17日	
	中国国際ケーブル工業展覧会	9月25日~9月27日	
	2013 中国アイスクリーム・冷凍食品設備及び原材料展覧会	10月10日~10月12日	
	第13回全国農業交流会及び農業用化学製品展覧会	10月16日~10月18日	
	上海国際電磁マイクロ波アンテナ技術交流展覧会	10月23日~10月25日	
	2013SMP 中国先進省合材料製品、原材料工程装飾及び工程応用展覧会	10月29日~10月31日	
	第18回中国国際品質コントロール及び測定工業設備展覧会	10月30日~11月1日	
	第18回中国(国際) ミニ電機技術フォーラム / 第14回磁気材料 / 第12回電子変圧器 / 第10回制御リレ / 第9回コンデンサ技術展覧会	11月13日~11月15日	
	2013 上海バイオ発酵製品及び技術設備展覧会		
	中国国際精細化工及び製品展覧会	11月18日~11月20日	
	上海国際展覧中心	中国(上海) 国際海洋技術及び工設備展覧会	9月3日~9月5日
		上海粘着テープ・光学フィルム及び高性能フィルム展	9月9日~9月11日
		上海タッチパネル及びインクジェット展覧会	
		2013 上海国際流体機械展覧会	
		2013 上海漆油及び分析工業展覧会	9月26日~9月28日
		2013 中国(上海) 国際ガラス工業展覧会	10月10日~10月12日
		第11回国際粉体工業展覧会	10月15日~10月17日
		2013 第9回上海国際自動車改装博覧会	10月25日~10月27日
2013 年第2回上海国際輸出入食品及び飲料展覧会		11月7日~11月9日	
第13回上海古典家具展覧会(秋季展)		11月22日~11月25日	
2013 上海圧縮・鋳造・鍛造展覧会		11月28日~11月30日	
中国(上海) 国際ホテル設備及び用品交易会		12月5日~12月7日	

場 所	展 覧 会 名	期 間
広州中国輸出商品取引会 (China Import & Export Fair Complex)	第11回チャイナ(広州)国際ワイン&スピリッツエキシビジョン	11月28日~11月30日
	2013チャイナ国際食品添加物&調味料エキスポ	
	2013広州国際自転車&電動自転車エキシビジョン	11月29日~12月1日
	第20回広州ホテル施設&用品エキシビジョン	
	第20回広州グリーンニング設備&用品エキシビジョン	12月12日~12月14日
	2013広州ホテルフード&ペパレルエキシビジョン	
	2013第3回チャイナ(広州)農業エキスポ	12月18日~12月19日
	広東国際アート&コレクションフェア	10月1日~10月4日
	2013第11回国際自動車ショー	10月1日~10月5日
	2013アジアアニメーション&ゲームエキスポ	
保利世貿博覧館 (Poly World Trade Expo Centre)	第8回広州金真製品&建築資材エキスポ	10月14日~10月17日
	第28回JINHANホーム&ギフトフェア	10月21日~10月27日
	第74回チャイナ自動車部品フェア	11月2日~11月4日
	広州国際シューズ&靴用皮革フェア	
	2013第12回広州国際レザーバッグ・不織布・ジッパーフェア	11月7日~11月9日
	第18回お母さん・幼児・児童製品フェア&子供服フェア	
	2013不動産デザイン&新材料エキシビジョン	
	2013広州ファスナーエキスポ	11月12日~11月14日
	2013チャイナ(広州)機械部品&テクノロジーエキスポ	
	サウスチャイナウェディングエキスポ2013	11月15日~11月17日
サウスチャイナフォト&イメージングエキスポ2013		
2013第3回チャイナLEDライトニングエキシビジョン	11月25日~11月27日	
2013第2回広州国際自転車&電気自転車エキシビジョン		
2013チャイナ(広州)ウェディングエキスポ(冬)	11月30日~12月1日	
2013国際リチウム&蓄電(新素材)エキシビジョン	11月30日~12月2日	
2013国際刃物・超硬度素材&切削加工機工エキシビジョン		
デザイン&ブランドフェア2013	12月6日~12月8日	
2013チャイナ(広州)国際グリーンビルディングエキスポ	12月11日~12月13日	
第3回伝統中国医薬エキスポ		
第3回チャイナ(広州)健康産業エキスポ	12月20日~12月22日	
第2回チャイナ国際ヘルスクエアフェア		

台湾

場 所	展 覧 会 名	期 間
Taipei World Trade Center Hall 1	第12回台北国際楽器ショー	10月3日~10月6日
	オーストラリア教育エキシビジョン	10月5日~10月6日
	2013国際ブランド&高岸ブランドショー	10月11日~10月13日
	第14回新世紀ファニチャーショー	10月11日~10月14日
	2013秋国際教育エキスポ	10月12日~10月13日
	台北国際トラベルフェア2013	10月18日~10月21日
	台北ジュエリーショー2013秋&冬	10月23日~10月25日
	台北国際デジタル写真&メディア用品エキシビジョン2013	
	台北国際オンラインショッピング&Eコマースエキシビジョン2013	10月24日~10月27日
	台湾国際光電池エキシビジョン	10月30日~11月1日
	台湾国際スマートグリーンシティエキスポ	10月30日~11月2日
	台湾国際グリーン産業ショー	
	アート台北2013	11月8日~11月11日
	台北国際ビルディング&ファニチャーエキスポ2013	11月15日~11月18日
	台北ワイン&スピリッツフェスティバル2013	
	台湾国際チェーンストアフェア2013	
	台湾国際フードショー2013	11月22日~11月25日
	台湾国際ツーリズムスベニアエキシビジョン2013	
	台湾国際ティーエキスポ2013	
	コーヒーワールド2013	
ICT Month (ICTエキシビジョン)	11月30日~12月8日	
第25回台北国際ビル建築&デコレーションエキスポ2013	12月12日~12月15日	
台北トイ&子供用品フェア	12月20日~12月23日	
第4回台北国際ウィンタートラベルフェア		
2014台北国際自転車ショー	12月28日~1月5日	
Taipei World Trade Center Hall 3	台北ウィディング・パンケット&ジュエリーエキスポ	10月4日~10月7日
	台北キッズ・トイ・教育・赤ちゃん&妊婦用品ショー	10月10日~10月13日
	台北国際トラベルフェア2013	10月18日~10月21日
	2013欧州教育フェア	10月26日~10月27日
	台北アニメーション	11月8日~11月11日
	台北ブランド製品ショー	
	台湾ジュエリーショー	11月15日~11月18日
	兩岸カルチャー&アートエキシビジョン	11月22日~11月25日
	ICT Month (ICTエキシビジョン)	11月30日~12月8日
	第25回台北国際ビル建築&デコレーションエキスポ2013	12月12日~12月15日
2013台北中国ハブ&ビューティーエキスポ	12月20日~12月23日	
Taipei World Trade Center Nangang Exhibition Hall	2013台湾クラウドテクノロジー&モノのインターネットエキスポ	
	2013台北国際エレクトロニクスショー	10月8日~10月11日
	2013台湾ブロードバンドエキスポ	
	2013台北革新テキスタイル応用ショー	10月15日~10月17日
	2013台湾印刷回路協会ショー	
	2013台湾レーザー応用国際エキシビジョン	
	台湾Eアセンブリエキスポ2013	10月23日~10月25日
	台湾グリーンテクノロジーエキスポ2013	
	台湾熱管理エキスポ2013	
	台湾国際カルチャー&製造産業エキスポ2013	11月21日~11月24日
台湾客家産業エキスポ	12月28日~1月5日	

バンコク

場 所	展 覧 会 名	期 間
バンコク国際貿易展示センター (Bangkok International Trade & Exhibition Centre)	タイランド国際物流フェア2013	9月4日~9月7日
	Food&Hotel Thailand 2013	
	Food ingredients (食材) Asia 2013	
	食品加工・パッケージ Asia 2013	9月11日~9月13日
	ASEAN セラミックス 2013	
	アジア太平洋コーデイングショー 2013	9月12日~9月13日
	Women in One (女性向け雑貨)	9月12日~9月15日
	ワイヤー&チューブ 東南アジア 2013	9月17日~9月19日
	オイル&ガス Thailand 2013 and 石油化学 Asia 2013	9月19日~9月21日
	Chemspec Asia 2013 (化学療法)	9月19日~9月21日
ホームワーク エクスポ 2013	9月27日~10月6日	

場 所	展 覧 会 名	期 間
-----	---------	-----

香港・マカオ

場 所	展 覧 会 名	期 間
Hong Kong Convention & Exhibition Centre	フライングアートアジア2013(アート&アンティーク)	10月4日~10月7日
	HKTDC 香港エレクトロニクスフェア(オートムエディション)	10月13日~10月16日
	メガショー2013パート1(トイ&ギフト、家庭用品)	10月20日~10月23日
	メガショー2013パート2	10月27日~10月29日
	HKTDC 香港国際ライトニングフェア(オートムエディション)	10月27日~10月30日
	香港バンケットエキスポ2013	11月1日~11月3日
	香港ウェディングエキスポ2013	
	HKTDC 香港オブティカルフェア	11月6日~11月8日
	HKTDC 香港国際ワイン&スピリッツフェア	11月7日~11月9日
	コスモプロアジア2013(コスメティクス&ビューティー)	11月13日~11月15日
AsiaWorld-Expo	第6回コンピュータグラフィック&インタラクティブエキシビジョン	11月20日~11月22日
	香港国際ジュエリー製造業者ショー	11月28日~12月1日
	HKTDC イノベーションデザインテクノロジーエキスポ	
	HKTDC ワールド SME エキスポ(中小企業エキスポ)	12月5日~12月7日
	アジア農業製品エキスポ2013	
	香港国際ペーカリーエキスポ2013	
	ラーニング&ティーチングエキスポ2013	12月12日~12月14日
	第73回クリスマスウェディングサービス&バンケットエキスポ	12月13日~12月15日
	インテリアデザイン&デコ、ホーム・ショップ、オフィスサプライ&器具ショー	
	アジアゲームショー2013	12月21日~12月23日
ペネチアン マカオ	第11回香港フードフェスティバル2013	
	第11回香港メガショーケース、第6回電子機器&ドメスティック電子製品エキスポ	12月25日~12月28日
	チャイナソーシングフェア 電子機器・部品	
	チャイナソーシングフェア セキュリティ関連製品	10月12日~10月15日
	コアソーシングフェア 電子機器・部品	
	チャイナソーシングフェア 赤ちゃん・子供製品	
	チャイナソーシングフェア クリスマス・シーズン用品	
	チャイナソーシングフェア ギフト・高級品	10月19日~10月22日
	チャイナソーシングフェア 家庭用品	
	チャイナソーシングフェア 太陽光・省エネ製品	
チャイナソーシングフェア ファッション・アクセサリ	10月27日~10月30日	
チャイナソーシングフェア 衣類・テキスタイル		
チャイナソーシングフェア 下着・水着		
インドソーシングフェア 衣類・アクセサリ		
HKTDC 香港国際ビルディング&デコレーション材料&金物類フェア	10月28日~10月30日	
国際貿易フェア(環境保護)	10月28日~10月31日	
HKTDC スポーツソーシングアジア	10月29日~10月31日	
深 圳	香港トレンディ購買エキスポ2013(秋)	9月29日~10月2日
	国際フードエキスポ2013	
	マカオ国際トラベルエキスポ2013	10月11日~10月13日
	第18回マカオ国際トレード&インベストメントフェア	10月17日~10月20日
	第3回チャイナ(マカオ)国際自動車エキスポ	
	第3回マカオ国際ヨット輸出入フェア	11月1日~11月3日
	第2回マカオビジネス航空機産業エキシビジョン	
	マカオ国際自動車チューニングエキスポ2013	11月14日~11月16日
	マカオゲーミングショー	
	第9回国際ホテルエキスポ2013	11月20日~11月22日
第6回クリスマスショッピングフェスティバル	12月6日~12月8日	
2013アジア国際ホテルブランド&建築資材エキスポ	12月13日~12月15日	
第6回マカオ国際アニメエキシビジョン	12月27日~12月29日	
深圳会議展覧中心 (Shenzhen Convention & Exhibition Centre)	2013深セン不動産フェア(秋)	10月1日~10月5日
	2013深セン国際自動車ショー&第3回輸入車・高級車エキスポ	
	2013AOPA 国際飛行トレーニングエキシビジョン	10月8日~10月11日
	2013チャイナ(深セン) 国際トレードフェア(パブ・菓子製造)	
	2013チャイナ(深セン) 国際アイスクリーム&フローズンフードエキスポ	10月10日~10月12日
	第2回深セン国際ホスピタリティ関連設備&備品フェア	10月14日~10月16日
	第8回チャイナ(深セン) 国際ロジスティクス&輸送フェア	
	第21回チャイナ(深セン) 国際ギフト&家庭用品フェア	10月20日~10月23日
	2013第14回チャイナ国際公共セキュリティエキスポ	10月29日~11月1日
	第15回チャイナハイテクフェア	11月16日~11月21日
2013第16回深セン国際電子部品産業&モバイルフォン産業エキシビジョン		
2013チャイナ国際粘着テープ・保護フィルム&オプティカルフィルムエキシビジョン	11月25日~11月27日	
2013チャイナ国際高機能フィルム製造技術エキシビジョン		
2013第11回チャイナ(深セン) 国際タッチスクリーンエキシビジョン		
2013チャイナ(深セン) 国際ファイナンスエキスポ	11月28日~11月30日	
2013アジア国際ゴルフエキスポ	12月1日~12月3日	
2013国際印刷回路&エレクトロニクス組立フェア	12月4日~12月6日	
第15回チャイナ国際不動産&建築技術フェア	12月11日~12月13日	
2013深セン国際アートフェア	12月12日~12月15日	
第9回ICIF ウィンターエキスポ(アート&クラフト)	12月13日~12月16日	
第15回深セン国際エキシビジョン(アパレル用ファブリックアクセサリ&紡績)	12月17日~12月19日	
2013深セン国際衣類 OEM・ODM エキスポ		
第8回チャイナ(深セン) ティーエキスポ	12月19日~12月22日	
2013ハッピーニューイヤー深センショッピングフェスティバル	12月28日~1月6日	

広 州

場 所	展 覧 会 名	期 間
広州中国輸出商品取引会 (China Import & Export Fair Complex)	アニメ&ゲームエキスポ(広州、香港、マカオ)	10月1日~10月4日
	第114回セッションチャイナ輸出入フェア	10月15日~10月19日
	第114回セッションチャイナ輸出入フェア	10月23日~10月27日
	第114回セッションチャイナ輸出入フェア	10月31日~11月4日
	チャイナ国際グリーン革新製品&テクノロジーショー	11月9日~11月11日
	2013広州国際エキシビジョン(お母さん&赤ちゃん用品)	11月15日~11月17日
	2013チャイナ(広州)国際ティーエキスポ	11月21日~11月25日
	2013広州コーヒーエキスポ	
	第11回チャイナ(広州)国際自動車エキシビジョン	11月22日~12月1日

場 所	展 覧 会 名	期 間
SANDS EXPO AND CONVENTION CENTRE, MARINA BAY SANDS	FLAsia2013 (フランチャイズ・ライセンス)	10月3日~10月5日
	エアカルゴ&ロジスティクスアジア 2013	10月16日~10月18日
	パワーロジスティクスアジア 2013	10月30日~10月31日
	ガスアジアサミット	10月30日~11月1日
SUNTEC SINGAPORE INTERNATIONAL CONVENTION AND EXHIBITION CENTRE	SITCE2013 (運送・セキュリティ)	10月7日~10月10日
	KM ASIA (テクノロジー・情報システム)	11月12日~11月14日
	AnaLab Asia (生体臨床医学・検査技術)	11月27日~11月29日
	CIA (光学・生命工学・化学)	

マレーシア

KUALA LUMPUR CONVENTION CENTER	CINP 2013(メンタルヘルス)	10月1日~10月4日	
	アジアエステとスキンケアの展示会 2013 (AES Expo 2013)	10月2日~10月4日	
	Beauty13 Expo(美容製品)	10月4日~10月7日	
	IGEM 2013(グリーンテック・エコ製品)	10月10日~10月13日	
	ホームデコ 2013 パート1	10月17日~10月20日	
	IFN アジアフォーラム 2013(イスラム金融)	10月21日~10月22日	
	ホームデコ 2013 パート2	10月24日~10月27日	
	第21回マレーシア国際ジョエリフェスティバル 2013	11月1日~11月4日	
	アセアンオイル&ガソリンエキスポ 2013	11月12日~11月14日	
	国際ペーパーエキスポ 2013	11月15日~11月17日	
	MPOB 国際パーミルオイル会議 2013	11月19日~11月22日	
	第11回国際ガラス製品・製造業エキスポ	11月25日~11月27日	
	MIA 国際会計コンファレンス 2013	11月26日~11月27日	
	PIKOM PC FAIR(III) 2013	12月6日~12月8日	
	PUTRA WORLD TRADE CENTRE	BANKTECH ASIA 2013(銀行の展示会)	10月2日~10月3日
		ONEBUILD 2013(建設)	10月9日~10月12日
		ONEWARE 2013(ハードウェア)	
MATRADE Exhibition&Convention Centre	LabAsia 2013(ラボ・分析・実験機器)	10月8日~10月10日	
	製造業と工場のトレードフェア (MITF)	10月9日~10月12日	
	アラルランブル国際モーターショー 2013	11月15日~11月24日	
	FEF2013(高等教育、職業訓練センター、商業学校)	12月7日~12月8日	
	INTRADE 2013(建築材料、電気、電子、情報通信技術)	11月26日~11月28日	

インドネシア

Jakarta International Expo	トレードエキスポインドネシア 2013(機械、自動車・部品、化学品、電気、電子機器、医療機器、ゴム製品、プラスチック製品、家具、繊維品、宝石、服飾他)	10月16日~10月20日	
	JOB Fair	10月4日~10月5日	
	印刷機の展示会	11月6日~11月9日	
	第26回国際プラスチック&ゴム 機械・材料エキシビジョン	11月20日~11月23日	
	プロパック・インドネシア 2013(加工・包装技術・製品)	11月20日~11月23日	
	機械・器具インドネシア 2013	12月4日~12月7日	
	Balai Sidang Jakarta Convention Centre	第8回コスモポータル・インドネシア 2013	10月17日~10月19日
		コングリートショー・サウスアジア	10月24日~10月26日
	テクスチック・インドネシア(テキスタイル)		
	Jakarta International Expo	オールパック・インドネシア 2013(包装)	10月30日~11月2日
Inter Corrugated 2013(包装)		11月6日~11月9日	
Jakarta International Expo Kemayoran	ジャカルタ ウェディング フェスティバル	10月4日~10月6日	
	オイル & ガスインドネシア 2013	11月13日~11月15日	
	製造業インドネシア 2013	12月4日~12月7日	
Jakarta International Exhibition Center, Kemayoran	マリーンインドネシア 2013(海洋関連)	11月13日~11月15日	

インド

Pragati Maidan	第10回国際鉄道機器見本市	10月3日~10月5日	
	ホームエレクトロニクス・ショー 2013	10月18日~10月20日	
	第11回国際パルパ&ペーパー産業エキシビジョン	10月24日~10月27日	
	IITF(消費財全般、工業製品全般)	11月14日~11月27日	
	Fine Food India 2013(飲食品)	12月11日~12月13日	
	China Sourcing Fair(ハードウェア、建材、電子機器、部品、家庭用品)	12月12日~12月14日	
India Expo Center & Mart	LEDの展示会 2013	12月19日~12月21日	
	バックプラス 2013(包装機器、印刷)	10月6日~10月9日	
	第36回インド手芸&ギフトフェア 2013	10月15日~10月18日	
	Bombay Convention & Exhibition Centre	食品原料・ヘルス原料	10月3日~10月5日
		ファイヤーインド 2013(消火器具・機器)	10月24日~10月26日
Bombay Exhibition Centre	Intermodal India 2013(運搬、セキュリティシステム、倉庫)	11月20日~11月22日	
	Interop Mumbai(IT、ハード・ソフトウェア、インフォメーションセキュリティ)		
	Techtextil India(テクニカルテキスタイル、不織布)	10月3日~10月5日	
	国際海洋エキスポインド 2013	10月8日~10月10日	
	ブロードキャスト・インドショー	10月9日~10月11日	
	Analytica-Anacon 2013(研究所装置、分析、診断、遺伝子工学)	11月12日~11月14日	
	CPhI India(医薬品)	12月3日~12月5日	
	P-MEC India(医薬品製造機器・装置)		
ICSE India(契約製造、契約研究、包装、臨床試験、ラボ・サービス)			

フィリピン

SMX Convention Centre	Manila FAME 2013(デザイン・ライフスタイル)	10月17日~10月20日
World Trade Center Metro Manila	第12回フィリピンフランチャイズエキスポ&ビジネスミーティング	10月4日~10月6日
	ヘアサロンショー	11月19日
	ワールドバザール・フェスティバル	12月6日~12月23日

場 所	展 覧 会 名	期 間	
Bangkok International Trade & Exhibition Centre	第9回・Bangkok 冷凍、暖房、換気、空調設備 2013 (Bangkok RHVAC 2013)	10月10日~10月12日	
	コスメティック (化粧品) Asia 2013	10月29日~10月31日	
	Flood Control (洪水対策) Asia 2013		
	BUS&TRUCK 2013	11月7日~11月9日	
	Metalex 2013 (金属製品)	11月20日~11月23日	
	Sheet Metalex 2013 (鋼板)		
	24th Photo Fair 2013 (写真、カメラ)	11月27日~12月1日	
	Thailand Furniture and Houseware Fair 2013 (家具、家庭用品)	12月14日~12月22日	
	Queen Sirikit National Convention Centre	Thai Tiew Thai 2013	9月5日~9月8日
		Medical Fair 2013 (医療)	9月12日~11月14日
		Furniture Factory Outlet 2013 (家具)	9月14日~9月22日
		タイランド携帯電話 エクスポ 2013	10月3日~10月6日
		5th Shopping Paradise Fair 2013 (生活全般)	
		Worlddidac Asia 2013 (アジア史)	10月9日~10月11日
		Modern Mom Fair 2013 (育児)	10月9日~10月13日
		ブックエキスポ Thailand 2013	10月16日~10月28日
16th Thailand Baby&Kids Best Buy (幼児・子供向けフェア)		10月31日~11月3日	
Commart Comtech Thailand 2013 (科学技術・IT)		11月7日~11月10日	
Eコライトテック Asia 2013		11月13日~11月15日	
Impact Arena Exhibition & Convention Center	第11回 エイズ国際会議 アジア太平洋 (ICAAP) 2013	11月18日~11月22日	
	Turkish Products Exhibition 2013 (トルコ製品エキシビジョン)	11月28日~12月1日	
	Bangkok Furniture Sale (家具販売)	11月30日~12月8日	
	Bonjour French Fair 2013 (フランス製品)	12月12日~12月15日	
	Thailand Bestbuys 2013 (生活全般)	12月13日~12月22日	
	Super Sale 2013 (家具、ファッション、家庭用電子機器)	8月24日~9月1日	
	10th National Herb Expo 2013 (ハーブ)	9月4日~9月8日	
	中国製品 (Bangkok, Thailand) ショー 2013	9月5日~9月7日	
	中小企業 Thailand Expo 2013	9月5日~9月8日	
	52nd Bangkok Gems & Jewelry Fair 2013 (宝石・アクセサリー)	9月6日~9月10日	
	PlenChit 2 Carabao Orchestra	9月14日~9月14日	
	World Spa&Well-being Convention 2013 (SPA)	9月18日~9月21日	
	Pool&Spa Tech Asia 2013 (プール・スパ大学)	9月19日~9月21日	
	BMAM Expo Asia 2013		
	Green Building&Retrofit Expo Asia 2013(GBR Expo Asia 2013)		
タイランド国際エキシビジョン (建築工学、装置、科学技術) 2013 (CONSTECH 2013)			
Barbie Live	9月19日~9月22日		
Justin Bieber Believe Tour	9月26日~9月26日		
2013 1st INFINITE WORLD TOUR - ONE GREAT STEP	9月28日~9月28日		
POWER-GEN Asia&Renewable Energy World Asia 2013	10月2日~10月4日		
家具・ファッション・食品フェスティバル 2013 and ラグジュアリー展 2013	10月5日~10月13日		
ハーバルライフ Asia Pacific Active World Team	10月18日~10月20日		
KidsCovey World presents Tales&Toys	10月24日~10月27日		
SmartHeart presents Pet Variety - The 2nd Edition of Thailand's Most Variety and Exotic Pet Show			
Baan Lae Suan Fair 2013 (家・庭園)	11月2日~11月10日		
Health Cuisine and Beauty Festival 2013 (健康食品・美容)			
タイランド エンジニア エクスポ 2013	11月14日~11月17日		
Sign Asia Expo 2013 and Digital Sign Asia 2013(標識・看板)	11月19日~11月22日		
ITU Telecom World 2013	11月22日~11月24日		
2013 ASEAN (Bangkok) China Import - Export Commodities Fair	11月23日~11月24日		
第7回 チアリーディング 世界選手権	11月23日~11月24日		
第30回 Thailand 国際モーターエキスポ 2013	11月28日~12月10日		
Solar Energy SE Asia 2013	12月3日~12月4日		

ホーチミン・ハノイ

Ho Chi Minh Tan Binh Exhibition & Convention Centre	ホーチミンシティエキスポ 2013 (インテリア・アウトドア・フアーニチャー・アクセサリー)	10月3日~10月5日	
	ベトナム農家エキスポ 2013	10月10日~10月14日	
	ベトナムテキスタイル&衣類エキスポ 2013	10月24日~10月27日	
	ベトナムフアーニチャー&ホームファインディングフェア 2013	11月14日~11月17日	
	ベトナム国際トレードエキスポ 2013 ホーチミン	11月27日~11月30日	
	ベトナムトレードエキスポ	12月4日~12月7日	
	Saigon Exhibition & Convention Centre	ライニングワールド 2013	10月3日~10月6日
		ベトナム機械機器&金属加工技術エキシビジョン	10月10日~10月12日
		ベトナム国際電子部品エキシビジョン	10月16日~10月18日
		ベトナム機械&電気工学エキスポ	10月23日~10月27日
Vietnam Exhibition & Fair Centre, Hanoi	第9回ベトナムモーターショー	10月31日~11月2日	
	ベトナム国際小売&フランチャイズショー 2013	11月27日~11月30日	
	ベトナムガラス技術エキシビジョン	11月28日~11月30日	
	ベトナム国際インターネット&IT エキシビジョン	12月4日~12月7日	
	ベトナムテレコミュニケーション&IT 国際エキシビジョン	12月11日~12月13日	
	第10回アセアン石油会議エキシビジョン	12月11日~12月13日	
	第11回ベトナム国際トレードフェアホーチミン	12月11日~12月13日	
	アジアパシフィック農業エキスポ 2013	12月11日~12月13日	
Hanoi National Convention Centre	ベトナム国際産業フェア	10月16日~10月27日	
	ハノイギフトショー	10月27日~10月30日	
singapore expo	ベトナムエネルギーフォーラム&エキスポ 2013	11月13日~11月15日	
	インテリア・リビングアジア 2013	9月28日~10月6日	
	MRO アジア (航空・自動車・海運・運送)	10月29日~10月31日	
	グリーンアーバンスペースアジア 2013 (農業技術)	11月7日~11月9日	
	アジアパシフィックフードエキスポ 2013	11月21日~11月25日	
SITEX2013 (コンピューター・IT・電子機器)	11月28日~12月1日		

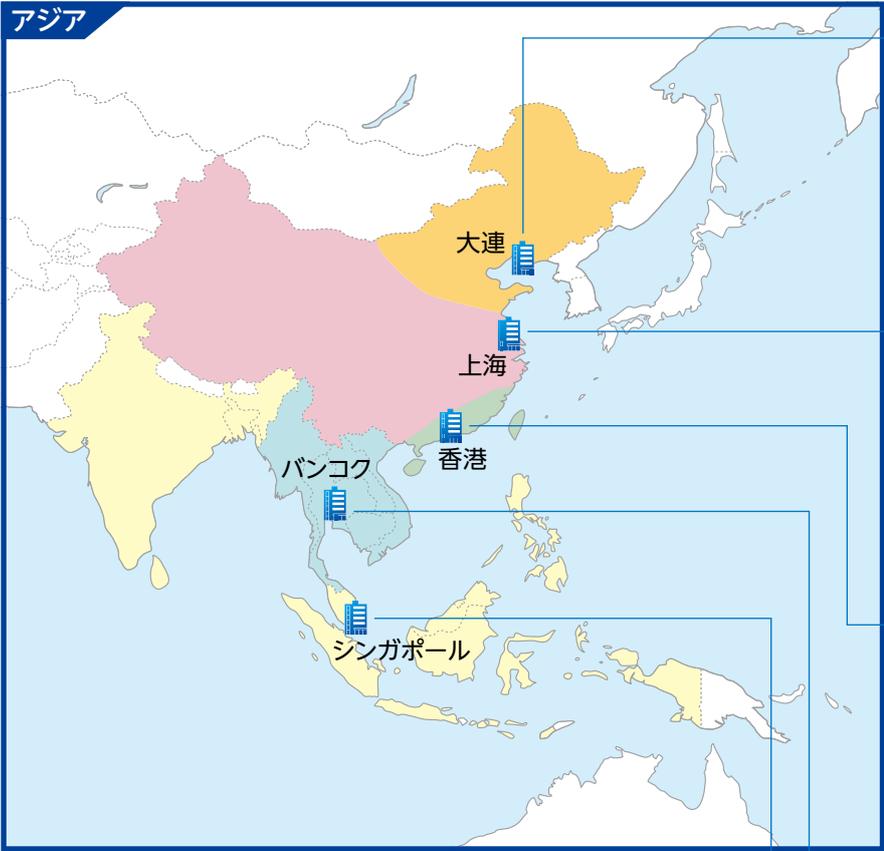
シンガポール

インテリア・リビングアジア 2013	9月28日~10月6日
MRO アジア (航空・自動車・海運・運送)	10月29日~10月31日
グリーンアーバンスペースアジア 2013 (農業技術)	11月7日~11月9日
アジアパシフィックフードエキスポ 2013	11月21日~11月25日
SITEX2013 (コンピューター・IT・電子機器)	11月28日~12月1日



海外拠点紹介

〈海外駐在員事務所の位置と担当範囲〉



福岡銀行 大連駐在員事務所 (The Bank of Fukuoka, Ltd. Dalian Representative Office)

【所在地】
中華人民共和国大連市人民路60号
大連富麗華大酒店622号室
【電話番号】
(国番号 86)411-8282-3643
【所長】
小田 周平



福岡銀行 上海駐在員事務所 (The Bank of Fukuoka, Ltd. Shanghai Representative Office)

【所在地】
中華人民共和国上海市延安西路2201号
上海国際貿易中心2010号室
【電話番号】
(国番号 86)21-6219-4570
【所長】
安恒 忠紀



福岡銀行 香港駐在員事務所 (The Bank of Fukuoka, Ltd. Hong Kong Representative Office)

【所在地】
Room 404, 4/F, Far East Finance Centre,
16 Harcourt Road, Hong Kong
【電話番号】
(国番号 852)2524-2169
【所長】
菅 大輔



福岡銀行 バンコク駐在員事務所 (The Bank of Fukuoka, Ltd. Bangkok Representative Office)

【所在地】
16th Floor Unit 1606, Park Ventures Ecoplex,
57 Wireless Road, Lumpini, Pathumwan,
Bangkok 10330, Thailand
【電話番号】
(国番号 66)2-256-0695
【所長】
貞方 泰徳



福岡銀行 シンガポール駐在員事務所 (The Bank of Fukuoka, Ltd. Singapore Representative Office)

【所在地】
One George Street #17-05
Singapore 049145
【電話番号】
(国番号 65)6438-4913
【所長】
酒口 昇



福岡銀行 ニューヨーク駐在員事務所 (The Bank of Fukuoka, Ltd. New York Representative Office)

【所在地】
One Rockefeller Plaza, Suite 1201,
New York, NY 10020-2003
【電話番号】
(国番号 1)212-247-2966
【所長】
藤井 雅博





福岡銀行 SUGOCA

ひとつになって、さらに便利に。

arecore SUGOCA スタート! キャンペーン

9.2(月) 11.29(金)

期間中、アレコレSUGOCAをお申込みいただくと
先着10,000名様にもれなく「ユーモ&カエルくん
オリジナル通帳ケース」をプレゼント※1!
さらに、抽選で1,500名様に
「金のカエルくん貯金箱」をプレゼント※2!



※1 店頭でお申込みのお客様にのみ。プレゼントはなくなり次第終了させていただきます。
※2 当選の発表は商品の発送(平成26年1月予定)をもってかえさせていただきます。また、平成25年12月末時点でアレコレSUGOCAカードを保有しているお客様が対象です。

銀行も乗り物も買い物も、これ1枚。

arecore SUGOCA



あなたのいちばんに。
FFG ぶくおかフィナンシャルグループ

くわしくは福岡銀行窓口またはホームページへ

福岡銀行
平成25年9月2日現在

銀行に!乗り物に!買い物に!アレコレ使えてスゴカ1枚!!

銀行で
キャッシュカードとして

福岡銀行のキャッシュカードが、いろんなATMで使える!

○(ふくぎん)をはじめゆうちょ銀行、他銀行で使える ○コンビニで平日24時まで、現金のお引出しOK
※自動サービスコーナーによって、利用可能時間・利用可能取引内容等が異なる場合がありますので、ご注意ください。
※ご利用のATM、時間帯等によっては所定の手数料が必要です。

1年目は無条件で

ふくぎんATM時間外手数料、コンビニATM利用手数料が**無料!**
※「コンビニATM利用手数料は口座ごとに月3回まで無料」となります。
詳しくはふくぎん窓口もしくはホームページにてご確認ください。
※カード発行日の翌月15日から適用されます。※振込手数料は別途必要になります。
※共同サービスコーナーによっては、対象外となる場合があります。
※「セブン銀行」「E-net」「ローソンATM」マークがあるコンビニエンスストア等のATMを無料でご利用いただけます。
※1年以内にアレコレSUGOCAを解約された場合、特典が無効となる場合があります。

2年目以降はお取引の内容によって**無料!**
※マイバンク三ツ星の方は「コンビニATM利用手数料が口座ごとに月3回まで無料」となります。詳しくはふくぎん窓口もしくはホームページにてご確認ください。

Protected by Bio System

買い物で
クレジットカードとして

世界中の加盟店で利用できるICチップ搭載の次世代カード! 携帯電話、プロバイダー料金、保険料など、毎月のお支払いに! ご契約いただくだけで年会費が**無料!**

1年目は無条件で

2年目以降は右記の 前年の年間ショッピング利用額10万円以上または、携帯電話料金・ガス料金(西部ガス)・電気料金(九州電力)のいずれかのクレジットカード決済で年会費は2年目以降も無料になります。

※ゴールドカードは対象外となります。

急な出費で
ローンカードとして

いざという時も、2つのローン機能付きで安心!

※ご利用の際は、お利息がかかります。※65歳以上の方は、本サービスはご利用になれません。
※詳しくは、店頭またはホームページの説明書にてご確認ください。

アレコレプラスワンサービス
○口座振替やお引出し時に、口座残高が0円でも10万円までお立て替えいたします。
○ご返済は、口座へのご入金でOK!!お利息はお立て替えした日数分だけです。

アレコレカードローンサービス
○ご利用残高に応じて、毎月のご返済額も一定なので安心です。
○毎月のご返済に加え、余裕のあるときにはふくぎんのATMでご返済可能です。

※審査結果によっては、プラスワンサービス・アレコレカードローンをご利用いただけない場合があります。※ご融資限度額は、審査のうえ当行で決定させていただきます。

乗り物・買い物で
SUGOCAとして

列車やバス、買い物もスッとゴー!! チャージ(入金)しておけば、タッチするだけの簡単自動精算。

このサービスマークの付いているエリア、お店で利用できます
ic SUGOCA PASMO Suica manaca
SUGOCA nimoca PiTaPa
※PiTaPaはIC乗車券としてのみご利用可能です。

タッチ & ゴーで自動改札機を利用できます。
自動改札機の読み取り部にSUGOCAを軽くタッチするだけで通過できます。事前にきっぷを購入する必要もありません。
パスケースなどに入れたままでも利用いただけます。
※他のICカードや電波をささげる物が入っていると利用できません。

電子マネーとして
電子マネーでお買い物もできます。
鉄道の利用だけでなく、上記サービスマークのあるお店で利用いただけます。駅ナカから街ナカへ。SUGOCAは、全国のコンビニで利用できます。

▶お申込み条件
20歳以上で安定継続収入のある方
※クラシックカードの場合、20歳以上の専業主婦・学生の方もお申込みいただけます。

▶年会費のご案内(税込)

クラシックカードの年会費は1年間無料です。2年目以降は、アレコレSUGOCAでの前年の年間ショッピングご利用額が10万円(家族カード利用額も含む)以上または携帯電話料金・ガス料金(西部ガス)・電気料金(九州電力)のいずれかのクレジットカード決済により年会費が無料になります。

	本会員	家族カード(1人目)	家族カード(2人目)	「マイ・ベイすりぽ」※3の登録をした場合
クラシック	1,312円 (初年度無料)	420円 (初年度無料)	420円 (初年度無料)	下記※2を条件に 本会員・家族会員とも無料
クラシック(学生)	無料※1			無料
ゴールド	10,500円	無料	1,050円	左記と変わらず

※1 クラシック(学生)カードの年会費無料適用期間は、卒業予定年度までです。(以降はクラシックに準じます。)
※2 「マイ・ベイすりぽ」の登録をした場合、クラシックカードは、前回の年会費引落日の前月16日から次回の年会費引落日の前月15日までに、ショッピングのご利用(家族カード・ETCの利用含む)があれば、次回の年会費は無料となります。その後も1年毎に同様のお取扱いとなります。
※3 「マイ・ベイすりぽ」とは、ショッピングの一括払いを原則「リボ払い」とする登録サービスです。

《必ずお読みください》

■福岡銀行所定の審査がございます。審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。あらかじめご了承ください。なお、その場合、お断りする理由および内容については回答いたしません。■arecoreカード・キャッシュ一体型クレジットカード・アレコレnimocaとの重複契約はできません。■お申込み内容やお勤め先での在籍を確認するため、ご自宅およびお勤め先にそれぞれお電話をさせていただく場合がございますのでご了承ください。■商品・サービスの内容は、今後の情勢等により変更させていただく場合がございます。■審査の結果、アレコレSUGOCAの発行ができない場合は、生体認証ICキャッシュカードをお送りさせていただきます。(キャッシュカードをお持ちでない方のみ)■キャッシュカードをお持ちのお客さまで、アレコレSUGOCAにご入会されたお客さまは、ご自宅にアレコレSUGOCAが届きましたら現在お使いのキャッシュカードにハサミを入れてご処分いただきますようお願い申し上げます。(旧キャッシュカードにつきましては、アレコレSUGOCAが発行された月の翌月末日以降ご利用いただけなくなります。ただし、前述の日以前にアレコレSUGOCAのキャッシュカード機能をご利用された場合は、その日以降ご利用できなくなります。)

アレコレSUGOCAに関するお問い合わせは…

■ふくぎんダイレクトコンサルティングプラザ
0120-788-324
[受付時間] 平日9:00~20:00 但し、銀行休業日は除きます。

携帯・PHSからもご利用OK!

ふくぎんホームページアドレス
http://www.fukuokabank.co.jp



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「オクラの生産量」と「切り花の年間消費額」です。



オクラの生産量

検索



切り花の年間消費額

検索



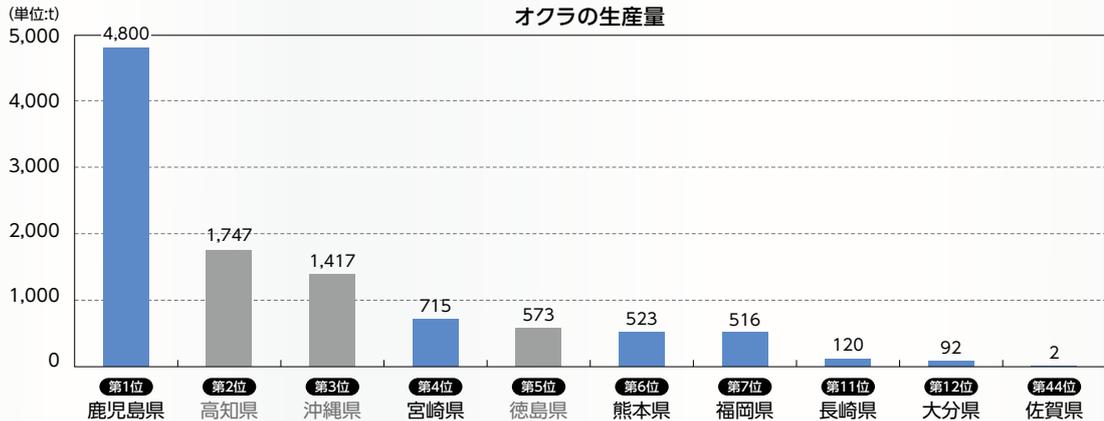


オクラの生産量

今年の夏は、国内の最高気温が6年ぶりに更新され、福岡市、鹿児島市、宮崎市では7月の平均気温が明治時代の観測開始以来最も高くなる等、九州でも記録的な猛暑となりました。

疲れが出やすいこの時期、夏バテ対策として食欲がない時でもツルッと食べられるオクラが旬です。カルシウム・鉄・カロチン・ビタミンC等が多く含まれ、夏バテ予防に最適です。オクラは寒さに弱い為、温暖な地域での生産が盛んで、その生産量は鹿児島県が全国1位を誇ります。

こまめな水分補給に加え、オクラのネバネバパワーで、今年の残暑も乗り切りましょう。



(出所：農林水産省「平成22年産地域特産野菜生産状況」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

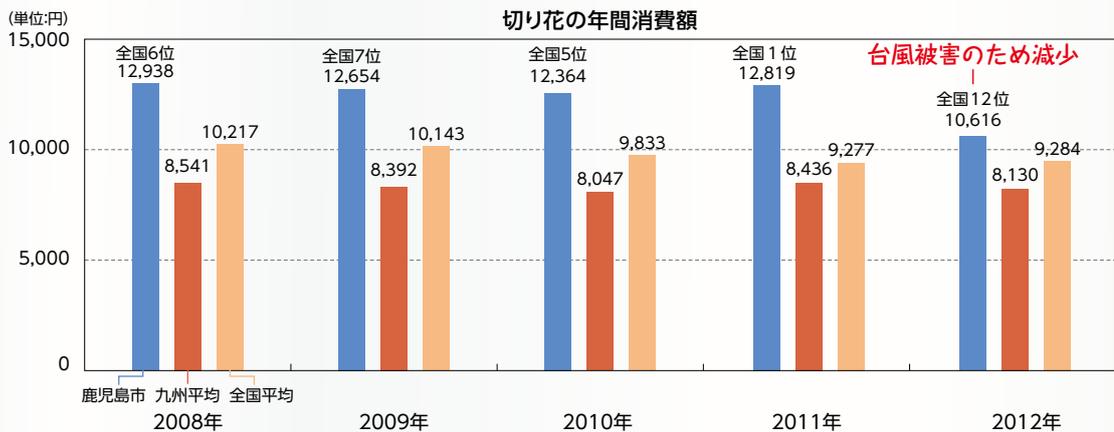


切り花の年間消費額

全国の切り花の年間消費額（1世帯あたり）は、年々減少傾向にあります。一説には、子供の頃に花と触れ合う機会が減り、花への興味が薄れていることが要因の一つだと言われています。

鹿児島市は2011年に切り花の年間消費額が全国第1位となる等、全国有数の切り花消費地であるとともに、年間生産額においても、全国5位（2011年）と上位に名を連ねています。

お盆・春秋の彼岸に限らず、一年中墓前に花を供える文化が今もなお根付いています。多くの偉人達を輩出した鹿児島の誇れる習慣です。



(出所：総務省「家計調査」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

生産活動は、自動車向け特殊鋼が増産となる等、緩やかな持ち直しの動きが続いています。住宅建設は、消費税増税を意識した着工により5ヵ月連続で前年を上回りました。大型小売店販売額も主力の飲食料品が前年を上回る等、堅調に推移しています。

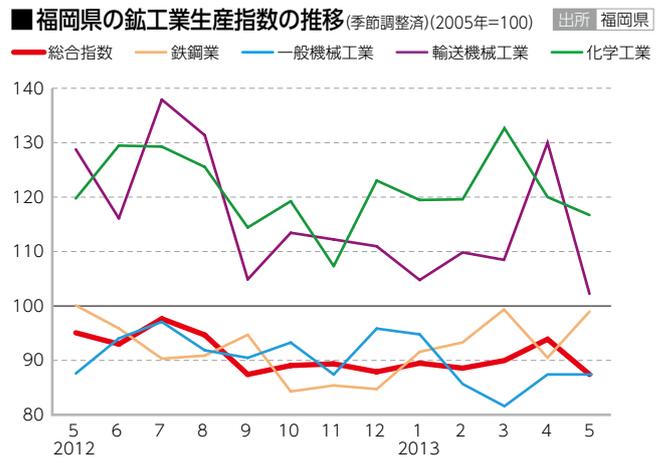
福岡県の景気は、好調な公共工事に加えて、消費や住宅建設も堅調に推移する等、回復の動きが広がりを見せており、持ち直しの動きが続いています。

(松永 圭史)

1.生産活動 | 特殊要因で一部に減産あるも、緩やかな持ち直しの動きが続いている

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は88.2と前月比6.3%低下しました。

主要業種では、一部工場の一時的なトラブル停止という特殊要因により普通自動車が減産となり、輸送機械が低下するも、自動車の受注自体は堅調に推移しており、自動車のパーツであるめっき鋼材や特殊鋼等の生産が増加した鉄鋼が上昇する等、生産は緩やかな持ち直しの動きが続いています。



2.大型小売店 | 堅調に推移している

6月の大型小売店販売額は、前年同月比4.7%増の561億円となりました。

夏物衣料品が好調だったことに加え、主力の飲食料品も前年を上回っており、消費は堅調に推移しています。

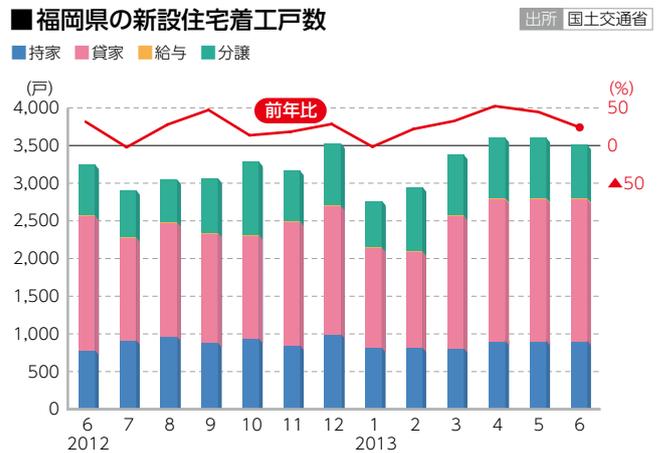




3.住宅建設 | 堅調に推移している

6月の新設住宅着工戸数は、3,486戸と前年同月比7.7%増加し、5ヵ月連続で前年を上回りました。

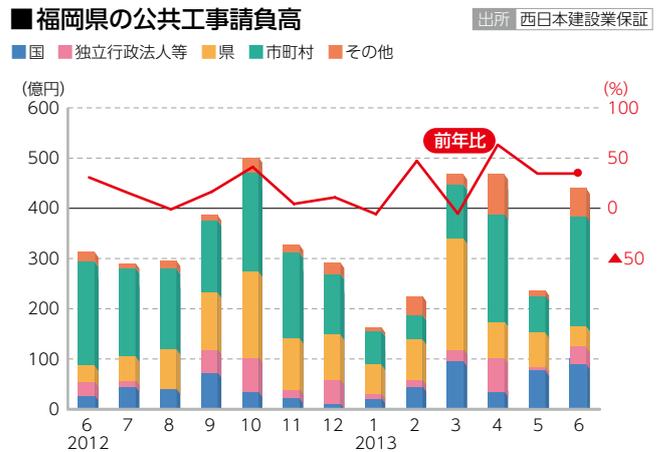
貸家は減少したものの、消費税増税を意識した駆け込み着工により、「分譲」が前年を大きく上回る等、堅調に推移しています。



4.公共工事 | 好調に推移している

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比11.2%増の776件、金額が前年同月比36.7%増の428億円となりました。

発注者別では、高速道路関連の大型案件があった「独立行政法人等」や、病院新築工事があった「その他の公共的団体」が前年から増加する等、好調に推移しています。



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに2ヵ月連続で前月を下回る

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比36.8%減の24件、負債総額が同36.6%減の約22億円となりました。

負債総額、倒産件数ともに2ヵ月連続で前月を下回りました。



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 回復に向けた動きが見られる

生産活動は、スマートフォン向けの半導体集積回路の増産により電子部品・デバイスが上昇する等、回復に向けた動きが見られます。

住宅建設は好調を維持している他、大型小売店販売額も主力の衣料品・飲食料品が前年を上回る等、堅調に推移しています。公共工事は、大型案件の発注があり前年を大幅に上回りました。

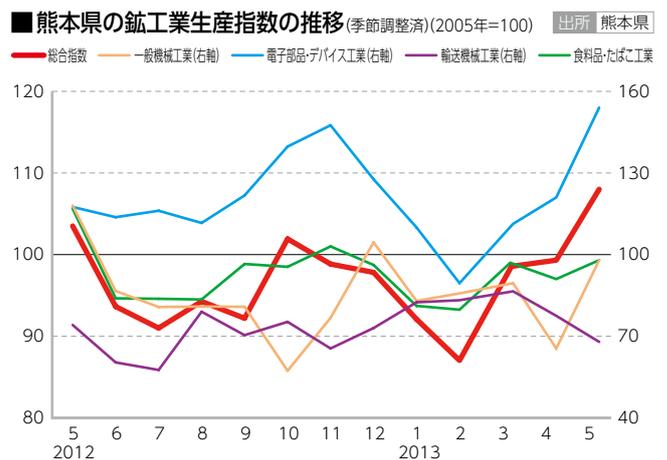
熊本県の景気は、好調な住宅建設や公共工事に加えて、生産や消費も増加する等、回復に向けた動きが見られます。

(松永 圭史)

1.生産活動 | 回復に向けた動きが見られる

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は前月比9.9%上昇の107.9となり、3カ月連続で上昇しました。

主要業種では、スマートフォン向けの半導体集積回路が増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、生産は回復に向けた動きが見られます。



2.大型小売店 | 堅調に推移している

6月の大型小売店販売額は、前年同月比3.8%増の132億円となりました。

夏物の衣料品が好調だったことに加え、飲食料品が前年を上回る等、消費は堅調に推移しています。



3.住宅建設 | 好調に推移している

6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比18.9%増加の1,232戸となりました。

「持家」「貸家」が増加する等、消費税増税を意識した駆け込み着工により好調に推移しており、前月比では5ヶ月連続で増加しました。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 好調に推移している

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比45.2%増の540件、金額が同130.0%増の259億円となりました。

発注者別では、橋梁工事等の大型案件のあった「県」が大幅に前年を上回る等、好調に推移しています。

■熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



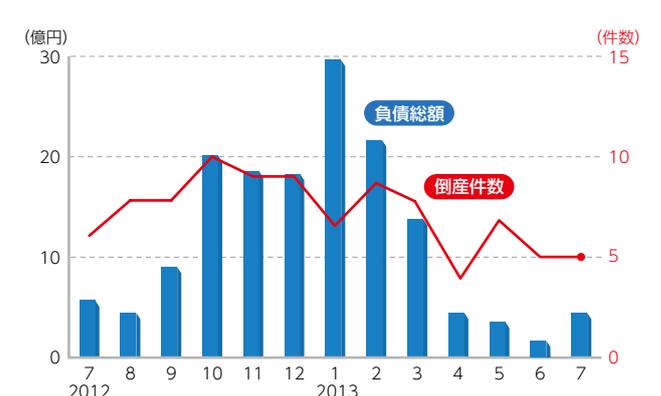
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準で推移

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比16.7%減の5件、負債総額が同23.9%減の約4億円となりました。

建設業で1億円以上の倒産があったものの、負債総額、件数ともに低水準で推移しています。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

生産活動は、火力発電所等のプラント向けボイラーが増産となった一般機械が上昇する等、持ち直しの動きが見られます。

大型小売店販売額は、主力の衣料品、飲食料品ともに前年を上回る等、堅調に推移しています。住宅建設は堅調に推移しています。

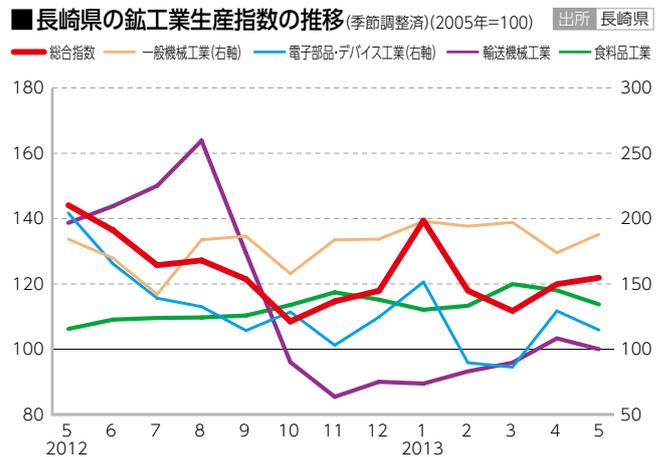
長崎県の景気は、生産に持ち直しの動きが見られる他、消費や住宅投資が堅調に推移する等、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

(松永 圭史)

1. 生産活動 | 持ち直しの動きが見られる

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は122.2と前月比1.7%上昇しました。

主要業種では、火力発電所等のプラント向けのボイラーが増産となった一般機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きが見られます。



2. 大型小売店 | 堅調に推移している

6月の大型小売店販売額は、前年同月比5.9%増の96億円となりました。

昨年末から大型スーパーが相次いで開店した効果の継続により、主力の衣料品、飲食料品ともに前年を上回る等、消費は堅調に推移しています。

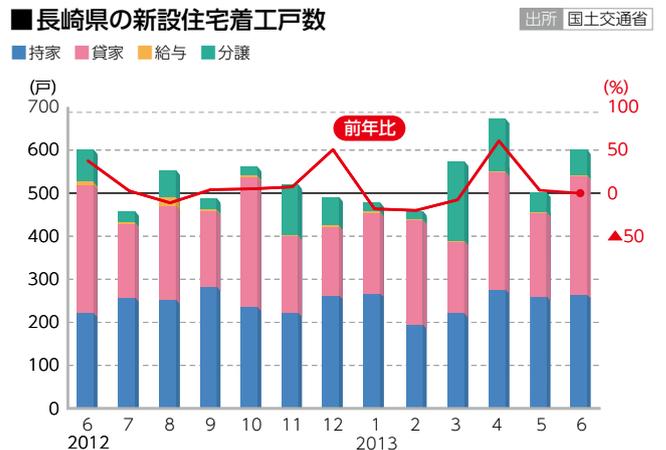




3.住宅建設 | 堅調に推移している

6月の新設住宅着工戸数は、604戸と前年同月比0.5%増加しました。

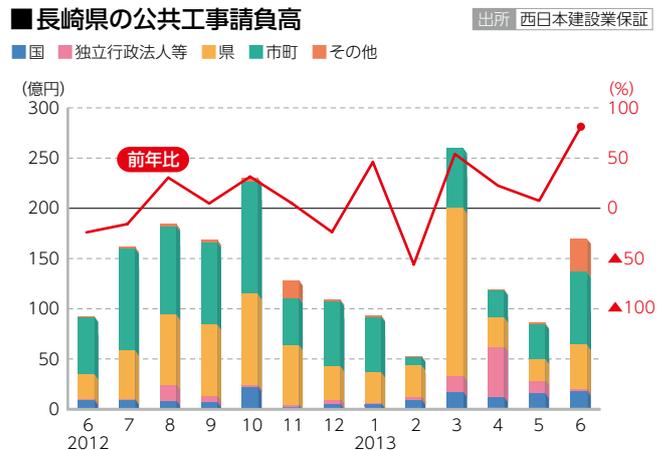
「分譲」が前年から減少したものの、消費税増税を意識した駆け込み着工により「持家」「貸家」が前年を上回る等、堅調に推移しています。



4.公共工事 | 好調に推移している

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比17.6%増のは334件、金額が同82.3%増の168億円となりました。

発注者別では、学校新築工事の発注があった「県」や、病院新築の大型案件があった「その他の公共的団体」が前年を上回る等、好調に推移しています。



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準で推移

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%減の4件、負債総額が同82.1%減の約2億円となりました。

負債総額、件数ともに低水準で推移しています。



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

生産活動は、工作機械が増産となった一般機械が上昇する等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

住宅建設は、堅調に推移しています。大型小売店販売額は、高額品の販売が好調となる等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

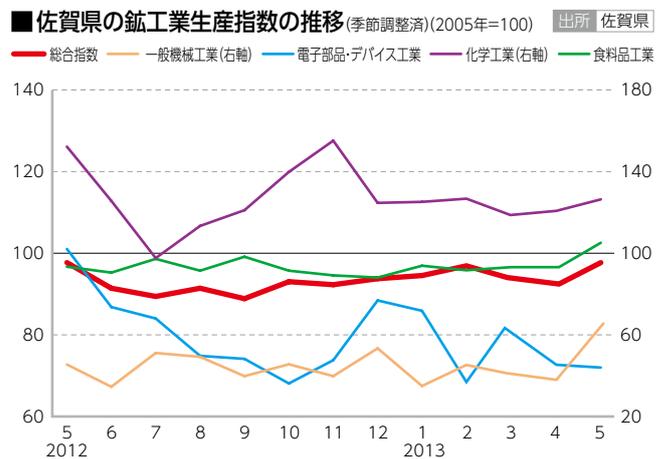
佐賀県の景気は、生産や消費に緩やかな持ち直しの動きが見られる他、住宅建設が堅調に推移する等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

(松永 圭史)

1.生産活動 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は96.6と前月比5.8%上昇しました。

主要業種では、金属工作機械の生産が増加した一般機械が上昇した他、食用アミノ酸が増産となった食料品が上昇する等、生産は緩やかな持ち直しの動きが見られます。



2.大型小売店 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

6月の大型小売店販売額は、前年同月比0.9%増の54億円となりました。

衣料品・飲食料品ともに前年並みだったものの、高額品の販売が好調となる等、消費は緩やかな持ち直しの動きが見られます。





3.住宅建設 | 堅調に推移している

6月の新設住宅着工戸数は、394戸と前年同月比14.2%増加しました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により「持家」「貸家」「分譲」が増加する等、堅調に推移しています。全体では6ヵ月連続で前年を上回っています。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



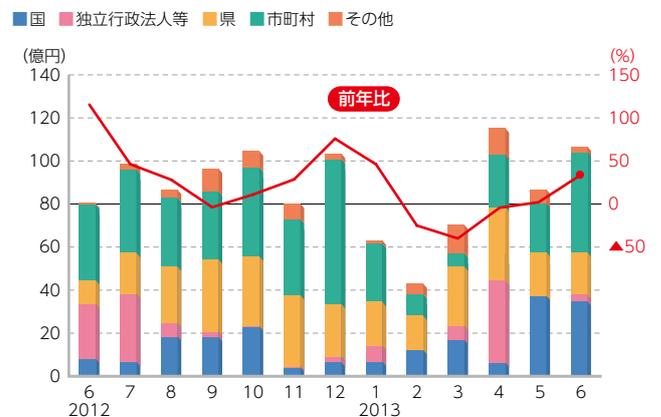
4.公共工事 | 持ち直しの動きが見られる

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比19.5%増の239件、金額が同35.4%増の109億円となりました。

発注者別では、学校改修等の大型案件があった「市町村」が前年を大きく上回る等、持ち直しの動きが見られます。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



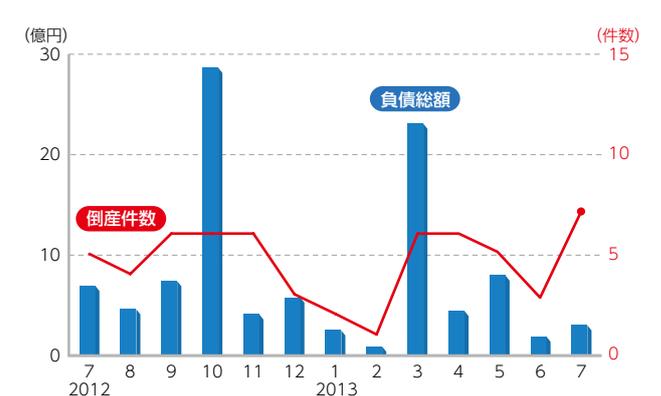
5.企業倒産 | 負債総額は低水準で推移

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比40.0%増の7件、負債総額が同50.9%減の約3億円となりました。

化学製品卸売業で1億円以上の倒産があったものの、負債総額は低水準で推移しています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

生産活動は、半導体集積回路(汎用)の減産により電子部品・デバイスが低下する等、一部に弱さが見られます。

大型小売店販売額は、主力の衣料品・飲食料品が前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。住宅建設は、好調に推移しています。

大分県の景気は、生産に一部弱さが見られますが、消費に持ち直しの動きが見られる他、住宅建設、公共工事が好調に推移する等、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

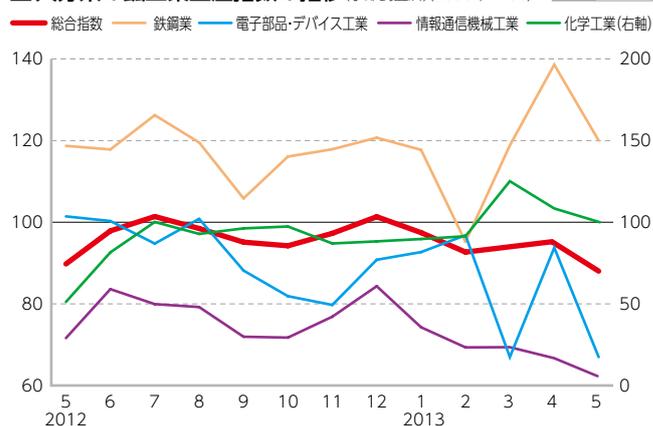
(松永 圭史)

1.生産活動 | 一部に弱さが見られる

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は86.7と前月比8.8%低下しました。

主要業種では、半導体集積回路(汎用)が減産となった電子部品・デバイスが低下した他、デジタルカメラの生産が減少した情報通信機械が低下する等、生産は一部に弱さが見られます。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100) 出所 大分県



2.大型小売店 | 持ち直しの動きが見られる

6月の大型小売店販売額は、前年同月比2.8%増の94億円となりました。

夏物の衣料品が好調だったことに加え、飲食料品が前年を上回る等、消費は持ち直しの動きが見られます。

■大分県の大型小売店販売額

出所 九州経済産業局





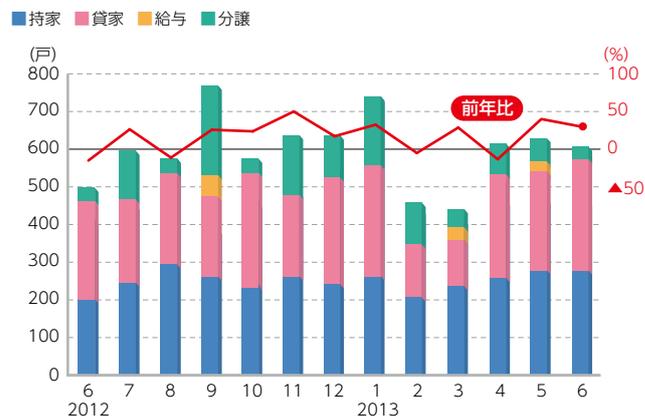
3.住宅建設 | 好調に推移している

6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比22.6%増の607戸となりました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により、「持家」「貸家」「分譲」が前年を上回る等、好調に推移しています。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



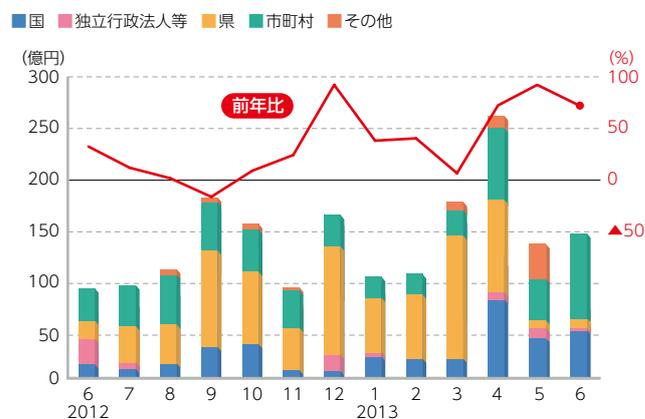
4.公共工事 | 好調に推移している

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比107.5%増の444件、金額が同69.5%増の147億円となりました。

発注者別では、東九州道関連工事(トンネル新設等)の大型案件があった「国」が前年を大きく上回る等、好調に推移しています。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



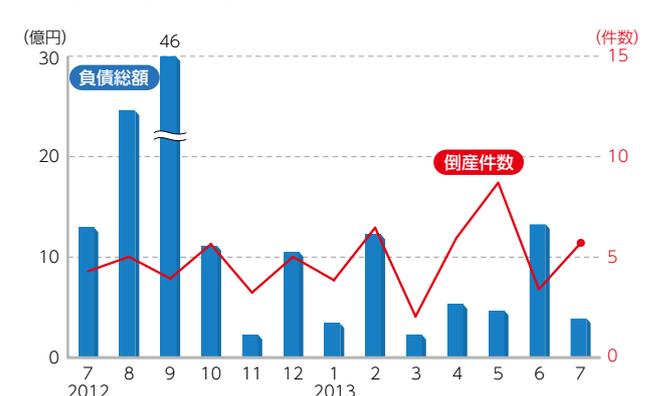
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準に抑制

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50.0%増の6件、負債総額が同67.6%減の約4億円となりました。

土木工事業で約2億円の倒産があったものの、負債総額、件数ともに概ね低水準に抑制されています。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

生産活動は、焼酎等が増産となった食料品が上昇する等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

大型小売店販売額は、高額品の販売が好調となる等、持ち直しの動きが見られます。住宅建設は、前年を下回りましたが、着工数増加に向けた動きは継続しています。公共工事は前年を上回りました。

宮崎県の景気は、生産に緩やかな持ち直しの動きが見られる他、消費、公共工事が増加する等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

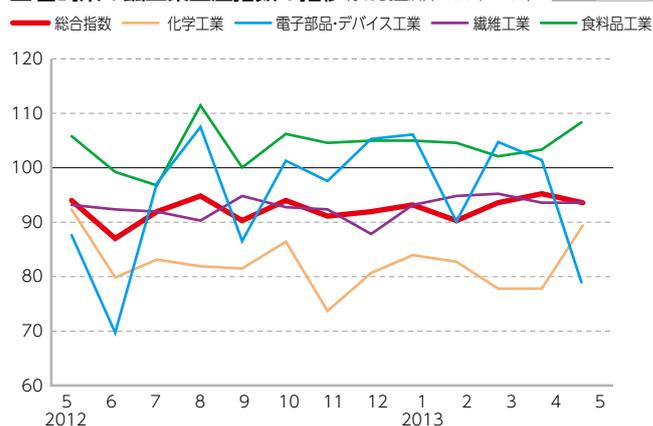
(松永 圭史)

1.生産活動 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は92.6と前月比3.1%低下しました。

主要業種では、焼酎等の生産が増加した食料品が上昇する等、生産は緩やかな持ち直しの動きが見られます。

■ 宮崎県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整済)(2005年=100) 出所 宮崎県



2.大型小売店 | 持ち直しの動きが見られる

6月の大型小売店販売額は、前年同月比1.5%増の68億円となりました。

主力の衣料品が前年を上回った他、高額品の販売が好調となる等、消費は持ち直しの動きが見られます。

■ 宮崎県の大型小売店販売額 出所 九州経済産業局





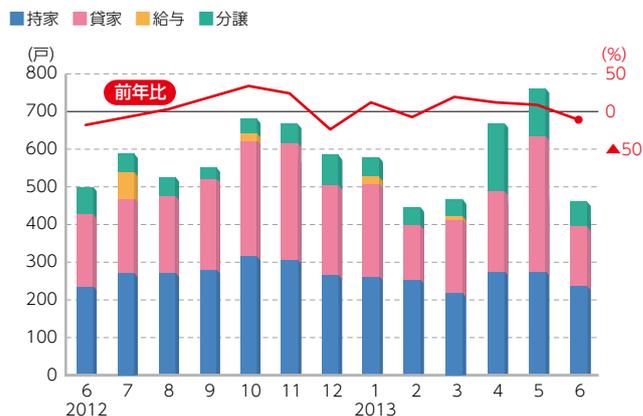
3.住宅建設 | 着工数増加に向けた動きは継続

6月の新設住宅着工戸数は、460戸と前年同月比8.7%減少しました。

「持家」「分譲」等、全ての項目で前年を下回ったものの、住宅着工の先行指標である建築確認申請件数(戸建)が前年を上回る水準で推移しており、着工数増加に向けた動きは継続しています。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 持ち直しの動きが見られる

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比31.1%増の422件、金額が同19.4%増の152億円となりました。

発注者別では、ごみ焼却施設建設工事等の大型案件があった「市町村」が前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



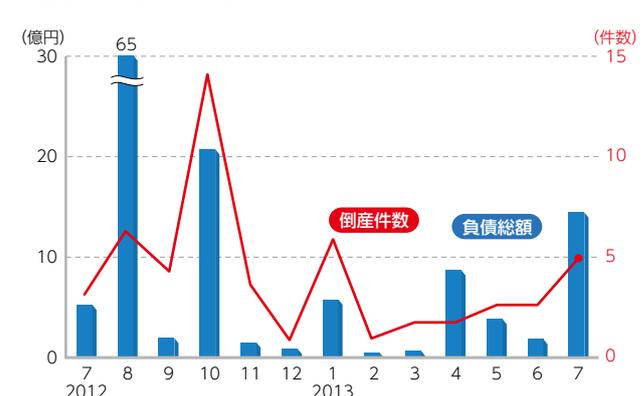
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比66.7%増の5件、負債総額が約3倍の約15億円となりました。

食品スーパーで12億円の大型倒産が発生し、負債総額は前年を大幅に上回りました。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

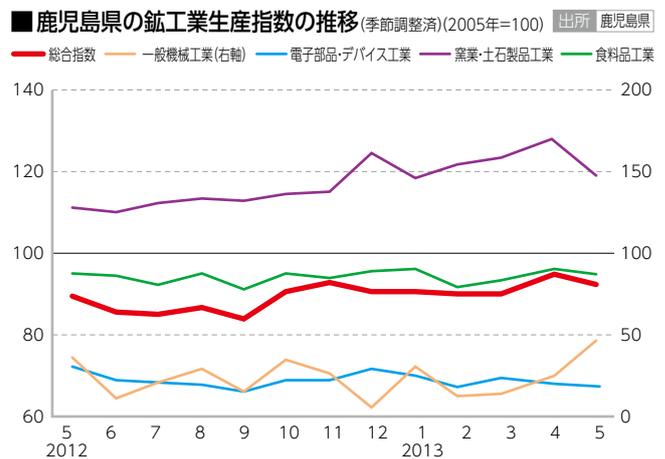
生産活動は、半導体製造装置の増産により一般機械が上昇する等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。大型小売店販売額は、主力の衣料品・飲食料品が前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。住宅建設は前年を下回りましたが、着工数増加に向けた動きは継続しています。公共工事は好調に推移しています。鹿児島県の景気は、生産、消費、公共工事が増加する等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

(松永 圭史)

1.生産活動 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は92.1と前月比3.8%低下しました。

主要業種では、半導体製造装置等が増産となった一般機械が上昇する等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。



2.大型小売店 | 持ち直しの動きが見られる

6月の大型小売店販売額は、前年同月比5.8%増の125億円となりました。

主力の衣料品・飲食料品ともに前年を上回った他、高額品の販売が好調となる等、消費は持ち直しの動きが見られます。



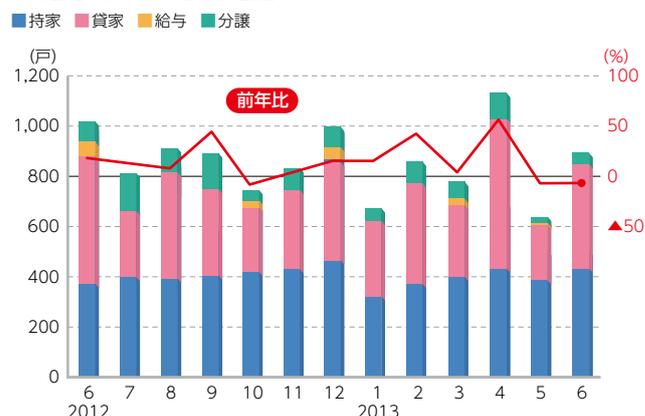
3.住宅建設 | 着工数増加に向けた動きは継続

6月の新設住宅着工戸数は、904戸と前年同月比11.8%減少しました。

前々月の着工数増加の反動減により前年を下回ったものの、住宅着工の先行指標である建築確認申請件数(戸建)が前年を上回る水準で推移しており、着工数増加に向けた動きは継続しています。

鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



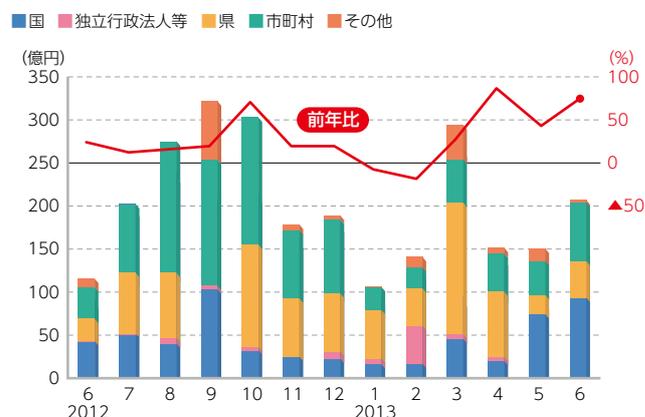
4.公共工事 | 好調に推移している

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比37.5%増の568件、金額が同71.1%増の205億円となりました。

発注者別では、病院関連施設新築工事の大型案件があった「市町村」が増加する等、好調に推移しています。

鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



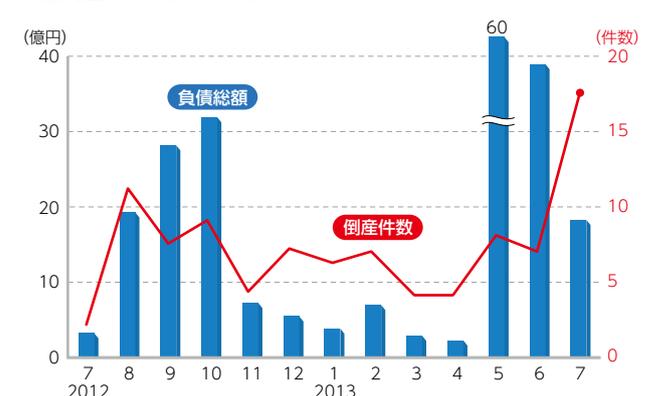
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比8.5倍の17件、負債総額が同7.3倍の約17億円となりました。

食品製造販売業で約4億円の倒産が発生した他、運送業で1億円以上の倒産が2件発生する等、負債総額は前年を大幅に上回りました。

鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



全国 経済指標

項目 年月	鉱工業指数(2010年=100)						機械受注金額 (船舶・電力を 除く民需)	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)	
	生産指数		出荷指数		在庫指数			輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)							
2010年	100.0	15.6	100.0	15.5	100.0	▲5.7	7.0	24.4	18.0	113,626	▲10.6	76,043	▲2.2
2011年	97.2	▲2.8	96.3	▲3.7	104.3	4.3	7.8	▲2.7	12.1	109,755	▲3.4	78,693	3.5
2012年	97.8	0.6	97.5	1.2	110.4	5.8	▲0.9	▲2.7	3.8	125,423	14.3	79,685	1.3
2012.5	98.8	7.6	98.9	13.9	110.0	5.3	▲7.1	10.0	9.3	8,686	36.7	6,000	▲3.5
6	98.0	▲0.6	97.4	0.4	110.2	5.3	1.4	▲2.3	▲2.2	11,390	14.1	6,759	▲0.0
7	97.5	0.1	95.5	0.3	111.8	6.4	1.7	▲8.1	2.3	12,149	26.6	6,599	▲7.7
8	96.1	▲4.1	95.4	▲2.7	112.2	5.3	▲1.0	▲5.8	▲5.2	11,368	19.2	6,877	▲6.6
9	94.0	▲7.6	93.0	▲7.9	112.2	5.3	▲2.4	▲10.3	4.2	11,775	▲1.9	7,827	36.1
10	94.3	▲4.7	93.3	▲5.1	112.2	5.2	▲0.8	▲6.5	▲1.5	13,721	28.2	7,575	15.3
11	93.4	▲5.5	91.8	▲6.0	111.8	4.9	3.8	▲4.1	0.9	8,972	6.2	7,029	9.9
12	94.7	▲7.6	95.2	▲7.8	110.4	5.2	▲1.3	▲5.8	1.9	8,243	15.6	6,565	10.8
2013.1	94.1	▲6.0	96.3	▲4.2	108.6	3.0	▲7.5	6.3	7.1	6,039	6.7	5,862	▲6.9
2	94.9	▲10.1	98.0	▲8.6	107.3	0.4	4.2	▲2.9	12.0	6,708	▲4.8	7,672	37.3
3	95.0	▲7.2	97.2	▲5.9	106.6	▲2.7	14.2	1.1	5.6	12,338	▲11.7	8,379	37.9
4	95.9	▲3.4	95.8	▲3.0	107.4	▲4.0	▲8.8	3.8	9.5	15,991	28.6	7,987	23.0
5	97.7	▲1.1	96.8	▲2.1	107.0	▲2.7	10.5	10.1	10.1	10,842	24.8	7,632	27.2
6	94.7	▲4.6	93.7	▲5.1	107.0	▲2.9	▲2.7	7.4	11.8	13,868	21.7	8,138	20.4
出所	経済産業省						内閣府	財務省		西日本建設業保証		国土交通省	

項目 年月	新設住宅着工戸数					企業物価指数 (2010年=100)		消費者物価指数 (2010年=100)		大型小売店 販売額		乗用車 乗用車新規登録台数	
	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)	億円	前年比(%)	台	前年比(%)
	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)								
2010年	813,126	3.1	7.2	▲7.3	19.6	100.0	▲0.1	100.0	▲0.7	195,791	▲2.1	2,920,499	10.9
2011年	834,215	2.6	0.1	▲4.1	16.2	101.5	1.5	99.7	▲0.3	195,933	▲0.9	2,381,121	▲18.5
2012年	882,797	5.8	2.0	11.4	5.2	100.6	▲0.9	99.7	▲0.0	195,916	▲0.0	3,008,634	26.4
2012.5	69,638	9.3	8.2	15.3	4.4	101.0	▲0.9	100.1	0.2	15,755	▲0.1	210,418	63.9
6	72,566	▲0.2	0.1	3.3	▲7.2	100.4	▲1.5	99.6	▲0.2	15,682	▲2.2	282,351	39.8
7	75,421	▲9.6	▲12.5	▲14.7	1.2	99.9	▲2.3	99.3	▲0.4	17,123	▲4.0	295,187	37.4
8	77,500	▲5.5	▲9.1	▲2.7	▲2.5	100.1	▲2.0	99.4	▲0.4	15,568	▲0.0	204,741	8.7
9	74,176	15.5	12.6	35.4	4.8	100.4	▲1.5	99.6	▲0.3	14,700	▲0.2	251,748	▲10.0
10	84,251	25.2	13.0	48.2	14.2	100.0	▲1.1	99.6	▲0.4	15,672	▲2.4	195,897	▲10.9
11	80,145	10.3	9.2	23.2	2.4	99.9	▲1.1	99.2	▲0.2	16,630	1.6	213,225	▲3.3
12	75,944	10.0	9.2	11.2	9.8	100.3	▲0.7	99.3	▲0.1	21,048	0.7	185,999	▲3.9
2013.1	69,289	5.0	8.6	1.6	5.0	100.5	▲0.4	99.3	▲0.3	16,872	▲2.9	205,941	▲13.5
2	68,969	3.0	2.3	▲2.4	9.1	101.0	▲0.1	99.2	▲0.7	14,239	▲2.9	261,062	▲13.3
3	71,456	7.3	11.4	10.7	▲0.3	101.1	▲0.5	99.4	▲0.9	16,598	3.5	368,730	▲16.8
4	77,894	5.8	17.5	7.8	▲6.9	101.5	0.1	99.7	▲0.7	15,508	▲1.0	187,420	0.4
5	79,751	14.5	13.5	11.6	21.7	101.5	0.5	99.8	▲0.3	15,889	0.9	191,560	▲9.0
6	83,704	15.3	13.8	13.1	24.3	101.6	1.2	99.8	0.2	16,385	4.5	232,759	▲17.6
出所	国土交通省					日本銀行		総務省		経済産業省		日本自動車販売協会連合会	

項目 年月	乗用車		家計消費支出(勤労者世帯)				有効求人 倍率	完全 失業率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				件	前年比(%)	百億円	前年比(%)	百億円	前年比(%)
	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)								
2010年	1,284,665	0.1	429,967	0.5	318,315	▲0.2	0.52	5.1	13,321	▲13.9	57,671	1.7	40,930	▲1.8
2011年	1,138,752	▲11.4	420,538	▲2.2	308,838	▲3.0	0.65	4.5	12,734	▲4.4	59,694	3.5	41,350	1.0
2012年	1,557,681	36.8	425,005	1.1	313,874	1.6	0.80	4.4	12,124	▲4.8	61,144	2.4	42,126	1.9
2012.5	127,158	76.8	309,716	▲0.1	304,653	1.2	0.80	4.4	1,148	7.2	60,680	1.9	41,112	1.0
6	149,837	62.3	581,983	3.6	292,937	2.4	0.81	4.3	975	▲16.3	60,795	2.2	41,381	1.5
7	149,658	53.4	448,673	▲4.5	312,592	1.0	0.81	4.3	1,026	▲5.1	60,270	2.4	41,230	1.1
8	110,778	30.9	390,041	2.2	310,643	0.5	0.81	4.2	967	▲5.8	60,145	2.0	41,226	1.4
9	125,550	12.4	345,980	▲0.4	299,821	0.3	0.81	4.3	931	▲7.0	60,878	2.6	41,835	1.5
10	102,868	2.3	401,061	▲0.5	315,161	0.3	0.81	4.2	1,035	6.0	60,236	2.1	41,443	1.3
11	110,660	7.8	354,350	1.0	300,181	1.7	0.82	4.2	964	▲11.9	60,530	1.7	41,533	1.5
12	97,686	2.3	755,418	0.7	359,482	2.1	0.83	4.3	890	▲13.7	61,144	2.4	42,126	1.9
2013.1	125,521	5.0	354,287	▲0.4	321,065	3.8	0.85	4.2	934	▲5.2	60,967	2.4	41,922	2.2
2	151,270	2.6	395,795	▲2.4	298,682	2.0	0.85	4.3	916	▲11.7	61,277	2.9	42,027	2.3
3	200,988	1.9	363,271	▲0.4	350,957	6.5	0.86	4.1	929	▲20.0	62,995	3.2	42,673	2.2
4	120,937	1.4	385,584	▲0.2	340,423	0.4	0.89	4.1	899	▲10.5	62,927	3.8	42,198	2.3
5	116,460	▲8.4	318,353	2.8	307,926	1.1	0.90	4.1	1,045	▲9.0	63,155	4.1	42,230	2.7
6	145,530	▲2.9	591,825	1.7	296,512	1.2	0.92	3.9	897	▲8.0	63,394	4.3	42,413	2.5
出所	全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	総務省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) pは速報値、rは修正値。鉱工業指数は、前年同期比の値と年間の指数は原数値、月間の指数は季節調整値。機械受注金額は、年間は前年比、月間は前月比。大型小売店販売額は、店舗調整前の値。なお、前年比増減率は、調査対象事業所見直し(2010年7月)に伴うギャップを調整するリンク係数で処理してあるため、実数と乖離する。家計消費支出の前年比は、名目値の前年比。可処分所得・消費支出は、2人以上の世帯のうち勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)。有効求人倍率は、年間は実数値、月間は季節調整値。新規学卒を除きパートタイムを含む。完全失業率は季節調整値。預金残高は年末、月末残高。都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信託銀行の合計、ただし、特別国際金融取引勘定を含まない。

項目 年月	鉱工業生産指数(2005年=100)										鉱工業出荷指数 (2005年=100)		鉱工業在庫指数 (2005年=100)	
	総合		鉄鋼		電気機械		一般機械		輸送機械		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2010年	93.4	17.4	98.4	29.4	93.0	29.6	91.5	25.9	109.8	37.9	92.8	18.4	127.5	12.6
2011年	92.9	▲0.6	95.3	▲3.1	102.3	9.9	99.3	8.5	114.6	4.4	92.4	▲0.5	270.6	112.2
2012年	93.3	0.4	93.0	▲2.4	88.8	▲13.2	91.6	▲7.8	122.3	6.7	93.6	1.3	297.5	9.9
2012.5	95.0	2.8	99.8	5.0	92.6	▲13.8	87.7	▲11.9	128.7	24.9	96.6	8.7	281.7	▲8.6
6	93.0	0.1	95.7	6.4	94.7	▲12.7	94.0	▲15.2	116.2	▲1.0	91.5	▲3.0	299.2	7.7
7	97.6	3.4	90.2	▲7.1	92.9	▲14.9	97.0	1.2	137.9	7.7	98.4	4.5	276.3	0.4
8	94.8	▲0.3	90.8	▲7.0	84.8	▲21.2	91.9	▲8.1	131.4	0.2	94.3	▲1.2	287.4	▲4.3
9	87.4	▲4.8	94.6	4.6	85.8	▲16.9	90.4	▲8.6	105.2	▲13.4	84.9	▲8.3	313.5	▲1.1
10	88.9	▲4.0	84.3	▲10.7	89.9	▲13.2	93.1	▲5.2	113.7	▲11.6	87.6	▲6.1	293.4	▲1.6
11	89.3	▲4.2	85.4	▲2.3	83.0	▲0.3	87.3	▲12.8	112.5	▲11.0	90.7	▲4.9	300.2	0.3
12	88.0	▲8.6	84.7	▲1.7	73.6	▲19.5	95.6	▲3.6	111.2	▲17.5	88.5	▲10.1	308.4	3.2
2013.1	89.5	▲8.0	91.5	▲6.7	76.5	▲18.2	94.6	▲7.0	105.0	▲16.0	87.6	▲10.2	291.5	0.1
2	88.5	▲10.4	93.2	▲5.0	80.6	▲12.6	85.6	▲3.3	109.9	▲18.9	87.7	▲12.7	298.5	1.0
3	89.4	▲8.3	99.3	▲2.2	77.9	▲12.7	81.5	▲2.6	106.7	▲18.0	89.7	▲11.0	318.9	▲0.5
4	94.1	1.4	90.4	▲3.4	84.0	▲13.8	86.2	▲6.0	129.3	1.2	94.4	0.3	307.6	▲1.7
5	88.2	▲7.2	98.3	▲1.5	79.8	▲13.8	87.8	0.1	102.3	▲20.6	88.3	▲8.5	278.6	▲1.1
6														
出所	福岡県調査統計課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				消費者物価指数 (2010年=100) 福岡市		大型小売店 販売額		
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計	持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)	
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)					
2010年	33.8	17.4	3,941	▲0.6	2,574	11.4	31,156	7.4	14.1	6.5	▲0.7	100.0	▲0.7	652,922	▲3.0
2011年	0.2	13.9	3,321	▲15.7	2,560	▲0.5	34,945	12.2	▲0.7	8.6	46.1	99.8	▲0.2	689,334	4.3
2012年	2.0	6.9	3,691	11.1	2,825	10.4	36,111	3.3	▲0.3	11.4	▲5.8	99.6	▲0.1	689,812	0.1
2012.5	12.4	14.4	188	15.2	171	▲9.6	2,727	8.6	▲3.5	28.6	▲4.6	100.0	0.2	55,036	0.1
6	▲5.0	▲4.3	313	26.8	177	▲56.0	3,237	11.7	▲11.2	19.9	26.6	99.5	▲0.1	53,555	▲1.1
7	▲3.8	20.5	291	12.8	204	28.0	2,899	▲8.5	▲19.1	▲0.1	▲9.0	99.6	▲0.2	63,057	▲4.0
8	▲5.4	▲4.4	295	▲1.4	187	4.0	3,041	9.7	▲0.7	19.4	5.0	99.4	▲0.3	55,626	1.2
9	▲3.2	▲2.4	386	20.2	310	200.3	3,053	21.2	13.3	70.2	▲15.6	99.4	▲0.4	51,729	1.2
10	▲3.9	16.7	501	45.0	245	6.6	3,275	1.3	6.8	7.5	▲10.2	99.3	▲0.7	55,115	▲2.0
11	▲6.5	0.4	326	8.7	181	▲25.3	3,155	3.8	7.5	15.9	▲20.5	99.0	▲0.5	58,111	2.0
12	▲7.7	3.6	291	12.3	420	65.2	3,514	10.3	19.8	10.4	0.5	98.9	▲0.7	75,711	▲1.4
2013.1	▲7.3	7.0	163	▲8.0	187	9.7	2,756	▲7.7	1.9	▲11.0	▲11.1	99.4	▲0.5	61,014	▲0.6
2	▲13.6	1.3	225	45.2	202	16.3	2,938	6.2	10.1	▲9.8	38.0	99.1	▲1.0	50,025	▲0.0
3	▲2.4	16.5	467	▲3.9	316	▲12.9	3,366	17.4	13.4	18.0	19.8	99.1	▲1.3	58,277	4.1
4	8.2	5.8	479	70.7	241	7.2	3,550	37.0	17.2	39.7	57.6	99.3	▲1.1	53,502	▲1.8
5	▲1.6	6.5	260	38.1	289	69.6	3,526	29.3	16.9	13.9	67.1	99.4	▲0.6	55,393	0.6
6	10.5	15.6	428	36.7	202	14.1	3,486	7.7	17.8	▲16.2	58.7	99.2	▲0.3	56,095	4.7
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省				総務省		九州経済産業局				

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 北九州・福岡・大都市圏				有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)							
2010年	113,650	14.1	53,413	3.1	389,184	▲0.5	303,663	▲0.6	0.46	375	▲21.9	182,364	1.9	140,690	1.4
2011年	91,956	▲19.1	46,901	▲12.2	391,156	0.5	298,184	▲1.8	0.58	390	4.0	186,080	2.0	145,885	3.7
2012年	117,560	27.8	62,719	33.7	409,613	4.7	312,533	4.8	0.70	381	▲2.3	191,215	2.8	152,234	4.4
2012.5	8,092	75.7	5,135	64.1	295,048	0.7	302,843	5.9	0.70	35	16.7	188,039	1.6	147,161	4.7
6	10,686	44.5	5,969	68.5	564,970	4.3	335,781	22.7	0.72	21	▲48.8	189,313	1.9	147,317	4.9
7	11,726	47.1	6,188	52.9	409,920	6.4	302,607	▲1.2	0.72	38	2.7	188,068	1.2	147,528	4.4
8	8,177	8.9	4,492	28.2	386,120	2.3	296,501	▲3.1	0.73	33	▲13.2	187,806	1.7	148,098	5.6
9	9,966	▲10.6	5,116	12.6	337,597	9.2	270,298	▲6.9	0.71	28	▲15.2	190,316	3.6	150,467	5.6
10	7,498	▲8.2	3,810	▲9.7	396,091	▲6.1	307,298	5.5	0.71	44	33.3	189,492	2.9	149,907	4.5
11	8,277	▲2.0	4,550	12.3	338,318	6.3	297,276	12.7	0.71	29	▲21.6	189,326	2.0	150,417	4.0
12	7,410	▲0.6	3,902	4.2	743,321	5.2	346,525	4.8	0.72	19	▲26.9	191,215	2.8	152,234	4.4
2013.1	8,437	▲8.6	5,126	▲1.4	344,298	2.8	298,003	▲8.1	0.72	25	▲24.2	189,644	2.7	151,652	4.3
2	10,990	▲12.9	6,235	0.2	402,626	3.2	267,475	▲9.5	0.73	28	7.7	191,736	3.6	152,365	4.4
3	13,917	▲17.4	8,120	8.4	321,637	▲6.7	315,160	▲8.6	0.74	29	▲31.0	194,338	3.3	153,089	3.8
4	7,336	4.1	4,884	5.1	364,158	▲2.7	298,476	▲8.6	0.77	29	▲12.1	196,511	2.9	152,742	3.5
5	7,078	▲12.5	4,562	▲11.2	318,753	8.0	318,662	5.2	0.78	37	5.7	194,228	3.3	152,304	3.5
6	8,707	▲18.5	5,699	▲4.5	536,511	▲5.0	273,282	▲18.6	0.78	31	47.6	197,013	4.1	152,316	3.4
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省		東京商工リサーチ		日本銀行		

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

項目 年月	鉱工業生産指数(2005年=100)										鉱工業出荷指数 (2005年=100)		鉱工業在庫指数 (2005年=100)	
	総合		食品		電子部品		一般機械		輸送機械		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2010年	97.1	21.0	94.1	▲1.7	114.3	10.2	90.7	85.0	81.0	13.8	92.6	16.9	97.2	▲13.4
2011年	95.6	▲1.6	98.6	4.8	101.0	▲11.6	107.2	18.2	79.1	▲2.3	94.1	1.6	113.2	16.5
2012年	97.4	1.9	98.7	0.1	122.8	21.6	91.6	▲14.5	74.7	▲5.5	96.3	2.4	102.8	▲9.2
2012.5	103.5	11.4	105.2	4.7	117.3	30.5	117.8	▲6.2	74.0	15.3	99.6	8.9	106.3	▲7.7
6	93.6	0.4	94.4	▲2.6	113.5	15.3	86.7	▲11.8	60.5	▲22.4	89.2	▲2.2	112.8	▲5.6
7	91.0	▲3.9	94.4	▲11.3	116.1	12.5	81.0	▲18.1	57.6	▲23.9	88.3	▲3.8	103.2	▲12.7
8	94.2	▲0.8	94.3	▲6.1	111.8	8.3	81.3	▲20.3	78.8	5.3	93.0	▲1.1	102.8	▲14.0
9	92.1	▲1.5	98.7	5.0	121.6	25.0	81.3	▲30.4	70.4	▲4.4	93.5	1.5	103.4	▲5.6
10	101.7	10.6	98.4	4.5	139.6	44.8	57.9	▲37.8	75.0	▲5.5	99.8	10.8	99.2	▲15.3
11	98.6	3.2	100.8	▲0.9	147.5	60.0	77.1	▲54.4	65.4	▲8.1	98.1	4.3	97.1	▲17.8
12	97.7	▲2.8	98.9	0.4	127.9	25.7	104.9	▲16.3	72.8	▲15.5	96.5	▲6.1	102.7	▲3.6
2013.1	92.0	▲6.0	93.8	▲4.7	110.1	▲0.2	83.2	▲17.9	82.3	1.3	92.2	▲2.4	95.5	▲10.9
2	87.0	▲16.8	93.0	▲11.3	89.6	▲26.9	86.0	▲34.3	83.2	▲14.8	87.9	▲18.3	89.8	▲11.1
3	97.9	▲1.0	97.6	▲5.3	110.3	▲4.6	90.1	▲15.7	86.3	▲3.8	98.8	▲3.5	88.6	▲7.4
4	98.2	3.8	96.8	▲1.7	125.2	6.5	59.4	▲34.1	75.6	10.3	92.6	0.5	98.3	▲4.3
5	107.9	4.2	98.9	▲6.0	154.1	31.4	95.5	▲18.9	67.3	▲9.0	105.8	6.2	96.8	▲8.9
6														
出所	熊本県統計調査課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数					消費者物価指数 (2010年=100) 熊本市		大型小売店 販売額	
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)							
2010年	▲3.5	6.7	2,012	▲5.3	1,128	60.9	8,842	▲10.2	10.3	▲13.0	▲53.0	100.0	▲0.3	169,324	▲2.9
2011年	4.5	16.8	1,713	▲14.9	1,385	22.8	10,063	13.8	4.7	7.6	112.1	99.5	▲0.5	166,476	▲2.5
2012年	▲2.3	1.3	1,806	5.4	1,042	▲24.8	11,521	14.5	▲3.8	34.1	21.1	99.1	▲0.4	165,154	▲0.8
2012.5	▲9.2	2.2	109	▲5.7	59	▲25.8	905	12.7	14.7	4.3	59.7	99.7	0.2	12,976	1.0
6	17.6	4.9	113	0.8	62	▲51.5	1,036	▲0.2	8.7	▲17.3	35.8	99.1	▲0.3	12,754	0.7
7	▲7.4	▲16.3	144	10.8	48	▲23.7	1,050	▲11.5	▲25.8	53.5	▲61.0	98.9	▲0.8	15,190	▲3.0
8	15.5	▲18.9	159	18.4	89	▲46.2	916	▲16.2	▲14.5	▲31.5	55.7	99.2	▲0.4	13,102	0.1
9	▲15.2	▲4.6	191	3.3	192	18.8	946	34.2	13.7	103.8	28.1	99.0	▲0.8	11,920	▲3.2
10	1.0	37.9	210	22.0	113	▲35.1	965	42.3	22.9	68.6	47.5	98.9	▲1.0	13,115	▲2.6
11	30.6	▲3.1	172	4.9	71	9.3	1,017	30.2	4.9	72.2	21.6	98.4	▲0.8	13,717	2.3
12	42.1	▲5.6	152	11.7	102	▲9.4	1,004	▲2.0	▲22.2	28.2	▲10.7	98.3	▲0.9	18,682	▲0.9
2013.1	▲12.2	▲13.6	166	71.1	56	▲4.2	808	13.3	25.4	1.2	14.3	98.2	▲0.9	14,956	▲0.0
2	27.5	45.1	102	▲3.2	69	1.1	869	3.3	13.5	6.0	▲39.3	98.0	▲1.2	11,641	▲3.3
3	32.9	▲7.5	211	▲7.7	38	▲68.1	916	▲5.1	1.1	▲0.8	▲23.8	98.3	▲1.6	13,950	2.2
4	45.5	▲7.9	228	84.0	148	149.3	983	▲15.5	23.2	▲48.6	23.2	98.7	▲1.1	12,784	▲1.9
5	60.8	8.0	155	41.5	118	99.1	1,087	20.1	19.6	22.7	12.1	98.9	▲0.7	13,227	1.9
6	60.6	19.5	259	130.0	104	66.2	1,232	18.9	14.7	46.1	▲26.8	99.0	▲0.1	13,245	3.8
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省					総務省		九州経済産業局			

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 熊本市				有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)							
2010年	38,068	15.9	26,647	2.5	377,069	▲4.5	297,101	▲4.8	0.46	114	▲10.2	50,857	2.1	30,272	2.0
2011年	29,430	▲22.7	22,718	▲14.7	351,844	▲6.7	277,713	▲6.5	0.61	110	▲3.5	51,564	1.4	30,903	2.1
2012年	37,962	29.0	31,789	39.9	396,686	12.7	314,374	13.2	0.68	98	▲10.9	53,225	3.2	31,741	2.7
2012.5	2,709	94.1	2,546	68.1	294,530	14.5	248,677	▲3.0	0.67	6	20.0	52,216	1.7	30,753	1.9
6	3,552	46.9	2,945	77.0	548,898	28.8	306,138	13.6	0.67	10	42.9	52,666	1.5	30,891	2.0
7	3,782	44.8	3,113	56.6	359,469	2.0	268,348	▲1.9	0.67	6	▲53.8	51,818	1.0	30,880	1.5
8	2,640	2.6	2,528	32.2	331,083	1.9	308,279	18.3	0.69	8	▲27.3	51,892	1.6	30,937	2.1
9	3,093	▲10.8	2,535	18.2	323,097	1.5	266,756	7.0	0.69	8	▲11.1	52,382	2.7	31,703	3.7
10	2,388	▲10.8	2,234	15.4	430,666	17.9	316,053	15.9	0.69	10	0.0	51,771	2.0	31,196	2.8
11	2,597	▲4.7	2,282	7.2	338,072	3.7	306,416	10.9	0.68	9	▲18.2	51,941	1.9	31,146	2.2
12	2,335	▲0.0	2,044	5.1	630,279	▲3.9	329,491	1.7	0.69	9	▲18.2	53,225	3.2	31,741	2.7
2013.1	2,603	▲10.6	2,671	8.3	339,859	▲4.2	263,996	▲21.5	0.71	7	▲12.5	52,430	2.9	31,356	2.5
2	3,431	▲11.1	3,288	9.6	373,370	▲14.3	272,580	▲22.6	0.72	9	50.0	52,683	3.3	31,371	2.7
3	4,525	▲20.2	3,871	7.6	389,226	6.5	283,930	▲22.1	0.75	8	▲33.3	53,526	3.7	32,258	4.0
4	2,457	1.4	2,608	4.3	341,221	▲2.0	265,558	▲28.1	0.80	4	▲33.3	53,758	2.1	31,533	3.1
5	2,205	▲18.6	2,408	▲5.4	335,650	14.0	373,172	50.1	0.82	7	16.7	54,041	3.5	31,755	3.3
6	2,761	▲22.3	2,825	▲4.1	560,036	2.0	246,458	▲19.5	0.85	5	▲50.0	54,500	3.5	31,868	3.2
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省		東京商工リサーチ		日本銀行		

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

経済指標 長崎 Nagasaki

項目 年月	鉱工業生産指数(2005年=100)										造船 生産高		機械等 生産高		電子部品 生産高	
	総合		一般機械		食料品		電子部品		輸送機械		億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)						
2010年	142.8	▲13.5	197.4	60.4	105.7	4.6	205.6	8.0	106.7	▲3.6	1,954	▲8.3	2,506	0.9	11.1	
2011年	141.1	▲1.2	240.3	21.7	106.5	0.8	159.6	▲22.4	112.3	5.3	1,963	0.4	1,982	▲20.9	▲21.5	
2012年	128.8	▲8.7	177.1	▲26.3	111.2	4.5	143.3	▲10.2	130.4	16.1	1,626	▲17.2	2,080	5.0	▲16.3	
2012.5	144.4	▲6.6	186.1	▲34.5	106.3	4.7	203.6	▲3.0	138.9	39.0	134	▲10.1	145	▲9.8	▲32.9	
6	136.7	▲15.0	170.2	▲31.0	108.9	4.4	166.2	▲32.3	143.6	40.5	156	▲10.5	187	12.0	▲22.7	
7	125.8	▲16.7	142.9	▲39.2	109.5	3.2	140.6	▲31.4	149.8	47.6	120	▲19.1	190	18.6	▲22.6	
8	127.2	▲13.3	183.9	▲22.8	109.8	2.0	132.6	▲32.8	163.6	55.9	118	▲29.4	179	▲8.7	▲24.0	
9	121.6	▲6.5	187.2	▲18.3	110.5	▲2.9	115.0	▲11.6	129.7	23.9	145	▲10.5	159	29.8	▲7.7	
10	108.7	▲10.6	158.5	▲32.9	113.4	12.5	127.7	6.4	96.4	▲13.0	121	▲42.4	179	18.7	▲12.8	
11	114.8	▲3.4	183.5	▲21.6	116.9	11.7	103.3	157.7	85.9	▲29.3	113	▲32.3	174	10.6	▲7.3	
12	117.6	▲1.4	184.6	▲3.0	115.0	3.2	124.5	40.5	90.3	▲27.7	135	▲15.8	167	1.0	9.4	
2013.1	139.0	▲10.7	198.0	▲3.0	112.1	4.3	151.2	▲5.4	89.5	▲31.6	133	▲9.0	153	▲5.4	▲11.4	
2	117.7	▲16.3	194.2	6.1	113.3	2.1	89.7	▲45.9	93.1	▲33.0	111	▲29.1	170	▲11.5	▲14.6	
3	110.0	▲13.7	196.8	17.6	120.0	3.4	81.0	▲45.7	94.7	▲36.0	145	5.3	195	6.0	▲11.4	
4	120.1	▲18.2	172.7	▲8.0	117.8	8.4	134.6	▲35.9	102.2	▲30.9	112	▲22.1	174	7.7	▲3.9	
5	122.2	▲15.4	188.3	1.2	113.9	7.1	120.6	▲40.8	100.1	▲27.9	143	6.9	220	51.7	7.3	
6																25.1
出所	長崎県統計課										三菱重工長崎造船所、佐世保重工				日本銀行長崎支店	

項目 年月	貿易		漁業水揚金額		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				観光施設 入場者数 (主要6施設合計)		消費者物価指数 (2010年=100) 長崎市		
	輸出金額	輸入金額	百万円	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計	持家	貸家	分譲	千人	前年比(%)	指数	前年比(%)	
	前年比(%)	前年比(%)							戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)				
2010年	▲3.5	12.6	57,267	▲4.4	1,774	▲9.5	560	▲6.1	5,466	▲5.2	5.9	▲16.2	▲7.1	2,241	▲6.1	100.0	▲0.7
2011年	▲12.2	18.5	63,871	11.5	1,590	▲10.4	761	35.9	5,501	0.6	0.9	▲8.2	72.5	2,013	▲10.2	99.5	▲0.5
2012年	▲14.5	2.4	64,448	0.9	1,601	0.7	803	5.5	6,344	15.3	14.9	22.5	▲7.3	1,995	▲0.9	99.5	0.0
2012.5	30.7	27.3	5,495	▲3.4	78	▲13.2	59	▲54.7	474	5.8	14.3	▲26.2	85.4	253	▲0.6	99.7	0.0
6	9.8	▲18.7	4,023	▲7.9	92	▲23.5	38	▲25.5	601	37.5	6.2	43.5	316.7	118	▲8.5	99.2	▲0.2
7	20.8	▲13.5	3,803	▲16.2	161	▲15.3	59	102.2	458	3.4	0.4	3.6	23.8	140	▲4.3	99.2	▲0.1
8	▲33.8	▲17.6	4,010	▲17.5	184	31.3	44	▲26.4	553	▲11.8	1.2	▲0.9	▲59.1	257	▲2.0	99.4	0.2
9	4.5	43.7	4,044	▲14.3	169	5.9	83	44.5	488	3.2	33.5	▲1.1	▲67.1	156	▲15.2	99.5	▲0.3
10	▲18.6	▲21.5	4,727	▲9.2	230	32.1	60	▲13.6	561	4.9	14.6	76.0	▲87.1	214	▲0.9	99.3	▲0.6
11	▲75.1	▲47.6	5,525	▲8.1	128	5.5	25	▲63.9	520	7.2	▲16.2	0.6	195.0	202	▲0.9	99.2	▲0.1
12	215.7	63.4	6,441	▲3.1	109	▲23.7	51	13.5	491	50.6	70.1	▲0.6	560.0	117	6.5	99.1	▲0.1
2013.1	63.0	▲2.1	5,109	▲5.4	93	46.4	33	▲55.5	478	▲17.3	3.5	▲0.5	▲82.8	103	▲3.8	99.0	▲0.7
2	▲77.9	▲1.5	4,335	▲12.9	53	▲55.6	111	29.7	457	▲20.4	▲29.1	11.0	▲75.7	148	41.5	99.0	▲0.7
3	▲21.7	▲16.3	5,770	5.8	259	53.8	49	▲71.9	573	▲8.6	1.8	▲57.7	1,416.7	179	10.0	99.1	▲0.9
4	▲7.8	63.9	5,571	1.5	125	28.5	68	37.7	669	59.7	14.7	113.5	161.0	172	5.2	99.1	▲0.9
5	48.6	▲16.3	5,099	▲7.2	90	15.3	77	29.9	498	5.1	▲8.5	79.3	▲70.8	271	7.4	99.3	▲0.5
6	76.1	3.4	5,184	28.9	168	82.3	61	60.7	604	0.5	9.0	3.7	▲34.7			99.3	0.1
出所	財務省		県内主要4魚市場		西日本建設業保証		国土交通省				長崎県観光振興推進本部		総務省				

項目 年月	大型小売店 販売額		乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 長崎市				有効 求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
	百万円	前年比(%)	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)			倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)
2010年	120,621	▲1.0	23,656	13.1	21,371	▲1.6	448,225	15.5	311,550	1.0	0.46	72	▲41.0	42,018	1.1	22,815	▲0.8
2011年	121,789	▲1.9	18,633	▲21.2	18,210	▲14.8	336,448	▲24.9	271,058	▲13.0	0.58	78	8.3	42,677	1.6	23,035	1.0
2012年	117,232	▲3.7	23,255	24.8	24,759	36.0	333,216	▲1.0	275,314	1.6	0.64	76	▲2.6	43,379	1.6	23,456	1.8
2012.5	9,479	▲5.3	1,624	69.5	1,995	66.7	230,982	▲20.9	250,228	▲4.3	0.62	10	42.9	43,070	0.9	22,992	0.3
6	9,100	▲7.2	2,166	45.1	2,376	85.3	413,004	12.5	228,946	▲8.2	0.62	8	14.3	43,711	1.4	23,096	1.3
7	10,790	▲11.6	2,341	35.9	2,418	49.4	335,831	▲5.7	269,174	▲3.4	0.63	6	▲25.0	43,172	0.6	23,144	0.6
8	9,901	1.7	1,618	0.5	1,804	23.2	317,537	10.3	305,521	26.8	0.65	5	▲16.7	43,230	1.5	23,230	1.2
9	8,627	▲1.3	1,934	▲14.6	1,949	13.7	293,230	3.6	314,710	27.9	0.65	3	50.0	42,971	1.5	23,521	2.9
10	9,047	▲2.9	1,461	▲12.4	1,622	2.0	298,327	▲7.9	261,589	▲1.4	0.66	8	33.3	42,670	0.8	23,191	1.4
11	9,844	2.5	1,588	▲5.1	1,780	10.1	283,582	▲3.7	301,154	27.4	0.65	10	▲9.1	42,851	0.5	23,164	1.6
12	12,738	▲1.2	1,388	▲5.7	1,688	4.8	677,457	24.9	335,310	25.4	0.65	5	▲28.6	43,379	1.6	23,456	1.8
2013.1	10,684	1.3	1,761	▲11.3	2,167	10.2	340,535	33.4	315,207	30.2	0.67	4	▲33.3	43,162	1.4	23,225	1.0
2	8,615	▲1.2	2,094	▲12.2	2,267	3.0	348,963	8.6	275,922	12.1	0.68	4	0.0	43,209	1.3	23,288	1.3
3	10,037	8.7	2,914	▲12.5	3,165	2.7	319,064	16.1	300,322	3.4	0.70	2	▲66.7	44,298	1.7	23,961	2.0
4	9,073	▲1.4	1,424	▲0.8	1,976	5.3	381,014	28.2	362,766	40.5	0.71	5	0.0	44,439	1.2	23,403	2.1
5	9,618	1.5	1,366	▲15.9	1,824	▲8.6	301,634	30.6	264,538	5.7	0.71	3	▲70.0	44,334	2.9	23,727	3.2
6	9,635	5.9	1,580	▲27.1	2,415	1.6	655,659	58.8	271,495	18.6	0.72	4	▲50.0	45,007	3.0	23,664	2.5
出所	九州経済産業局		日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省 東京商工リサーチ		日本銀行				

(注) 全国と共通の指標については全国の注釈参照。漁業水揚金額は、長崎、佐世保、北松、松浦の4市場の合計。
観光施設入場者数は、グラバー園、島原城、雲仙仁田道、西海パルシーリゾート、平戸城、堂崎天主堂の合計、ただし、雲仙仁田道は自動車の通行台数。

項目 年月	鉱工業生産指数(2005年=100)										鉱工業出荷指数 (2005年=100)		鉱工業在庫指数 (2005年=100)	
	総合		一般機械		電子部品		化学		食料品		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2010年	100.2	18.0	49.4	12.9	112.3	41.9	114.3	▲5.1	93.7	1.1	92.9	14.3	92.6	0.5
2011年	100.3	0.0	54.1	9.4	98.4	▲12.3	133.2	16.6	98.1	4.7	92.7	▲0.3	95.8	3.5
2012年	94.0	▲6.3	45.8	▲15.3	84.2	▲14.5	130.4	▲2.1	97.8	▲0.3	88.0	▲5.1	95.9	0.1
2012.5	97.8	▲4.5	45.5	▲19.4	101.0	▲8.7	152.1	7.7	96.7	1.8	91.7	▲2.7	100.2	3.9
6	91.5	▲10.1	34.7	▲34.5	86.9	▲11.7	125.9	▲4.9	95.3	▲3.8	86.1	▲8.0	98.5	1.6
7	89.5	▲8.4	50.8	10.9	84.1	▲10.2	98.1	▲28.2	98.6	▲1.5	85.8	▲6.0	96.0	2.4
8	91.6	▲6.0	48.9	▲4.2	75.0	▲18.9	113.5	▲19.4	95.8	▲1.8	86.6	▲4.5	93.4	▲3.2
9	88.9	▲8.4	39.8	▲5.2	74.1	▲19.1	120.9	▲18.3	99.1	1.8	82.2	▲7.7	97.1	0.5
10	92.9	▲5.3	45.4	▲15.5	68.2	▲26.2	139.5	8.3	95.9	▲2.6	87.1	▲4.2	91.6	▲5.8
11	92.1	▲8.7	39.8	▲34.0	73.8	▲18.0	154.6	10.1	94.7	▲8.0	85.1	▲7.2	94.1	▲4.6
12	93.6	▲3.5	53.3	14.8	88.4	▲0.9	124.5	▲10.1	94.2	▲5.3	88.3	▲2.0	95.9	▲0.7
2013.1	94.5	▲2.0	35.0	▲17.4	85.9	0.4	125.1	8.7	97.0	▲5.5	88.1	▲1.5	95.3	▲0.1
2	96.6	▲3.8	45.2	▲21.8	68.5	▲20.2	126.8	▲0.8	95.8	▲7.8	90.8	▲1.1	89.5	▲2.7
3	92.7	▲4.2	41.4	3.1	81.7	▲12.2	117.5	▲19.2	95.4	▲4.5	87.7	▲3.6	93.9	▲2.2
4	91.3	▲7.5	36.9	▲34.9	71.3	▲29.1	120.5	▲17.6	95.2	▲2.4	88.6	▲3.4	94.4	▲8.2
5	96.6	▲1.2	65.0	43.1	70.6	▲30.0	127.0	▲16.5	101.9	5.3	91.5	▲0.2	92.1	▲8.1
6														
出所	佐賀県統計調査課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				消費者物価指数 (2010年=100) 佐賀市		大型小売店 販売額		
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)							
2010年	12.9	21.2	1,058	▲15.3	647	68.7	4,075	▲9.0	3.4	▲31.7	135.7	100.0	▲0.8	69,828	1.2
2011年	▲39.4	▲12.1	978	▲7.5	662	2.3	4,417	8.4	2.9	10.6	60.9	99.4	▲0.7	70,066	0.3
2012年	15.6	11.4	1,077	10.1	596	▲10.0	4,524	2.4	▲0.8	12.3	▲20.2	99.3	▲0.1	67,989	▲3.0
2012.5	1.9	38.6	86	16.6	20	▲71.4	312	11.0	7.2	17.5	0.0	99.6	0.3	5,357	▲3.9
6	131.3	▲21.4	80	115.4	58	136.3	345	2.7	▲4.9	12.1	8.3	99.0	0.1	5,319	▲1.5
7	▲94.0	67.0	99	46.5	73	45.1	432	▲35.1	▲8.9	▲61.3	30.0	99.0	▲0.3	5,994	▲5.9
8	▲9.2	▲25.3	87	28.8	31	▲15.7	293	▲19.1	▲19.5	19.0	▲68.9	99.2	▲0.2	5,866	▲2.3
9	117.6	55.9	96	▲2.9	93	178.2	361	19.1	33.9	44.2	▲56.9	99.1	▲0.3	5,046	▲2.1
10	▲5.6	36.7	105	10.4	63	76.3	478	45.7	▲5.7	187.8	▲21.4	99.1	▲0.3	5,420	▲2.4
11	▲13.4	6.0	80	27.7	57	▲44.8	498	▲5.3	5.0	3.8	▲62.6	98.9	▲0.3	5,717	1.2
12	59.0	▲0.9	103	75.2	52	▲5.6	449	▲13.3	3.1	4.2	▲73.9	98.7	▲0.4	7,182	▲3.3
2013.1	▲26.1	44.2	63	45.7	62	130.7	372	42.5	9.3	32.1	677.8	98.8	▲0.6	6,058	▲4.2
2	1,829.1	▲13.8	43	▲24.8	46	64.8	493	51.2	13.5	180.2	▲28.6	98.5	▲1.0	4,957	▲2.8
3	863.1	▲2.6	70	▲39.4	40	115.0	372	3.3	15.0	12.0	▲45.8	98.7	▲1.2	5,501	4.3
4	▲91.1	▲16.7	113	▲9.7	61	▲18.9	546	33.5	16.5	13.8	166.7	98.9	▲0.8	5,224	▲3.1
5	▲32.8	▲12.4	88	2.0	43	115.6	339	8.7	28.0	▲24.6	92.9	99.1	▲0.5	5,379	0.4
6	▲25.3	57.1	109	35.4	44	▲24.5	394	14.2	17.8	1.9	115.4	99.3	0.2	5,365	0.9
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省				総務省		九州経済産業局				

項目	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 佐賀市				有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)							
2010年	16,289	14.7	12,945	▲5.0	456,205	4.1	326,601	▲1.8	0.49	47	▲21.7	21,104	1.7	11,214	▲0.2
2011年	12,548	▲23.0	11,414	▲11.8	429,542	▲5.8	314,463	▲3.7	0.62	45	▲4.3	21,268	0.8	11,217	0.0
2012年	15,960	27.2	15,561	36.3	430,581	0.2	322,774	2.6	0.72	57	26.7	21,627	1.7	11,261	0.4
2012.5	1,095	73.0	1,272	77.2	331,209	6.8	304,429	7.5	0.72	5	▲28.6	21,512	0.5	11,133	▲0.5
6	1,444	37.7	1,462	68.8	632,514	21.0	289,026	▲14.8	0.74	4	33.3	21,861	1.4	11,180	0.5
7	1,657	54.6	1,463	57.5	468,133	2.3	301,925	▲14.7	0.73	5	25.0	21,548	0.5	11,155	▲0.6
8	1,013	5.5	1,122	32.6	398,897	2.9	279,484	▲7.0	0.74	4	▲33.3	21,488	1.4	11,143	▲0.1
9	1,381	▲3.6	1,158	2.7	300,565	▲16.7	269,585	▲3.6	0.74	6	50.0	21,407	1.7	11,324	1.8
10	1,038	▲5.7	1,056	0.3	386,621	▲7.1	342,069	▲0.3	0.74	6	50.0	21,212	0.8	11,145	0.2
11	1,071	▲7.4	1,135	18.0	332,343	▲11.0	271,193	▲16.5	0.73	6	200.0	21,278	0.9	11,135	0.1
12	953	▲4.2	983	▲6.6	703,010	▲5.6	396,460	1.4	0.73	3	▲25.0	21,627	1.7	11,261	0.4
2013.1	1,184	▲14.0	1,251	0.9	375,326	2.8	348,346	0.2	0.78	2	▲60.0	21,459	1.9	11,172	0.4
2	1,476	▲11.4	1,469	0.5	422,361	▲4.7	289,718	▲16.0	0.79	1	▲87.5	21,455	1.4	11,180	0.3
3	1,937	▲18.3	1,879	▲5.6	334,443	▲16.0	391,470	11.5	0.80	6	100.0	22,270	2.3	11,431	1.4
4	948	5.9	1,199	▲1.6	415,698	2.0	385,153	2.5	0.77	6	200.0	22,019	1.8	11,190	0.7
5	948	▲13.4	1,187	▲6.7	286,774	▲13.4	301,996	▲0.8	0.75	5	0.0	22,105	2.8	11,305	1.5
6	1,105	▲23.5	1,371	▲6.2	579,437	▲8.4	284,351	▲1.6	0.75	3	▲25.0	22,576	3.3	11,394	1.9
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省		東京商工リサーチ		日本銀行		

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

経済指標 大分 Oita

項目 年月	鉱工業生産指数(2005年=100)										鉱工業出荷指数 (2005年=100)		鉱工業在庫指数 (2005年=100)	
	総合		鉄鋼		情報通信		電子部品		化学		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2010年	98.5	7.5	111.7	31.9	81.6	▲15.6	88.7	18.5	89.9	▲0.6	103.9	9.8	96.8	5.3
2011年	96.1	▲2.5	114.1	2.1	59.7	▲26.9	86.6	▲2.4	97.9	9.0	101.4	▲2.4	100.7	4.0
2012年	97.1	1.1	117.9	3.4	44.2	▲26.0	94.5	9.1	84.5	▲13.7	101.5	0.1	92.4	▲8.2
2012.5	89.6	▲0.8	119.0	15.3	25.4	▲30.3	101.1	20.5	50.9	▲44.6	92.4	▲1.4	85.8	▲16.5
6	96.8	▲0.4	117.7	4.5	59.0	▲17.9	100.1	23.2	79.9	▲17.2	99.9	▲3.6	97.0	▲3.4
7	101.3	0.5	127.6	15.7	50.9	▲47.0	93.8	7.4	97.4	0.1	110.1	2.9	94.5	▲8.8
8	98.6	▲1.2	120.2	13.6	47.5	▲46.3	101.1	13.0	91.8	1.5	102.0	▲6.4	92.7	▲6.9
9	93.5	▲1.9	104.8	5.6	31.2	▲55.2	90.2	5.1	95.7	12.4	96.2	▲7.4	95.0	▲4.8
10	92.0	▲3.7	115.5	▲0.8	29.4	▲48.3	81.8	▲0.8	94.6	▲2.7	95.4	▲6.0	90.5	▲9.7
11	94.0	2.6	117.4	3.2	40.7	174.7	80.3	▲7.8	88.7	▲5.5	95.5	4.6	93.8	▲3.7
12	101.9	2.9	121.2	7.1	60.0	12.7	91.4	0.8	90.3	0.0	105.5	▲0.9	93.6	▲2.4
2013.1	96.2	▲3.5	118.3	1.6	37.0	▲48.6	93.4	▲11.5	92.2	0.6	97.9	▲6.2	95.3	▲2.5
2	90.6	▲7.4	95.1	▲7.3	23.4	▲56.7	97.3	▲1.3	93.1	▲4.0	99.2	▲8.9	86.7	▲1.0
3	92.9	▲12.2	118.6	2.5	23.8	▲57.4	68.3	▲36.5	122.0	73.4	96.3	▲13.4	95.5	6.8
4	95.1	▲0.1	138.4	▲0.5	16.3	▲44.2	93.3	▲1.7	109.8	119.1	100.1	1.6	98.8	7.4
5	86.7	▲3.2	121.1	1.8	5.6	▲78.0	67.6	▲33.1	101.1	98.5	95.9	3.8	95.6	11.3
6														
出所	大分県統計調査課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				消費者物価指数 (2010年=100) 大分市		大型小売店 販売額		
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計	持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)	
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)					
2010年	18.4	37.5	1,536	7.8	742	43.9	5,758	▲1.4	12.2	▲21.4	67.5	100.0	▲1.4	123,366	▲0.0
2011年	13.5	24.5	1,288	▲16.1	958	29.2	5,691	▲1.2	1.9	▲12.3	30.3	99.7	▲0.3	124,448	0.9
2012年	▲10.8	▲5.2	1,396	8.3	635	▲33.8	6,670	17.2	1.4	19.6	65.1	99.9	0.2	123,046	▲1.1
2012.5	4.3	10.5	71	76.0	51	▲78.1	438	▲33.2	▲10.5	▲36.7	▲66.3	100.5	0.6	9,754	▲0.5
6	▲3.5	▲25.8	87	29.6	60	▲48.6	495	▲22.5	▲15.8	▲2.6	▲77.1	99.7	0.1	9,113	▲1.7
7	3.4	▲14.7	90	10.3	53	▲47.4	594	41.1	▲6.8	51.7	828.6	99.4	▲0.3	11,420	▲3.0
8	▲21.0	▲11.6	108	▲0.6	55	14.6	570	▲18.3	10.2	▲22.7	▲70.1	99.9	0.1	10,096	▲1.2
9	▲22.2	6.4	179	▲20.7	58	20.0	763	40.8	21.7	▲11.5	247.8	99.9	0.1	8,814	▲1.3
10	▲25.0	▲26.8	153	7.8	59	▲24.0	576	31.2	▲6.6	138.8	▲13.2	99.9	▲0.1	9,850	▲3.3
11	▲4.2	7.0	88	28.8	81	▲26.8	632	73.6	30.7	37.1	1,354.5	99.3	▲0.2	10,245	1.4
12	▲26.1	7.8	161	94.0	61	19.4	625	31.3	▲2.0	91.0	25.6	99.3	▲0.1	13,488	▲4.7
2013.1	16.4	20.2	101	41.8	44	22.1	734	58.5	13.9	42.5	576.9	99.2	▲0.7	10,756	▲3.3
2	17.0	41.2	108	44.3	51	51.7	452	▲10.8	0.0	▲27.2	9.1	99.2	▲1.0	8,998	▲4.8
3	4.4	1.8	172	5.1	38	39.9	436	41.1	17.6	185.4	▲35.6	99.4	▲1.1	10,262	0.5
4	8.9	25.9	259	73.2	184	208.3	599	▲14.2	▲3.7	41.0	▲68.4	99.7	▲0.8	9,112	▲3.9
5	42.8	25.2	136	91.6	61	18.6	623	42.2	11.7	87.2	33.3	99.6	▲0.9	9,541	▲2.2
6	15.7	49.9	147	69.6	119	98.9	607	22.6	35.6	9.6	43.3	99.8	0.2	9,369	2.8
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省				総務省		九州経済産業局				

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 大分市				有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
2010年	25,763	13.2	18,048	0.3	425,081	▲4.2	294,219	▲2.8	0.54	71	▲26.8	32,839	2.5	21,176	0.7
2011年	20,956	▲18.7	15,760	▲12.7	446,998	5.2	320,368	8.9	0.66	66	▲7.0	33,559	2.2	21,078	▲0.5
2012年	25,785	23.0	21,346	35.4	464,878	4.0	341,720	6.7	0.73	67	1.5	33,721	0.5	21,245	0.8
2012.5	1,799	61.8	1,803	91.6	346,758	16.0	337,998	11.7	0.73	8	33.3	33,512	▲0.1	21,004	0.1
6	2,388	30.6	2,012	78.8	685,671	21.0	279,091	0.9	0.74	5	▲28.6	33,943	0.3	20,972	0.6
7	2,693	46.6	2,133	45.4	475,253	2.2	322,043	3.2	0.74	4	100.0	33,585	0.2	21,015	0.2
8	1,763	17.5	1,549	28.9	410,537	9.3	377,515	17.3	0.75	5	25.0	33,512	0.1	20,955	0.6
9	2,172	▲13.2	1,643	2.6	390,266	16.2	370,918	9.1	0.75	4	▲63.6	33,575	1.7	21,328	2.4
10	1,598	▲14.4	1,300	1.6	417,113	0.9	347,208	4.6	0.75	6	0.0	33,369	0.3	21,030	1.3
11	1,785	▲8.1	1,520	4.9	406,511	10.1	347,186	18.5	0.75	3	▲50.0	33,466	0.5	20,936	0.3
12	1,562	▲5.1	1,454	5.4	825,735	▲12.8	373,965	▲7.4	0.75	5	▲16.7	33,721	0.5	21,245	0.8
2013.1	1,941	▲7.4	1,681	▲3.1	374,808	▲2.5	325,979	6.2	0.75	4	▲42.9	33,422	0.1	21,151	1.4
2	2,372	▲9.6	2,065	1.9	400,762	▲7.3	301,221	▲18.2	0.74	7	40.0	33,596	0.4	21,186	1.4
3	3,083	▲15.6	2,737	7.7	376,841	▲5.4	356,159	21.9	0.74	2	▲66.7	34,140	1.6	21,356	1.7
4	1,595	▲3.6	1,584	▲2.8	369,929	▲8.8	343,334	▲8.9	0.77	6	▲33.3	34,362	2.1	21,183	1.5
5	1,630	▲9.4	1,552	▲13.9	335,041	▲3.4	325,465	▲3.7	0.78	9	12.5	34,131	1.8	21,185	0.9
6	1,813	▲24.1	1,822	▲9.4	590,217	▲13.9	332,147	19.0	0.80	4	▲20.0	34,748	2.4	21,271	1.4
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省		東京商工リサーチ		日本銀行		

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

項目 年月	鉱工業生産指数(2005年=100)										鉱工業出荷指数 (2005年=100)		鉱工業在庫指数 (2005年=100)	
	総合		電子部品		化学		繊維		食料品		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2010年	102.8	24.4	134.1	91.0	93.6	16.2	87.5	13.4	98.1	▲6.2	99.2	14.6	120.9	6.0
2011年	93.2	▲9.3	97.9	▲27.0	92.2	▲1.5	91.0	4.1	93.8	▲4.3	94.0	▲5.2	122.7	1.5
2012年	94.2	1.0	99.0	1.1	83.3	▲9.7	92.2	1.3	103.3	10.2	94.3	0.3	119.9	▲2.3
2012.5	94.8	1.8	87.4	▲15.2	92.1	▲5.8	93.4	2.5	106.6	15.3	94.3	3.2	121.1	▲1.5
6	85.3	▲11.7	69.7	▲35.4	80.2	▲13.4	92.3	▲1.8	98.0	▲4.8	91.6	▲6.1	119.4	▲2.1
7	91.5	▲0.1	95.4	4.9	84.6	▲3.3	91.6	4.5	94.7	▲0.6	94.4	2.1	117.9	▲4.9
8	95.8	2.8	107.0	17.0	83.0	▲7.6	89.8	▲4.3	110.7	20.4	93.0	▲2.3	118.9	▲4.0
9	89.7	▲1.4	85.6	1.0	82.3	▲3.3	95.8	▲6.0	99.1	11.2	90.5	▲3.7	120.5	▲2.1
10	94.5	8.8	100.8	28.4	89.1	0.5	93.0	21.9	107.3	15.3	92.4	2.2	120.5	▲1.8
11	90.5	5.9	96.5	21.8	71.7	▲15.7	92.4	7.4	105.1	14.9	91.3	3.4	118.6	▲2.5
12	92.0	6.4	104.8	39.7	81.1	▲1.1	86.4	▲1.1	105.4	11.7	91.6	▲0.2	119.3	▲0.4
2013.1	93.7	0.0	106.5	16.3	85.5	▲4.1	93.3	4.5	105.5	3.2	91.8	▲1.9	120.5	0.3
2	89.3	▲9.8	88.5	▲18.1	83.9	▲3.4	95.5	1.9	105.3	▲1.0	92.8	▲6.5	118.1	▲2.3
3	94.0	▲15.1	106.4	▲33.7	77.5	▲2.8	96.2	▲3.1	102.0	0.4	92.9	▲11.7	119.9	▲0.7
4	95.6	2.5	105.5	20.2	77.8	▲8.5	92.2	▲1.1	108.7	5.6	93.7	▲1.6	121.3	0.2
5	92.6	▲2.4	79.1	▲9.5	88.8	▲3.6	92.5	▲1.0	109.5	2.7	91.5	▲3.0	121.6	0.4
6														
出所	宮崎県統計調査課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				消費者物価指数 (2010年=100) 宮崎市		大型小売店 販売額		
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)							
2010年	16.2	29.5	1,474	▲15.2	659	32.0	5,738	2.4	4.9	5.6	▲18.5	100.0	▲1.2	90,594	▲2.9
2011年	2.4	16.8	1,375	▲6.7	622	▲5.6	6,076	5.9	9.0	1.4	12.1	99.8	▲0.2	89,145	▲2.5
2012年	14.2	▲11.9	1,366	▲0.7	520	▲16.4	6,754	11.2	0.1	13.8	55.1	99.9	0.1	88,398	▲0.8
2012.5	9.1	▲6.9	80	78.9	25	▲20.7	680	80.4	23.8	72.0	448.6	100.2	0.6	7,131	0.8
6	5.8	▲32.3	127	26.1	25	▲55.0	504	▲16.0	▲2.0	▲38.1	54.2	99.6	0.0	6,723	▲1.7
7	25.8	▲8.5	124	36.7	47	▲22.1	592	▲8.8	▲12.8	▲34.1	51.6	99.5	▲0.2	7,833	▲1.7
8	16.6	4.0	113	21.2	67	39.2	529	1.3	▲11.1	8.4	104.2	99.8	0.2	7,496	1.6
9	25.3	▲35.8	121	▲13.2	84	98.7	556	18.6	25.9	46.1	▲57.1	100.1	0.1	6,407	▲0.1
10	33.0	▲1.4	167	21.1	51	▲6.7	687	31.6	8.5	78.2	14.7	100.0	0.1	6,979	▲2.5
11	19.7	▲33.0	99	▲6.7	46	▲5.6	672	19.4	16.9	59.1	▲52.9	99.3	▲0.6	7,339	1.7
12	41.3	36.2	90	▲10.4	53	3.8	588	▲21.8	▲18.7	▲39.2	178.6	99.5	▲0.5	9,634	▲2.7
2013.1	9.7	▲28.9	112	25.9	20	▲24.2	586	8.5	19.4	5.5	▲30.5	99.9	▲0.1	7,942	▲1.5
2	21.2	50.9	74	17.2	47	41.1	450	▲0.2	5.7	54.7	▲60.7	99.5	▲0.5	6,284	▲4.5
3	32.1	7.9	131	▲21.5	25	0.4	472	22.3	7.4	30.3	60.7	99.7	▲0.9	7,256	3.4
4	24.6	18.1	141	12.4	117	228.7	673	18.3	12.0	▲22.6	353.8	99.8	▲0.9	6,938	▲3.6
5	28.6	▲3.9	221	175.1	78	205.1	751	10.4	27.3	33.0	▲38.5	99.7	▲0.5	7,068	▲0.9
6	46.4	30.3	152	19.4	84	230.9	460	▲8.7	▲9.2	▲9.5	▲5.4	99.7	0.1	6,824	1.5
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省				総務省		九州経済産業局				

項目	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 宮崎市				有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)							
2010年	23,603	14.2	17,073	▲2.8	369,981	13.6	301,201	11.2	0.45	65	▲15.6	24,839	2.6	17,256	5.0
2011年	18,199	▲22.9	14,632	▲14.3	374,940	1.3	287,889	▲4.4	0.58	57	▲12.3	25,446	2.4	17,771	3.0
2012年	23,989	31.8	20,879	42.7	326,592	▲12.9	263,379	▲8.5	0.69	68	19.3	25,954	2.0	18,421	3.7
2012.5	1,768	102.3	1,734	81.2	211,717	▲24.6	260,047	9.0	0.69	6	20.0	25,621	1.0	17,620	3.0
6	2,226	47.3	1,961	83.1	487,485	▲9.8	243,554	▲7.8	0.71	3	0.0	26,015	1.5	17,713	3.0
7	2,532	36.7	2,017	48.7	304,744	▲28.3	256,928	▲11.7	0.71	3	▲57.1	25,742	2.2	17,744	2.8
8	1,678	14.7	1,584	39.8	282,765	▲30.4	229,167	▲16.6	0.72	7	▲22.2	25,666	2.0	17,765	3.0
9	1,863	▲13.3	1,679	27.4	282,810	▲16.8	282,555	5.0	0.71	4	▲20.0	25,738	2.6	18,259	5.0
10	1,530	▲16.0	1,416	10.8	323,584	▲15.3	289,361	10.5	0.71	14	366.7	25,431	1.6	17,770	3.0
11	1,616	▲5.3	1,430	2.7	304,974	▲3.7	297,462	6.9	0.72	4	100.0	25,452	1.6	18,071	3.9
12	1,314	▲8.6	1,499	10.6	648,159	16.0	295,685	▲1.4	0.73	1	▲80.0	25,954	2.0	18,421	3.7
2013.1	1,720	▲15.4	1,695	5.5	284,278	3.6	285,727	17.0	0.72	6	20.0	25,692	1.7	18,296	3.9
2	1,965	▲17.5	1,950	2.4	319,092	15.1	232,031	1.1	0.70	1	▲83.3	25,794	2.1	18,345	3.9
3	2,627	▲23.7	2,414	2.4	296,286	15.3	313,221	20.5	0.72	2	▲77.8	26,470	3.5	18,671	4.2
4	1,532	▲4.5	1,589	▲6.0	309,452	17.0	275,320	1.2	0.70	2	▲66.7	26,597	2.7	18,425	4.6
5	1,568	▲11.3	1,564	▲9.8	256,396	21.1	263,379	1.3	0.73	3	▲50.0	26,507	3.5	18,501	5.0
6	1,707	▲23.3	1,982	1.1	632,908	29.8	281,275	15.5	0.74	3	0.0	26,829	3.1	18,623	5.1
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省		東京商工リサーチ		日本銀行		

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

項目 年月	鉱工業生産指数(2005年=100)										鉱工業出荷指数 (2005年=100)		鉱工業在庫指数 (2005年=100)	
	総合		一般機械		電子部品		窯業・土石製品		食料品		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2010年	112.1	18.7	30.3	▲36.0	133.2	19.6	165.9	73.1	90.3	▲5.1	105.1	10.1	125.7	12.6
2011年	98.3	▲12.3	47.0	55.0	100.5	▲24.5	139.2	▲16.1	89.1	▲1.3	94.6	▲10.0	155.9	24.1
2012年	89.0	▲9.5	50.7	8.0	71.4	▲28.9	129.9	▲6.7	93.4	4.9	90.2	▲4.6	133.7	▲14.2
2012.5	89.8	▲11.7	35.8	▲43.6	72.3	▲32.3	129.3	▲7.3	95.1	8.7	92.5	▲3.5	140.5	▲11.1
6	85.6	▲10.7	11.2	▲41.2	69.2	▲32.2	126.0	▲8.8	94.8	5.1	88.3	▲5.5	131.6	▲15.5
7	85.2	▲17.2	20.7	▲82.2	68.3	▲29.8	131.9	0.3	92.4	3.5	87.3	▲8.8	125.8	▲21.3
8	86.8	▲8.9	28.8	▲11.2	67.9	▲30.7	133.7	4.4	95.4	3.3	88.3	▲5.3	121.5	▲24.6
9	83.8	▲11.0	15.6	▲31.3	66.4	▲35.0	132.8	6.6	91.6	6.2	87.9	▲6.8	114.3	▲29.2
10	90.5	1.9	35.2	▲48.4	69.1	▲14.0	136.4	22.1	95.2	8.7	84.5	1.5	114.4	▲32.6
11	93.0	2.1	26.3	▲60.5	68.8	▲15.8	138.4	20.4	94.4	5.9	89.3	▲1.4	122.3	▲28.7
12	91.0	▲2.3	5.4	▲87.5	71.5	▲15.4	162.0	36.9	95.8	6.5	89.5	▲6.0	130.0	▲23.0
2013.1	90.7	2.9	30.1	▲85.4	69.9	▲2.0	146.3	47.1	96.2	3.1	89.3	▲2.2	131.0	▲15.3
2	90.2	▲5.0	12.4	▲91.4	67.0	▲19.8	155.6	43.6	91.8	▲0.1	89.1	▲8.9	141.1	▲7.0
3	90.2	▲1.1	13.9	▲89.2	69.6	▲5.6	160.0	26.9	93.6	4.3	88.9	▲7.7	139.4	▲6.3
4	95.7	4.5	28.4	▲73.5	69.3	▲13.8	168.6	33.4	96.9	8.7	88.2	▲4.7	165.6	11.3
5	92.1	2.5	47.0	31.2	68.8	▲4.9	147.7	14.2	95.4	0.3	92.1	▲0.4	159.8	13.7
6														
出所	鹿児島県統計調査課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				消費者物価指数 (2010年=100) 鹿児島市		大型小売店 販売額		
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)							
2010年	3.1	14.0	2,176	▲4.5	821	9.5	8,669	6.0	5.9	2.2	26.4	100.0	▲0.2	161,771	▲2.2
2011年	51.4	7.5	2,006	▲7.8	932	13.5	9,039	4.3	6.0	▲7.0	56.0	99.7	▲0.3	164,957	2.0
2012年	▲25.7	▲5.2	2,376	18.4	1,063	14.0	9,701	7.3	▲3.0	21.8	1.8	99.3	▲0.4	162,863	▲1.3
2012.5	▲37.1	▲8.6	105	108.9	71	29.2	735	32.2	▲8.1	77.9	196.2	99.7	0.0	13,146	▲1.5
6	▲44.6	▲1.0	120	26.0	62	4.4	1,025	16.7	▲11.8	102.0	▲59.4	99.1	▲0.5	11,851	▲3.8
7	▲31.4	▲8.9	205	13.6	85	▲43.3	818	11.0	▲7.2	▲4.8	350.0	99.0	▲0.8	14,957	▲3.7
8	▲51.0	▲22.3	283	16.8	47	▲39.6	919	4.2	▲23.7	33.7	106.5	99.0	▲0.6	13,181	▲1.1
9	▲34.1	3.5	333	14.7	61	0.8	896	44.7	9.1	63.0	302.8	99.2	▲0.6	11,795	▲0.6
10	▲30.8	▲25.8	311	53.2	118	7.8	745	▲11.0	▲3.2	38.6	▲81.0	99.2	▲0.8	13,417	▲1.2
11	▲4.3	▲9.2	185	21.9	179	154.5	838	1.8	5.4	▲4.3	4.8	99.0	▲0.3	14,365	5.0
12	▲27.5	▲18.2	191	19.5	98	▲14.2	1,035	11.7	15.3	14.5	10.9	98.8	▲0.5	19,054	▲2.1
2013.1	304.5	▲19.5	108	▲9.6	90	▲39.3	671	9.3	▲5.2	27.3	25.6	98.6	▲0.8	13,283	▲1.4
2	410.5	▲1.3	146	▲21.1	95	87.7	866	43.4	13.8	70.3	128.6	98.3	▲0.9	11,291	▲0.9
3	18.4	16.6	306	25.2	85	33.9	779	3.7	23.3	▲16.2	▲23.5	99.0	▲0.9	13,394	2.2
4	124.8	14.0	156	65.1	58	▲26.4	1,138	57.8	12.0	150.6	30.0	99.0	▲0.8	12,803	▲2.4
5	124.3	18.3	153	45.9	57	▲18.9	644	▲12.4	20.5	▲40.6	▲33.8	99.2	▲0.5	13,223	0.6
6	49.7	31.7	205	71.1	214	245.1	904	▲11.8	18.5	▲21.1	▲31.7	99.3	0.2	12,544	5.9
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省				総務省		九州経済産業局				

項目	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 鹿児島市				有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)							
2010年	31,990	18.3	21,945	▲0.4	452,291	▲1.7	331,761	▲6.0	0.44	64	▲16.9	37,747	1.8	26,971	0.5
2011年	25,305	▲20.9	18,618	▲15.2	457,131	1.1	312,314	▲5.9	0.55	64	0.0	38,496	2.0	27,594	2.3
2012年	32,261	27.5	26,228	40.9	438,338	▲4.1	331,023	6.0	0.65	72	12.5	39,277	2.0	28,174	2.1
2012.5	2,239	83.8	2,210	78.5	313,177	▲6.6	318,799	12.7	0.65	5	▲37.5	39,404	2.6	27,358	2.1
6	2,840	37.4	2,464	73.9	619,425	18.3	316,186	14.1	0.65	6	0.0	39,508	2.4	27,388	1.9
7	3,544	41.0	2,702	61.2	450,444	▲20.1	300,515	0.3	0.66	2	▲66.7	38,785	1.5	27,493	1.8
8	2,198	0.6	2,029	41.0	388,038	▲1.5	322,922	13.5	0.67	11	266.7	38,809	1.9	27,540	1.8
9	2,457	▲18.6	2,015	15.3	308,854	▲20.5	323,392	15.1	0.66	7	250.0	38,876	2.4	27,621	2.0
10	1,960	▲13.4	1,634	1.1	369,454	▲14.6	276,471	▲17.7	0.66	8	33.3	38,809	1.8	27,666	2.2
11	2,367	2.6	1,812	10.5	353,413	▲9.0	287,937	▲2.5	0.65	5	▲28.6	38,670	1.9	27,789	2.4
12	2,127	4.7	1,635	1.4	838,395	▲9.6	368,873	▲7.4	0.67	7	16.7	39,277	2.0	28,174	2.1
2013.1	2,310	▲9.6	2,232	5.8	374,978	▲4.0	350,498	▲18.6	0.68	5	0.0	39,046	2.0	28,095	1.9
2	2,724	▲16.5	2,466	▲1.4	421,758	1.1	298,799	▲3.1	0.68	6	50.0	39,386	1.7	28,107	2.1
3	3,991	▲13.7	3,465	11.6	393,883	▲0.9	340,404	▲10.9	0.70	4	▲42.9	39,924	1.6	28,208	2.3
4	1,984	▲4.8	1,973	▲2.0	469,068	13.3	405,509	20.8	0.71	4	▲20.0	40,419	0.7	27,963	2.0
5	1,974	▲11.8	1,968	▲11.0	321,187	2.6	326,159	2.3	0.71	8	60.0	39,982	1.5	28,124	2.8
6	2,200	▲22.5	2,114	▲14.2	618,940	▲0.1	271,882	▲14.0	0.74	7	16.7	40,655	2.9	28,382	3.6
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省		東京商工リサーチ		日本銀行		

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

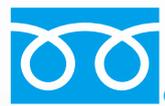
身近になった“海外”… お困りではないですか？

- 海外進出に興味はあるが、自社内にノウハウがない。
- 海外から部品を調達して仕入コストを安くしたい。
- 自社の商品、技術を東南アジアで販売したい。
- 海外で事務所を開設したいが、現地の不動産情報を知りたい。
- 海外進出を検討しているが、信頼できる現地のパートナーが欲しい。
- 現地の労働、雇用条件を知りたい。
- 社内の海外視察の際に現地でサポートして欲しい。
- 海外進出における自社のメリット・デメリットを検証したい。
- 海外子会社の現地での資金調達を検討したい。
- 海外留学をするので、学費の送金や、外貨両替をしたい。

このようなことをお考えのあなた、
福岡銀行はグローバルに広がるお取引を
ワンストップでサポートします。

まずは下記までお問い合わせください。

いいな グローバル

 **0120-17-9686**

(受付時間／9:00~17:45 但し、銀行休業日は除きます。)

ホームページも
ご活用ください!

福岡銀行 海外

検索 

 海外サポート窓口(専任者配置窓口)
にはこのプレートを掲示しています。



会員様限定
無料

FFG 経営者クラブ インターネットセミナー

インターネットセミナーは、多彩なセミナーを視聴できるサービスです。
会員様であれば無制限にご利用いただけます。

こんな方に最適です。

セミナーは受けたいけど
時間がとれない!

24時間いつでも
ご利用いただけます。

継続的に社員研修を
行いたい!

勉強会 (社内研修) などに
ご活用ください。

受講したいと思えるセミナーが
開催されていない!

豊富なラインナップから
ご希望のセミナーを選べます。

インターネットセミナーは

- 毎月新しいコンテンツが日々更新されます。
- 1社1組のアカウント (ID・パスワード) で何人でも視聴できます。
- WindowsPCであれば、ほとんどの場合視聴可能です。

ジャンルは

経営、人材育成、著名人の講演、法律、税務・財務・経理
…
多種・多様です!



FFG経営者クラブインターネットセミナーのご利用には「FFG経営者クラブ (年会費26,000円)」へのご入会が必要です。

▶ ログイン方法

FFGビジネスコンサルティングトップ画面



<http://www.ffgbc.com/>

FFGビジネスコンサルティング

検索

FFG経営者クラブトップ画面



ID・パスワードを入力してください。



視聴したいセミナーを選択してください。



FFG経営者クラブの
お申込み・お問合せは

FFG経営者クラブ事務局

株式会社FFGビジネスコンサルティング内
〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店ビル5階
TEL.092-723-2241 FAX.092-721-9258

お気軽に
お越しください。
福岡銀行の
建築士がご相談を
無料で承ります。



収納体験コーナー

可動式の収納棚で、奥行きや高さの違いによる使い勝手を体験できます。



間取り・インテリア シミュレーション

間取り・インテリアのシミュレーションができます。



写真コーナー

自由にパネルを引き出して、住まいの構造やインテリアテイストを写真でご覧いただけます。

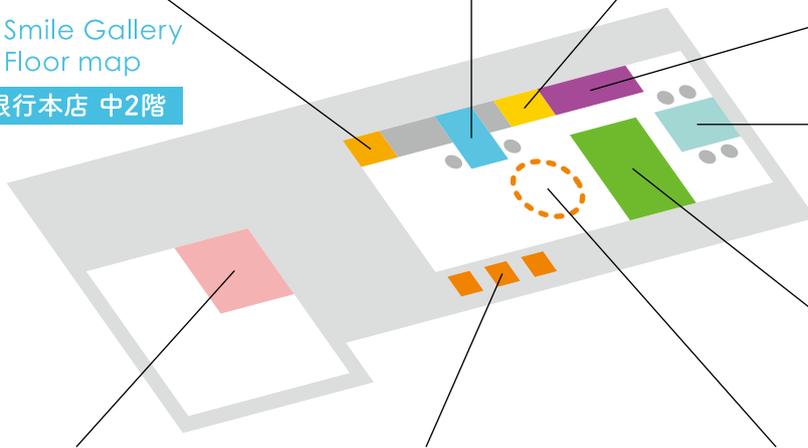


サンプル・カタログ・ 図書コーナー

住まいづくりに関するサンプル・カタログ・本を自由にご覧いただけます。



福岡銀行本店 中2階



相談コーナー

建築士が無料で住まいづくりのご相談を承ります。



キッズスペース

お子様が楽しく遊べる専用スペースをご用意しました。



模型コーナー

立体模型を展示しています。



セミナースペース

住まいづくりに役立つセミナーを随時開催しています。日程や内容については、スタッフまでお問い合わせください。



空間体験コーナー

スクリーンを利用して、4.5畳・6畳など空間の大きさ、ドアノブやスイッチの高さなどを体感できます。

福岡銀行

平成25年6月25日現在

住まいの購入やリフォームはわからないことがいっぱい！
住まいづくりの『？』や『🌀』(困った)を『😊』に。



住まいるギャラリー

FUKUOKA BANK SMILE GALLERY

あなたの疑問・不安を福岡銀行の建築士が解決します。住まいに関すること、なんでもお気軽にご相談ください。

1

住宅の専門家に相談できる！

- 住まいの購入について
- リフォームについて
- インテリアについて
- 間取り・パース(完成予想図)の作成

建築士がお手伝いします。

※受付状況によってお待ちいただくことがあります。



ステップに応じて住まいづくりをサポートする「住まいる手帳」。住まいるギャラリーで相談する際はもちろん、打合せメモとしてもご活用ください。

2

情報収集できる！

- 住まいの本・インテリア雑誌
- カタログ・サンプル
- 建築模型

ご自由にご覧になれます。



3

セミナーで学べる！

住まいの購入やインテリアを学ぶセミナーを、定期的に開催しています。

【セミナー例】

- ◎ マイホーム購入の第一歩 ～住宅購入の流れと資金計画～
- ◎ 住宅展示場・モデルルーム見学のポイント
- ◎ 築年数別に考える住まいのリフォーム・メンテナンス など



お問い合わせ



住まいるギャラリー

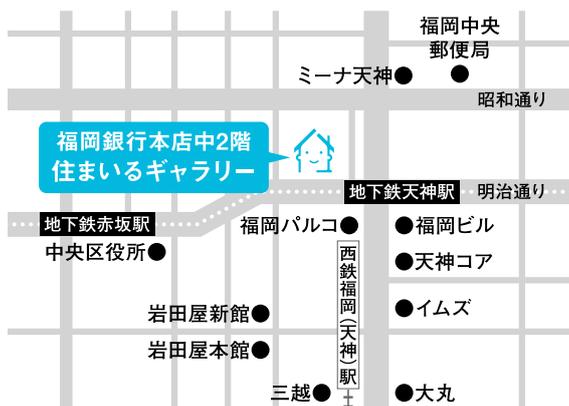
FUKUOKA BANK SMILE GALLERY

〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店中2階

【営業時間】 平日／9:00～17:00 土曜／10:00～17:00

※12月31日～1月3日はお休みさせていただきます。

TEL 092-723-2290
<http://www.fukuokabank.co.jp>



あなたのいちばんに。



ふくおかフィナンシャルグループ

住まいるギャラリーでは住宅の販売・契約は行っておりません。お客さまにご満足いただける住まいのご提案に努めます。

人と人とのつながりがビジネスを広げる FFG経営者クラブ

ビジネスに直結する情報提供を通じて会員企業さまの発展をサポートいたします。

FFG経営者クラブの主なご提供サービス

メリット
1

ビジネスに即した様々な情報を入手!

■FFG経営者クラブインターネット情報サービスによる情報提供
経営上の疑問・課題の解決に役立つ豊富な情報をタイムリーに提供します。



メリット
2

FFGのネットワークを利用した商談会・交流会!

■商談会・地区別交流会の開催
販路拡大に繋がる商談会や会員相互の交流、情報交換を目的に地区別交流会を開催いたします。



メリット
3

実務情報や経営ノウハウが直接聞ける!

■セミナー・研修会の開催
経営に関するテーマを中心に、経験豊富な講師陣による各種セミナー・研修会を開催いたします。



メリット
4

社員教育・研修で大活躍! 多様なテーマでバックアップ!

■社員教育用DVD・ビデオの無料貸出
新入社員、若手社員向けのビジネスマナーはもちろん、コンプライアンス経営、顧客満足など、経営全般に参考となるDVD・ビデオ(総数200タイトル以上)を無料でご利用いただけます。



メリット
5

多彩なセミナーをインターネットで視聴できる!

■24時間いつでもご利用いただけるインターネットセミナー
豊富なラインナップから、お客様のご希望のセミナーを24時間無制限でご視聴いただけます。勉強会(社内研修)などにもご活用いただけます。



メリット
6

交通至便な福岡天神の商談スペース!

■ビジネスマッチングフロアのご利用
福岡銀行本店ビル5F(福岡天神)のビジネスマッチングフロアを無料でご利用いただけます。



メリット
7

ビジネスに役立つ! 日常業務でも使える!

■FFG調査月報、小冊子のご提供
福岡ファイナンシャルグループの経済情報誌やハンドブックをお届けします。



ビジネスに役立つ様々なサービスをご利用いただけます。

お申込み
お問合せは

FFG経営者クラブ事務局

株式会社FFGビジネスコンサルティング内
〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店ビル5階
TEL.092-723-2241 FAX.092-721-9258

年会費

26,000円

